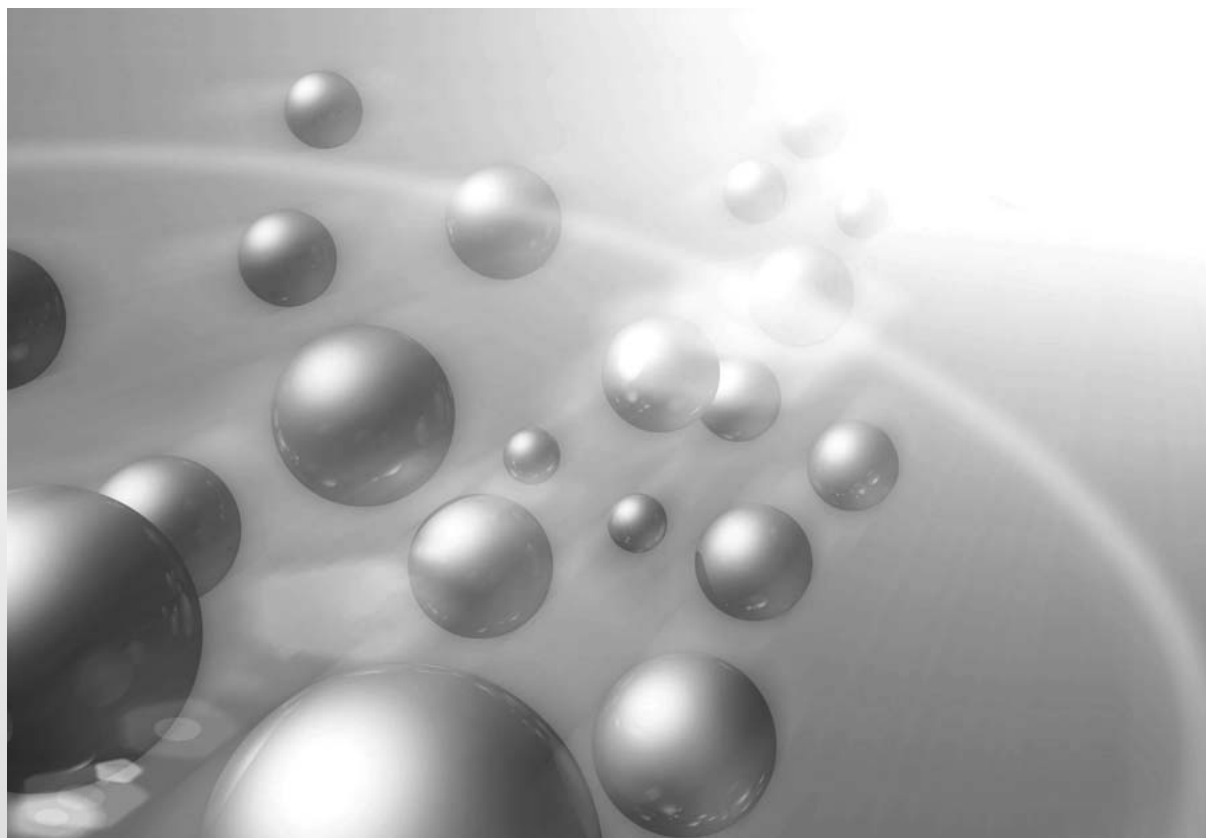
MITSUBISHI

三菱 地上・BS・110度CSデジタル
ハイビジョン液晶テレビ

形名

LCD-H26MX5
LCD-H32MX5
LCD-H37MX5

取扱説明書

この取扱説明書は3機種合わせて記載しています。機種間の差異については本紙「仕様」をご覧ください。

このたびは三菱 地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビをお買上げいただきありがとうございました。

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- 保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受取りください。
- 取扱説明書と保証書は、大切に保存してください。

製造番号は安全確保上重要なものです。お買上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

本紙の端面で手などを傷つけないよう、ご注意ください。

特長

❶「オートターン機能」搭載

ボタンひとつでテレビがふりむきます。

❷「Diamond Engine Ⅲ」搭載

多彩な入力ソースを高画質再現します。

❸「明るさセンサー」搭載

健康画質と省エネを実現します。

❹「デジタルチューナー・スピーディ選局&電源ON」

高速動作で操作性アップ。

❺「DIATONE SPEAKER」搭載（37V型のみ）

クリアで迫力ある音質を実現します。

番組名などについて
この取扱説明書のイラストで使用している番組名･人名などは架空のものです。

放送の種類について
この液晶テレビは、地上アナログ放送、地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送を受信できます。
この取扱説明書では、地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送を総称して「デジタル放送」と表記しています。

テレビの設定・接続が済んでいる方

ページ

テレビを 見る前に

ふだんの 使いかた

テレビを 使いこなす

次ページへつづく

デジタル放送を見る

デジタル放送の番組を探す

デジタル放送の番組を予約

デジタル放送のお知らせや情報を見る

次ページへつづく

設定・接続など準備

デジタル放送の設定をする

ページ

アナログ放送の設定をする

次ページへつづく

ページ

テレビの接続方法

他の機器をつなぐ

故障かな？と思ったら

その他

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。	⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

■図記号の意味は次のとおりです。

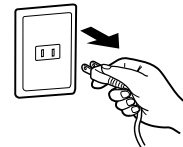
絶対に行わない	絶対に分解・修理はしない	絶対に触れない
絶対に風呂・シャワー室では使用しない	絶対に水にぬらさない	絶対にぬれた手で触れない
必ず指示に従い行う	必ず電源プラグをコンセントから抜く	高圧注意（テレビ後面に表示）

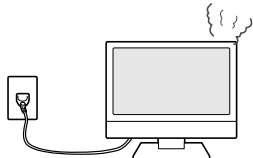
警告

電源プラグは容易に手が届く場所の電源コンセントに差込んでください。

万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く!!

異常のまま使用すると、火災・感電の原因になります。
すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、
販売店に修理をご依頼ください。

プラグを抜く

故障(画面が映らない、音が出ないなど)や煙、変な音・においがするときは使わない

火災・感電の原因になります。

使用禁止

煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。

テレビを落としたり、キャビネットを破損したときは使わない

火災・感電の原因になります。

使用禁止

水をかけない

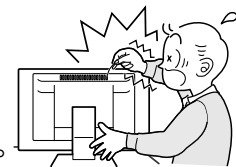
テレビの中に水などが入ると、火災・感電の原因になります。

水ぬれ禁止

万一入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、
電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。

異物を入れない　特にお子様にご注意ください

通風孔から金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災・感電の原因になります。

禁止

万一入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、
電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。

不安定な場所に置かない

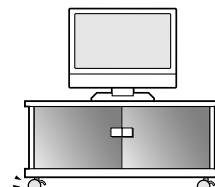
ぐらついたり変形した台の上や傾いた所など。

設置禁止

落ちたり、倒れたりしてけがの原因になります。

テレビ台の車(キャスター)を固定する

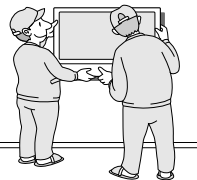
車を固定

台が動くと、テレビが倒れ、けがの原因になります。

⚠警告

テレビにのったり、ぶらさがったりしない

特にお子様にご注意ください

落下してけがの原因になります。

壁掛け工事は専門業者に依頼する

- 壁掛けの場合は、通風孔からの空気の流れにより、壁を汚す原因になることがあります。
- 壁掛け工事が不完全ですと、けがの原因になります。

小さな付属品は幼児の手の届くところに置かない

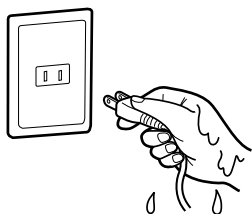
飲み込むと窒息死する原因になります。

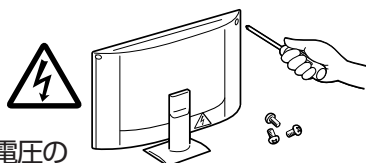
万一飲み込んだ場合は医師に相談してください。

接続線で遊ばせない。けがの原因になります。

電源コードを傷つけない

重いものをのせたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張らない。
コードが破損して火災・感電の原因になります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。

分解や改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因になります。また、けが・火災の原因になります。

内部の点検・調整・修理は販売店にご相談ください。

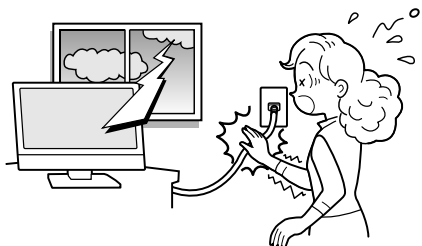
風呂場では使わない

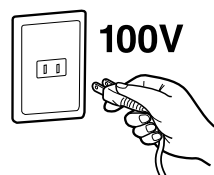
水気の多い場所での使用は、火災・感電の原因になります。

電源プラグのほこりなどは定期的にとる

電源プラグにほこりがついたりコンセントの差込みが不完全な場合は、火災の原因になります。

傷んだ電源コードや差込みのゆるいコンセントは使わないでください。1年に一度は電源プラグとコンセントの定期的な清掃と接続を点検してください。

雷が鳴りだしたら、アンテナ線に触れない

火災・感電の原因になります。

電源は、交流100Vを使う

100V

交流100V電源以外で使用すると、火災・感電の原因になります。

⚠注意

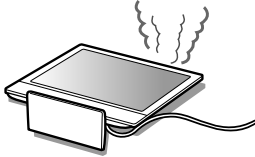
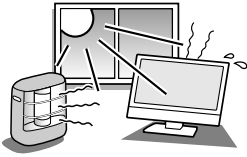
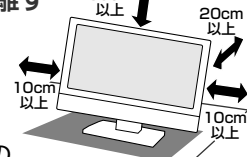
設置のときは次のことをお守りください

風通しが悪かったり、置き場所によっては、内部に熱がこもり、火災や感電の原因になります。

空気穴（通風孔）をふさがない

押入れ、本箱などに入れない

あお向けや横倒し、さかさまにしない

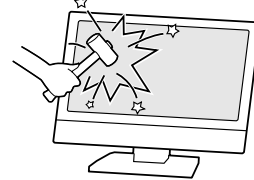
湿気やほこりの多い所、油煙や湯気の当たる所に置かない

直射日光の当るところや熱器具のそばに置かない

キャビネットが
変色、変形などの劣化を起こす原因になることもあります。

据付の際は壁から離す

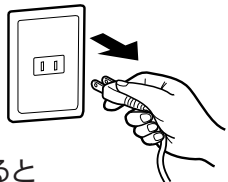
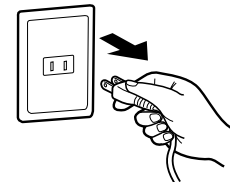
壁掛けや設置位置に
よっては、通風孔からの
空気の流れで壁を汚す原因になることもあります。

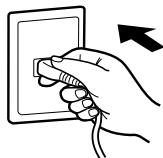
接続線をつけたまま移動しない

火災・感電の
原因や、つま
ずいてけがの
原因になります。

電源プラグやアンテナ線、機器間の接続線や
転倒防止金具をはずしたことを確認のうえ、移動してください。

液晶画面に強い衝撃を加えない

パネルが割れて、けがの原因になります。

電源プラグを持って抜く

コードを引っ張ると
傷がつき、感電・火災の原因になります。

お手入れのときは、電源プラグを抜く

感電の原因になります。

電源プラグは根元まで差込む

差し込みが不完全な場合、
火災・感電の原因になります。

長期間の旅行、外出のときは電源プラグをコンセントから抜く

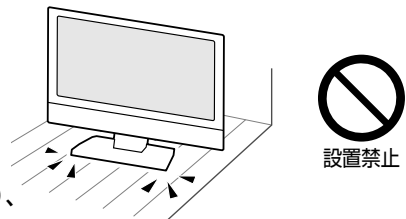
⚠注意

上や近くにものを置かない

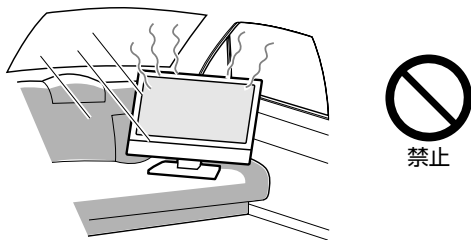
ローソクのような裸火を本体の上や近くに置かない

禁止

金属類や液体が内部に入ると、火災・感電の原因になります。

ワックスのかかった床に直接置かない

設置禁止

床上のワックス、洗剤、溶剤により、床材とテレビ底面のすべり止め用ゴムの密着性が上がり、床材のはがれ、着色の原因になります。

車の中で使用しない

禁止

熱・振動により壊れて、火災・感電の原因になります。

持ち運びは2人以上で行う

テレビの落下や思わぬけがの原因になります。

2人以上で

車(キャスター)付きのテレビ台ごと移動させるときは、テレビ台の受け皿を取除いてテレビを支えながらテレビ台を押す。

テレビを支えながらテレビ台を押さないと、テレビが落下してけがの原因になることがあります。

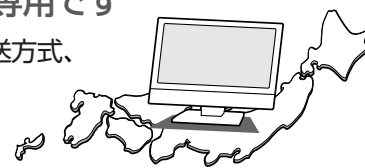
オートターン使用中は、テレビに近づかない

特にお子様にご注意ください

禁止

回転を戻したときに、壁との間にはさまれると、けがの原因になります。

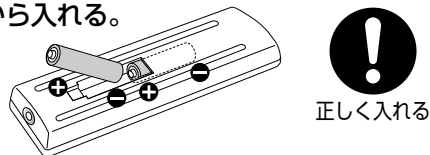
日本国内専用です

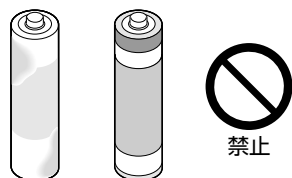
外国では放送方式、電源電圧が異なるので使えません。

国内専用

また、アフターサービスもできません。

This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other countries.
No servicing is available outside of Japan.

乾電池取扱いの注意

- プラス⊕とマイナス⊖の向きを正しく入れる。
- マイナス⊖側から入れる。

正しく入れる

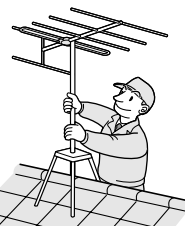
- 分解したり、ショートさせたり、火の中に投入したりしない。
- 充電しない。
- 種類の違う電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。

禁止

電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚す原因になります。

アルカリ乾電池のアルカリ性溶液が皮膚や衣服に付着したときは、きれいな水で洗い流してください。
また、目に入ったときはきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。

アンテナ工事には、技術と経験が必要です

販売店にご相談ください。

送配電線から離れた場所に設置してください。

アンテナが倒れると感電の原因になります。

販売店に相談する

BS、CS放送受信用アンテナは強風の影響を受けやすいので確実に取付けてください。

内部掃除は、販売店に依頼する

1年に一度くらいを目安にしてください。
内部にほこりがたまったまま使うと、火災や故障の原因になります。

内部掃除

とくに梅雨期の前に行うのが効果的です。
内部掃除費用については販売店にご相談ください。

ケーブル類を接続したりはずしたりする前に、必ず主電源を切ってください。

ご使用上のお願い

電波妨害について

本機は規格を満たしていますが若干のノイズが出ています。「ラジオ」や「パソコン」などの機器に本機を近付けると妨害を与えることがあります。このときは機器を影響のないところまで本機から離してください。

搬送について

- 引越しや修理などで本機を運搬する場合は、本機用の梱包箱と緩衝材および包装シート・袋をご用意ください。
- 本機は立てた状態で運搬してください。
  横倒しにして運搬した場合、液晶パネルのガラスが破損したり、点欠陥が増加することがあります。

壁に取付ける場合

危険ですからお客様ご自身で取付けずに、販売店にご相談ください。

画面の残像について

静止画を長時間表示された場合や、画面サイズを「ノーマル」で長時間ご使用された場合、部分的に映像が消えない(残像)症状が発生する場合がありますが、これは故障ではありません。通常の動画放送をご覧いただくことにより、次第に目立たなくなります。

動作時の本体温度について

本体や上面の一部は温度が高くなりますので、ご注意ください。品質・性能には問題ありません。

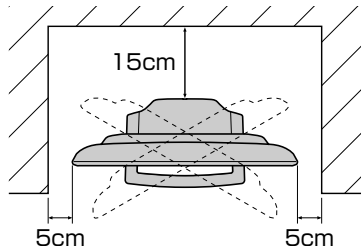
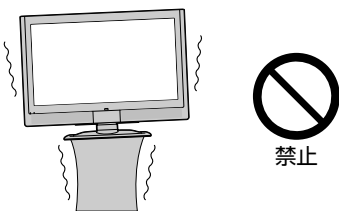
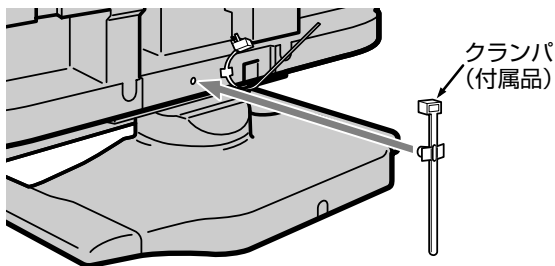
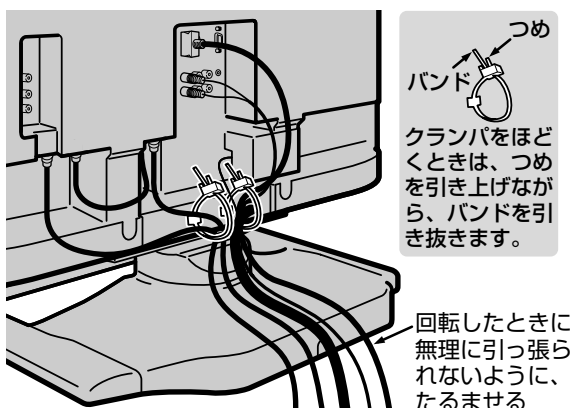
液晶パネルについて

- 液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯する画素があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承願います。
- 液晶パネルが汚れた場合は、脱脂綿か柔らかい布で拭きとってください。
  素手で触らないでください。
- 液晶パネルに水滴などがかかった場合はすぐに拭きとってください。
  そのままにすると液晶パネルの変質、変色の原因になります。
- 液晶パネルを傷つけないでください。
  硬いもので液晶パネルの表面を押したり、ひっかいたりしないでください。

■液晶パネルの輝点(点灯したままの点)や黒点(点灯しない点)は保証の対象とはなりません。
■お客様または第三者が本機の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合または本機の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
■データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、アフターサービス時も含め、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
■本機でお客様が設定されるデータには、個人情報を含むものがあります。本機を譲渡または廃棄される場合には、ユーザ設定リセット P.127 により個人情報を消去されることをおすすめします。

液晶テレビの設置についてのお願い

お願い!
傾斜面や、水平でない面、カーペットなどの軟らかい面への設置をさけてください。
液晶テレビの下へ物をはさまないでください。

- 最低限、下図のスペースを取ってください。

- 不安定な場所に置かないでください。
台の上に設置するときは、平坦ですべりにくい、テレビの外形より大きい、変形しない台の上に置いてください。

- 下図のように、ケーブルを付属のクランパで、しっかり固定してください。

① 電源コードを束ねているクランパの左横の穴に、付属のクランパを取付ける

② 接続線と電源コードを束ねる

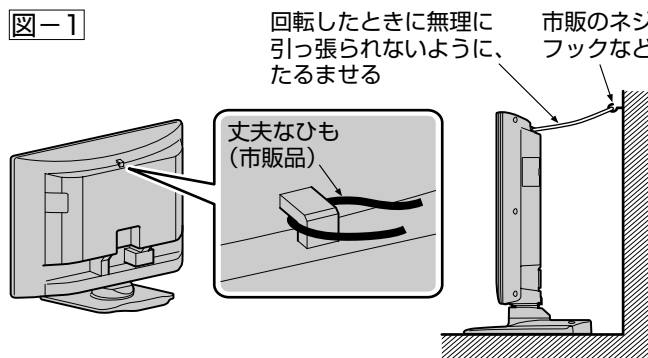
液晶テレビ転倒防止についてのお願い

⚠注意

衝撃などで液晶テレビが転倒すると、けがの原因になることがあります。
ご家庭での安全確保のために、置く場所が決まったら次の処置をお願いします。

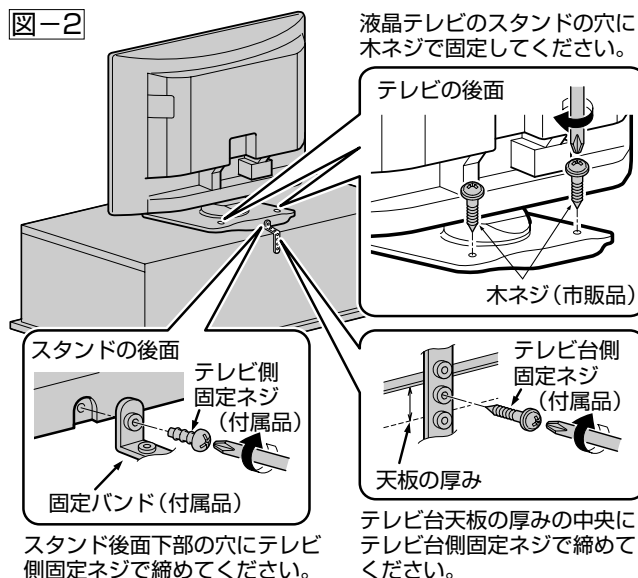
壁や柱などの安定した場所への固定

図－1のように液晶テレビ本体を壁や柱などの安定した場所に液晶テレビの重さに耐えられる丈夫なひも(市販品)で確実に取付けてください。

図－1

お願い! ひも、ネジなどの取付けは確実に行ってください。

テレビ台への固定

図－2のように、お使いの台の天板と液晶テレビのスタンド(2ヵ所)を市販の木ネジで取付けてください。
また、テレビ台への固定用部品(付属品)で、スタンド後面下部とお使いの台の強固な部分を、固定してください。

図－2

お願い! 再び移動させるときは木ネジやテレビ台への固定用部品をはずしてから行ってください。

1 付属品を確認する

P.182

2 リモコンに乾電池を入れる　単3形乾電池　R6P(SUM-3)を2個使用

1 裏ブタをはずす	2 ⊕⊖をよく確かめて ⊖側から正しく入れる	3 裏ブタをつける
押しながら 引き上げる		

- 乾電池の寿命は約1年です。（ご使用の状態によって寿命が変わります。）
- リモコンが動作しなくなったり、操作できる距離が短くなったときは、2個とも新しい乾電池と交換してください。

⚠注意

乾電池は⊖側から入れる

3 アンテナ線や電話回線を接続する

- アンテナ工事は技術と経験が必要なため、販売店にご相談ください。
  アンテナの定期的な点検、交換により美しい映像を見ることができます。
- 電話回線の工事は、総務省により資格を受けた人（工事担任者）でなければ行えません。

アンテナ P.149
電話回線 P.152

4 B-CAS（ビーキャス）カードを挿入する　デジタル放送では、無料番組をご覧になるときもB-CASカードが必要です。

付属のB-CAS（ビーキャス）カードは、必ず本体の主電源スイッチを切った状態で挿入してください。

お願い！ B-CASカードは必ず登録してください。（登録料は無料）

1 カバーを開ける	2 B-CASカードを入れる	3 カバーを閉める
B-CASカード挿入口は、本体後面のカバーの中にあります。	B-CASカードの絵柄表示面を確認して挿入口方向に合わせ、ゆっくりと押し込んでください。	

P.54

5 ビデオやオーディオ機器、パソコンなどを接続する

ビデオ、ステレオ、i.LINK対応D-VHSビデオやパソコンなどを接続してください。

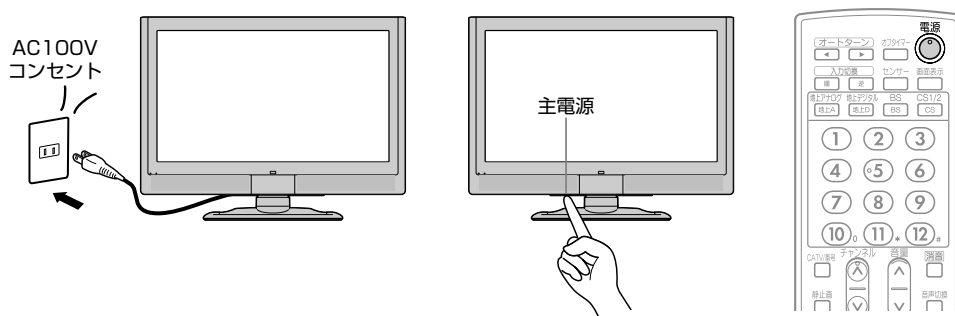
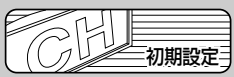
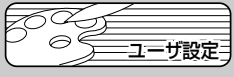
お願い! それぞれの取扱説明書もあわせてご覧ください。

P.154～158

6 電源プラグをコンセントに差し込み、主電源を入れ、リモコンの電源ボタンを押す

AC100V
コンセント

主電源

電源

お願い!
- AC100Vコンセントをご使用ください。
- 電源プラグは容易に手が届く場所のコンセントに差し込んでください。

P.23

7 デジタル放送を見るための設定をする

P.101～142

リモコンの メニュー を押し、「デジタル設定」画面を表示する。

初期設定	アンテナ設定	P.102
	チャンネル自動設定	P.104
ユーザ設定	居住地設定	P.123
	郵便番号設定	P.123
機器設定	電話回線設定	P.130
	通信設定	P.133

設定ができたら、リモコンの メニュー を押す。

8 アナログのUHF放送やCATV放送を見る場合はチャンネル設定をする

P.143～148

番組を楽しむ

P.23・64・70

お知らせ
- 地上デジタル放送やアナログのUHF放送(13～62チャンネル)、CATV(ケーブルテレビ)放送をご覧になるためには、チャンネル設定が必要です。
- テレビ放送局が異なる地域への引越しの場合にもチャンネル設定をしてください。

リモコン

ふだんよく使うボタンです。

さらに便利に使いこなすボタンです。

メニュー機能を使うとき P.34

画質設定・音質設定・画面設定・機能設定・初期設定・PC設定・デジタル設定のときに使う。

……メニュー設定を始めるときと、終わるときに押す。

…項目を選ぶ。

…設定を変える。

……選んだ項目を決定する。

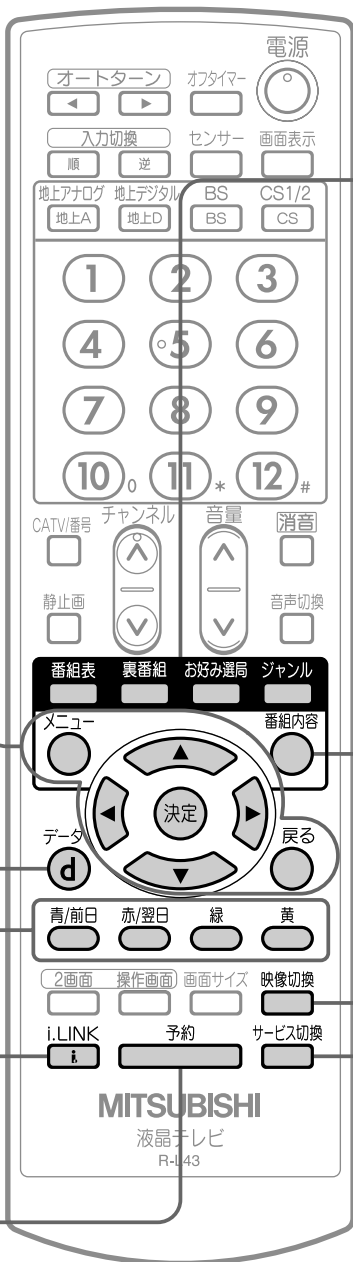
……1つ前の画面に戻る。

データ放送の番組のとき、データ放送画面を表示する。 P.73

デジタル放送などで、画面に色ボタンの表示があるときに使用できる。

番組表の表示中は
前日または翌日の番組表を表示する。 P.77

D-VHSビデオなどをi.LINK接続すると、コントロールパネルを表示する。 P.159

予約画面を表示する。 P.85～92

デジタル放送の番組を探すとき P.77～81

デジタル放送の番組表などを表示して、見たい番組を探す。

番組表 ····番組表を表示する。

裏番組 ····現在、放送中の番組の一覧を表示する。

お好み選局 ····お好み選局画面(よく見る放送局の一覧)を表示する。 P.79

ジャンル ····見たい番組をジャンル別に探す。

選局中または選択中の番組内容を表示する。 P.76

デジタル放送で、複数の映像がある番組やマルチビュー放送のときに、他の映像に切換える。 P.75

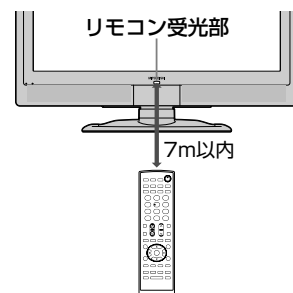
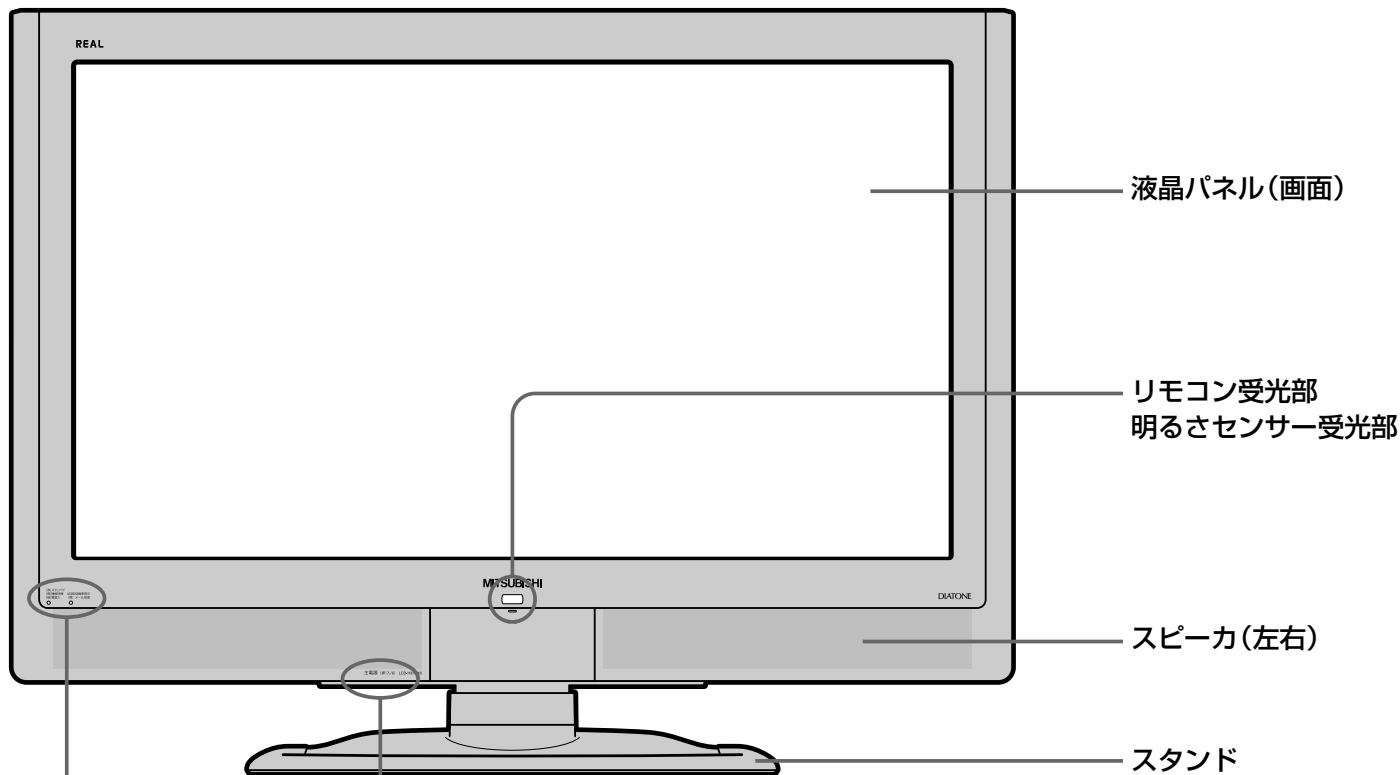
デジタル放送のサービスを、テレビ→ラジオ→データの順に切換える。 P.72～73

お願い リモコンの取扱い

落としたり衝撃を与えない。

水をかけたり、ぬれたものの上に置かない。

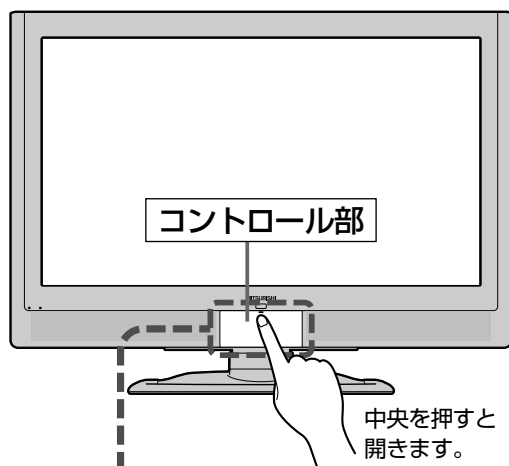
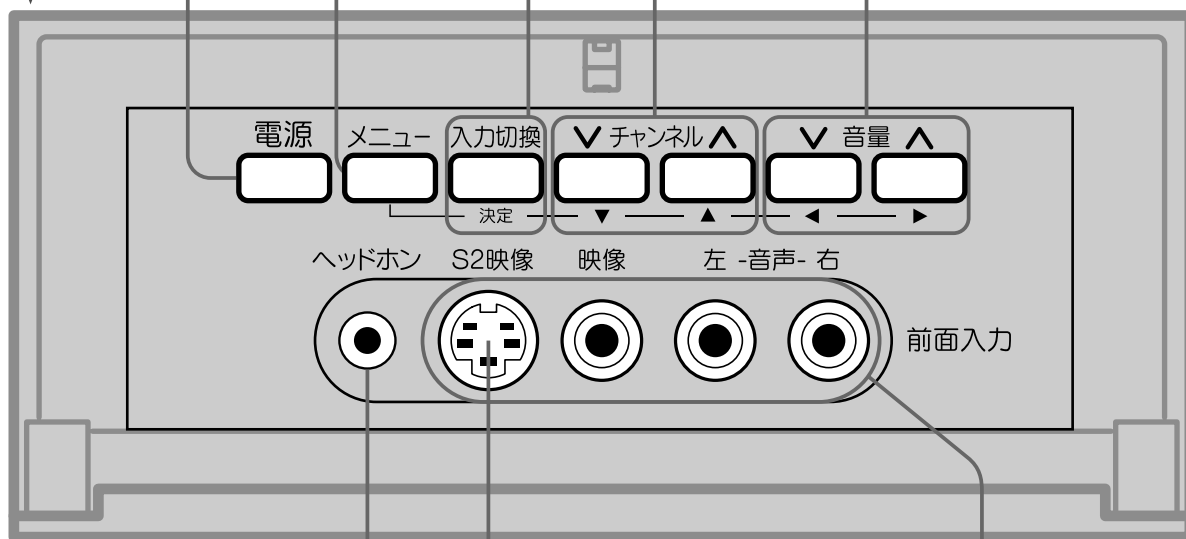
ベンジン、シンナーなど揮発性の液体でふかない。

リモコンの使用範囲

本体前面（ドア閉）

主電源を「入」「切」する。 P.23
主電源を「切」にすると、全ての回路が停止するため、録画予約やデジタル放送での必要な情報が取込めなくなります。
「入」では、ボタンが少し押し込まれた状態になります。

左：電源インジケーター P.23
赤…………主電源が「入」で、待機状態（スタンバイ）
橙…………予約実行中、データ取込み中
緑…………リモコンまたは本体の電源「入」にして、映像を映した状態

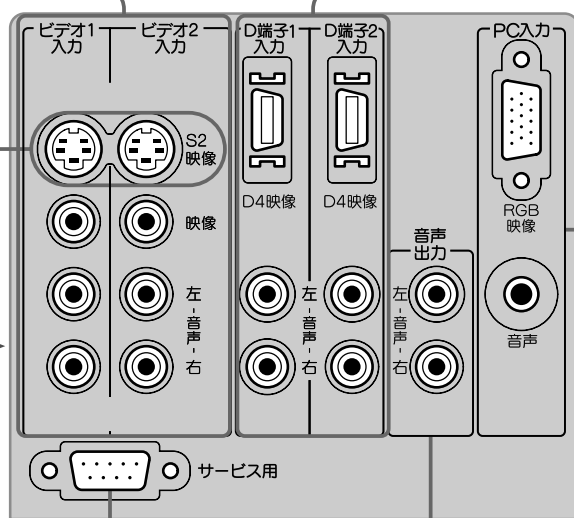
右：回線使用中/メール受信インジケーター
緑（点滅）…電話回線を使ってデータを送信中
橙…………未読メールがある場合（電話回線でデータ送信中は、優先的に緑点滅） P.95〜96

お知らせ
- このテレビはスタンバイ状態のときに、自動的にデジタル放送のメンテナンス情報を受信して、ソフトウエアの更新が行われる場合がありますので、長期間留守にされる場合や本機に異常が発生したとき以外は主電源を「切」にしないことをおすすめします。
- 受信状態により、デジタル放送などで操作できなくなった場合は、しばらく主電源を「切」にしてみてください。
- テレビ画面に向けて光線銃などを使い、画面を標的にするゲームでは、正しく動作しないことがあります。くわしくはゲームの取扱説明書をご覧ください。

本体前面（ドア開）

コントロール部
中央を押すと
開きます。
ビデオやDVDなどを見るときに押す。
P.154～164
押すごとに、地上アナログ→地上デジタル→BS→CS1→CS2→ビデオ1→ビデオ2→前面端子→D端子1→D端子2→PCの順に切換わります。
メニュー表示中はリモコンの 決定 と同じはたらきをする。
P.34～35
視聴している放送の種類の中でチャンネルを順送り、または逆送りで切換える。
たとえば、地上デジタル放送を見ていたときは、地上デジタル放送の別のチャンネルに切換わります。ただし、ビデオ入力やPCなどの映像を見ていたときは、地上アナログ放送を表示して、チャンネルを切換えます。
メニュー表示中はリモコンの ▲▼ と同じはたらきをする。
P.34～35
主電源が入っているときに、電源を「入」「切」できる。
P.23
メニューを表示する。
P.34～35
音量を調節する。 P.23
メニュー表示中はリモコンの ◀ ▶ と同じはたらきをする。
P.34～35
電源
メニュー
入力切換
チャンネル
音量
決定
ヘッドホン
S2映像
映像
左 -音声- 右
前面入力
ステレオのヘッドホンを差し込む。
S-VHS ビデオなどの S 映像端子、S1 映像端子、S2 映像端子を接続する。
（S2 映像入力端子と映像入力端子の両方に接続した場合は、S 映像が優先されます。）
ビデオムービーやゲーム機などを接続する。

本体後面

B-CAS
B-CASカード
BS-Conditional Access Systems
B-CAS
BS・CS・地上共用
（110度）
サービス用
付属のB-CASカードを入れる。
P.54
●必ず本体の主電源を「切」にしてください。
●カードを入れる前に、この説明書の裏表紙にカード番号を記入してください。
●付属のカード以外のものを入れないでください。
カバーのはずしかた
つまみを押しながら図の矢印の方向にカバーをはずしてください。
サービス用
使用しないでください。
デジタル放送出力
S2映像
映像
左-音声-右
Ir システム
デジタル放送を録画するための、録画用ビデオやDVDレコーダーへの出力端子。
P.156
デジタル放送以外は出力しません。
付属のIrケーブルを接続する。
P.157
録画用ビデオやDVDレコーダーへ録画するためのリモコン信号を送ることができます。
D-VHSビデオなどのi.LINK対応機器を接続する。
P.158
最大で約400Mbpsのデータ転送ができます。
BS・110度CSアンテナを接続する。
P.150
市販の光ケーブルで、デジタル音声入力（光）端子をもつオーディオ機器と接続する。
P.164
電話回線を接続する。
P.152
電話回線
デジタル音声出力（光）
i.LINK S400(TS)
アンテナ電源の切換えは、メニュー画面で設定してください。
BS・110度 CS-IF入力
（DC15V最大4W DC11V最大3W）
地上デジタルアンテナ入力

ビデオやDVDプレーヤーなどのビデオ出力を接続する。 P.154

S-VHSビデオなどS端子対応の機器を接続する。 P.154

DVDプレーヤーなど、D映像出力やコンポーネント映像出力をもつ機器を接続する。 P.155

アナログRGB出力のパソコンを接続する。 P.161

外部アンプなどへの音声出力端子。 P.163

サービス用
使用しないでください。

ビデオ1入力 ビデオ2入力 D端子1入力 D端子2入力 PC入力
S2映像 映像 左-音声-右 D4映像 D4映像 音声出力 RGB映像 音声 サービス用

VHF/UHF 75Ω
入力(手前)
出力(奥)

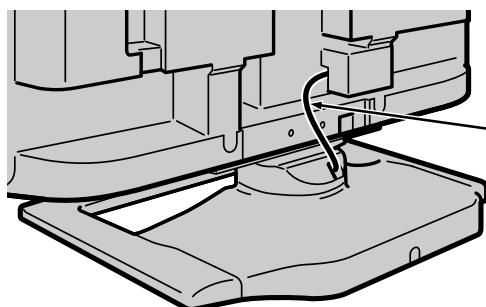
〈手前＝VHF/UHF入力〉
VHF/UHFアンテナを接続する。 P.149

〈奥＝VHF/UHF出力〉
地上デジタルアンテナ入力端子へのアンテナ出力端子。 P.149

地上デジタル放送用のUHFアンテナを接続する。 P.150

地上アナログ放送も視聴する場合は、アンテナをVHF/UHF入力端子に接続してから、付属のアンテナ接続ケーブル(0.3m)でVHF/UHF出力端子と接続してください。

お願い!

- 接続は、電源プラグを抜いてから行ってください。
- 映像·音声接続用のプラグと端子は、色分けがしてあります。
  それぞれ色が合うようにつないでください。
  映像…黄、音声－左…白、音声－右…赤
- プラグはしっかり差込んでください。不完全な接続は雑音、映像ノイズなどの原因になります。
- 接続線は、付属のクランパで固定してください。 P.13
- プラグを抜くときは、コードを引っ張らずに、プラグを持って抜取ってください。
- 機器をつないで映像が乱れたり、雑音が出るときは、たがいに近すぎることがあるので、機器を十分に離してください。
- 機器によっては接続が異なる場合がありますので、接続する機器の説明書もあわせてご覧ください。
- 録画·録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。
- 本体後面のリード線を引っ張ったり抜いたりしないでください。

留意点

ご使用の前に下記の内容を必ずお読みください。

■本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。
この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用以外には使用できません。分解したり、改造することも禁じられています。
■国外でこの製品を使用して有料放送サービスを享受することは、有料サービス契約上禁止されています。
■付属のB-CAS（ビーキャス）カードはデジタル放送を視聴していただくために、お客さまへ貸与された大切なカードです。破損や紛失などの場合はただちにB-CAS（ビーキャス）〔(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ〕カスタマーセンターへご連絡ください。なお、お客さまの責任で破損、故障、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。P.172
■万一、本機の不具合により、録画できなかった場合の補償についてはご容赦ください。
■あなたがビデオなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
■本機から電話回線を通じて通信を行うと、通話料着信人払いサービス（フリーコールやフリーダイヤルなど）でないかぎり、電話料金はお客さまの負担になります。

電話回線の接続が必要です

デジタル放送では、電話回線を使って料金管理や視聴者参加番組への参加などができるシステムを採用しています。本機にはNTTの2線式公衆電話回線で、プッシュ式またはダイヤル式（10PPS／20PPS）の電話機に接続の電話線を分配して接続してください。また、接続した電話回線は異常が発生しない限り、取り外さないことをおすすめします。不特定多数の人が利用する公衆電話や共同電話では利用できない場合があります。

本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器とは離してご使用ください

本機の受信周波数帯域（VHF：90～222MHz、UHF：470～770MHz、BS：1032MHz～1336MHz、CS：1595MHz～2071MHz）に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナケーブルの途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。

操作できなくなった場合は

受信異常により、本機の操作ができなくなった場合は本機画面底部の主電源ボタンで主電源をいったん切ったあと、しばらくして再度主電源を入れ直してください。

天候不良によっては、画質、音質が悪くなる場合があります

衛星デジタル放送の場合、雨の影響により衛星からの電波が弱くなっているときは、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切換えます。（降雨対応放送が行われている場合）降雨対応放送に切換わったときは、画面にメッセージが表示されます。
降雨対応放送では、画質や音質が少し悪くなります。また、番組情報も表示できない場合があります。

視聴記録の送信について

B-CAS（ビーキャス）カードに記録されるPPV（ペイ・パー・ビュー）の視聴記録データは、定期的に電話回線を通じて放送局へ自動送信されます。データ送信の電話料金は無料ですが、データ送信中は、同じ回線に接続の電話機は使用できません。

本機に付属しているB-CAS（ビーキャス）カード以外のものを挿入しないでください

B-CAS（ビーキャス）カード挿入口には、正規のB-CAS（ビーキャス）カード以外のものを挿入すると本機が故障したり破損することがあります。

本機の主電源は頻繁に切らないことをおすすめします

長期間留守にされる場合や本機に異常が発生したとき以外は、本機の電源プラグをコンセントから抜いたままにしたり、主電源「切」のままにしないことをおすすめします。本機は電源オフ（スタンバイ）状態でも、自動的にデジタル放送のメンテナンス情報を受信して、ソフトウエアの更新が行われる場合があります。

テレビを見る

デジタル放送の見かたについては、 P.54～71 をご覧ください。

例：地上アナログ放送を見る

準備　本体の主電源を入れる

電源インジケーター	赤または橙に点灯➡1へ
	緑に点灯➡2へ

1 電源を入れる

- 電源インジケーターが赤または橙から緑に変わります。（主電源が入っているときに使えます。）

2 チャンネルを選ぶ

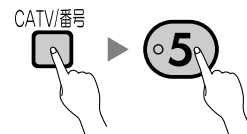
- あらかじめチャンネル自動設定が必要です。 P.144～145
- チャンネルボタンに設定する放送チャンネルと画面に表示されるチャンネル番号は、チャンネルの手動設定により変えることができます。 P.146～148
- デジタル放送のチャンネルが選ばれているときは、地上アナログボタンを押してからチャンネルを選んでください。

一般のテレビを見る場合

チャンネルボタンを押す

ケーブルテレビを見る場合

CATV/番号ボタンを押す

Cの表示が出ているあいだにチャンネルボタンを押す

チャンネルを順送り/逆送りで選ぶ場合

チャンネル∧∨ボタンを押す

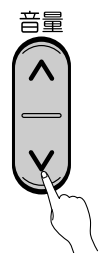
3 音量を調節する

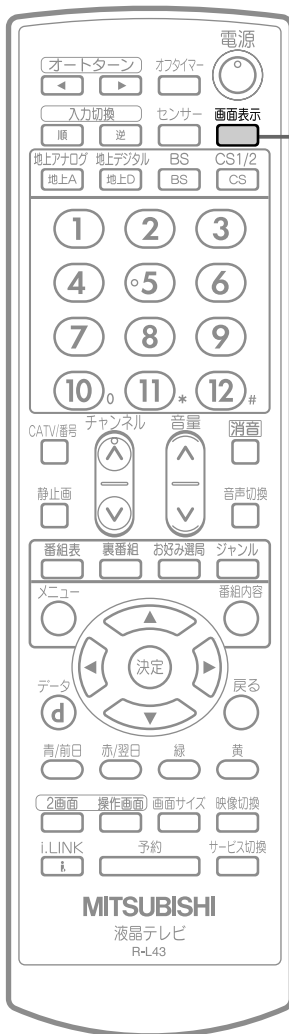
- 音量は0から最大60まで変化します。
- 待機状態のときでも、音量を小さくすることができます。

お知らせ

- 主電源が「切」の状態は、コンセントを抜くのと同じで、消費電力0Wになります。リモコンや本体の電源ボタンははたらきません。
- 電源ボタンで「切」にすると待機状態になります。
  - ・橙に点灯…マイコンおよびデジタル放送チューナーなどの回路が通電しています。
  - ・赤に点灯…マイコン回路のみ通電しています。

お願い!

携帯電話や無線機などをご使用になるときはテレビや接続機器に近づけないでください。
音声に異音が入ったり、テレビにノイズが出たりする場合があります。
異音が出たり、テレビにノイズが出たりした場合には、携帯電話などを離してご使用ください。

見ている番組のチャンネル番号などを表示する

チャンネル番号、映像や音声のモード、画面サイズなどを確認できます。デジタル放送を見ているときは、番組のタイトルや臨時放送の有無なども確認できます。

番組を見ているときに

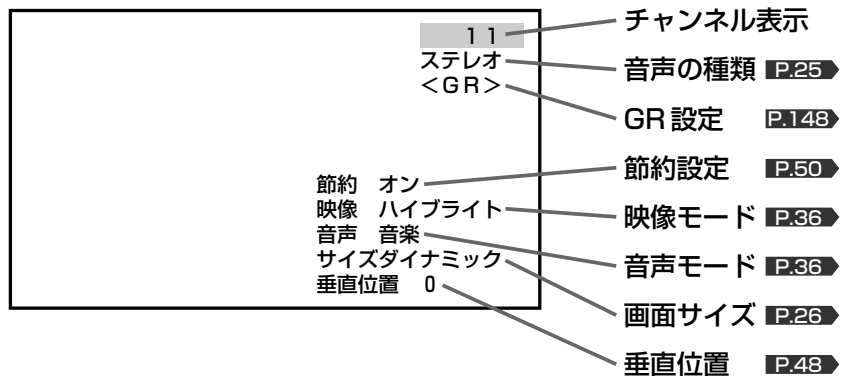
画面表示 を押す

現在見ている番組の情報や設定などが表示されます。
表示の内容は、地上アナログ放送とデジタル放送とで異なります。

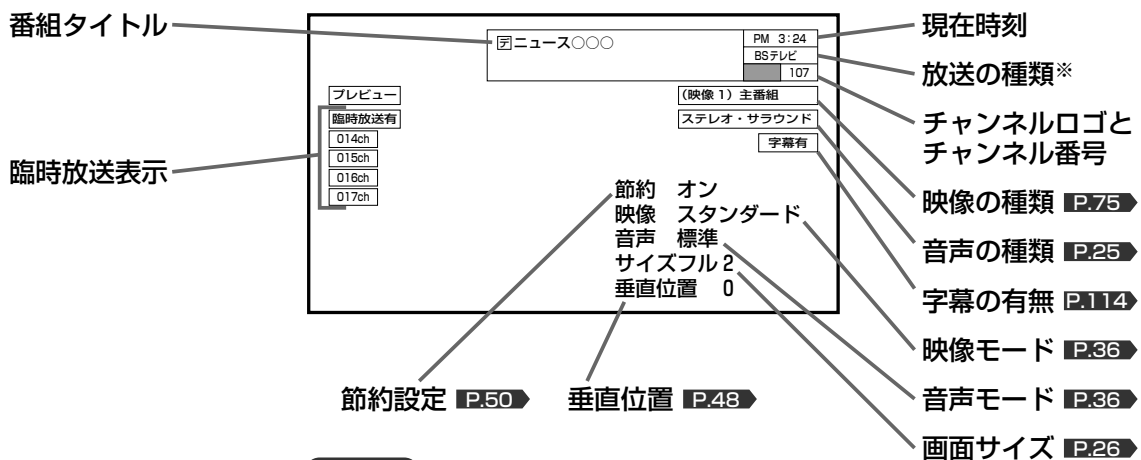
表示は自動的に消えます。

地上アナログ放送の画面表示

11
ステレオ
<GR>
節約　オン
映像　ハイブライト
音声　音楽
サイズダイナミック
垂直位置　0

チャンネル表示
音声の種類 P.25
GR設定 P.148
節約設定 P.50
映像モード P.36
音声モード P.36
画面サイズ P.26
垂直位置 P.48

チャンネル番号は、放送内容によって表示する色が変わります。

放送内容	表示色
モノラル放送	緑色
二重音声放送	黄色
ステレオ放送	赤色

デジタル放送の画面表示

お知らせ

※　地上 …地上デジタル放送
　　BS　…BSデジタル放送
　　CS1…110度CS1デジタル放送
　　CS2…110度CS2デジタル放送

音声を切換える

テレビの音声にはモノラル･二重音声(二ヵ国語)･ステレオ･サラウンドなどがあり、自動的に切換わります。
二重音声(二ヵ国語)放送や音声信号が複数ある場合などは、お好みに合わせて切換えることができます。

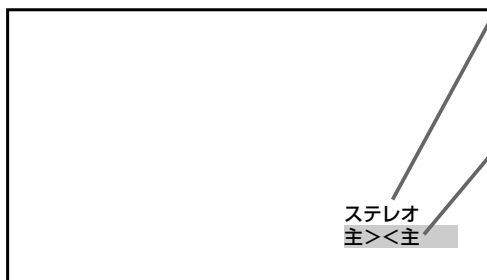
二重音声(二ヵ国語)放送とは

二重音声(二ヵ国語)放送とは、2種類の異なる音声(主音声と副音声)を選んで聴くことができる放送です。
たとえば洋画番組の二重音声放送では、日本語に吹き替えられた音声が主音声、外国語のままの音声が副音声になっています。放送によっては主音声が外国語の場合もあります。
新聞などのテレビ欄で、二あるいは多のマークのある番組が二重音声放送を行っています。

番組を見ているときに

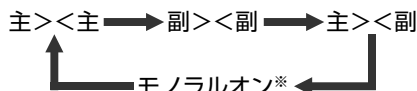
音声切換 **を押す**

押すごとに音声が切換わります。
切換わる音声の種類は、地上アナログ放送とデジタル放送とで異なり、また番組によっても異なります。

地上アナログ放送の場合

番組の音声

モノラル……モノラル放送
二重音声……二重音声(二ヵ国語)放送
ステレオ……ステレオ放送

音声切換の状態

音声切換 を押すごとに切換わります。

- 二重音声放送でないときは、主／副音声、副音声は出ません。音声切換ボタンを押すと、画面表示だけが変わります。
- 音声切換の状態は、電源を切ってもチャンネルごとに記憶されています。

※モノラルオン…ステレオ放送で雑音が多い場合は、「モノラルオン」に設定すると聞こえやすくなります。

お知らせ

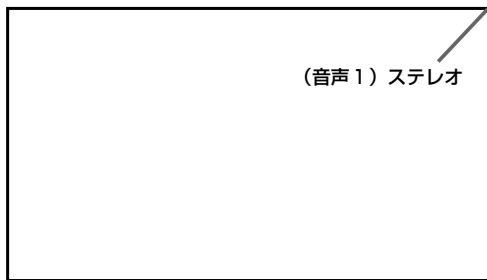
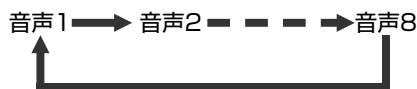
- ビデオなどの再生時は、ビデオ機器側で音声切換をしてください。
- モノラル放送のときは、音声切換ボタンを押しても音声は変わりません。画面表示だけが変わります。
- ステレオ放送などで「モノラルオン」を選んでいるときは、ステレオ放送･二重音声放送を受信しても、モノラル音声･主音声が出ます。
- デジタル放送では、切換えた音声が有料の場合もあります。

デジタル放送の場合

(音声１) ステレオ

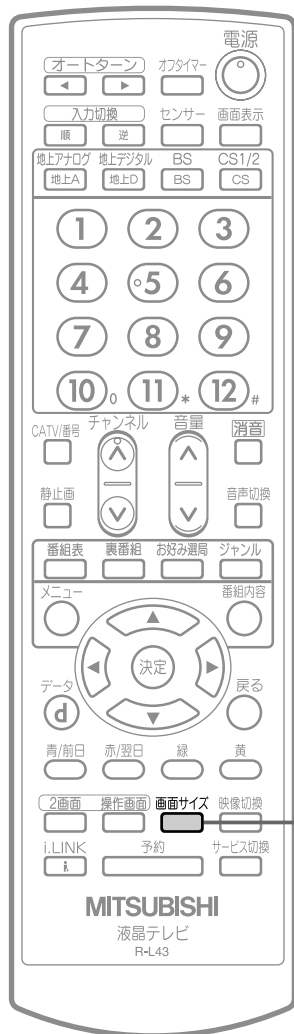
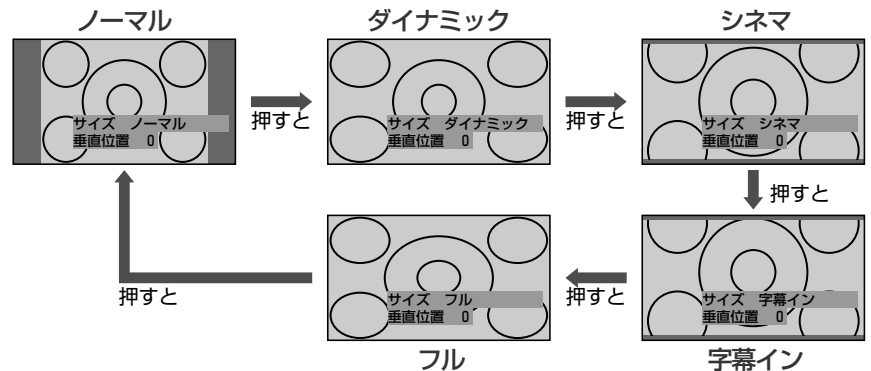
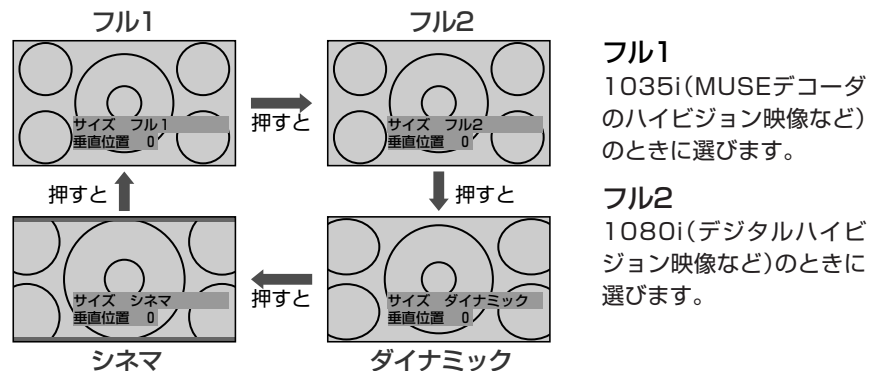
音声切換の状態

音声切換 を押すごとに音声信号が切換わります。

音声1 → 音声2 - - - → 音声8

二重音声放送の場合は、主音声→副音声→主／副音声と切換わってから、次の音声信号に切換わります。

※音声が1種類の場合は表示されません。

画面サイズを選ぶ

映像に合わせた画面サイズを選べます。
選べる画面サイズは、見ている番組や放送の種類によって異なります。

お願い

- このテレビは、各種の画面サイズ切換え機能を備えています。テレビ番組などソフトの映像比率と異なるサイズを選択すると、オリジナルの映像とは見えかたに差が出ます。この点にご留意の上、画面サイズをお選びください。
- テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、画面サイズ切換え機能を利用して、画面の圧縮や引伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

お知らせ

- S2映像入力端子にS1またはS2対応のビデオなどをつないで映像を見るときや、D4映像端子(画面サイズ制御信号があるとき)につないで映像を見るときは、自動的に次のように切換わります。
  - ・16:9の映像 ━━▶「フル」(画面の横と縦の比が16:9の映像)
  - ・劇場サイズの映像 ━▶「シネマ」(S2対応のとき)
- DVDなどの画面サイズ識別信号(ID-1)により、自動で画面サイズを切換えることができます。(あらかじめメニュー機能で設定が必要です。設定のしかたについては、P.49 をご覧ください。S端子やD端子接続時は、はたらきません。)
- PC入力のとき、750p信号のとき、2画面表示しているときは、画面サイズを選べません。
- 見ている映像によっては、映像の上下が画面の外にはみ出したり、映像が画面の中央からずれていることがあります。このようなとき、映像を上下に移動させることができます。P.48

ノーマル

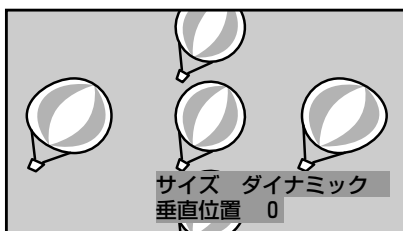
4:3の画面サイズで見る

横と縦の比が4:3の映像に切換わります。

ダイナミック

4:3の映像をワイド画面で見る

スポーツ番組を見るときなど、臨場感が増して迫力ある映像を楽しめます。
デジタル放送の4:3映像で左右の黒帯が気になるときは、画面左右を拡大して、画面いっぱいに表示します。

- 画面左右の映像が少し横に広がります。
- 画面上下の映像が少し外にはみ出します。

シネマ

劇場サイズの映画・ビデオを見る

劇場サイズの映像を、画面いっぱいに拡大して見ることができます。

- 映像の上下の黒い帯が残るものもあります。

字幕イン

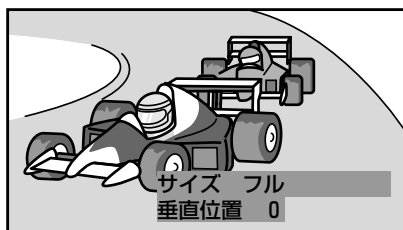
字幕付劇場サイズの映画・ビデオを見る

字幕の部分を縦方向(上)にずらして画面の中に入れ、画面いっぱいに拡大して見ることができます。

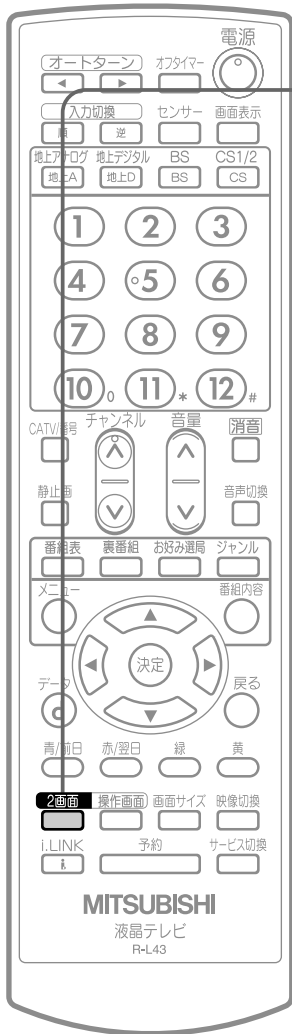
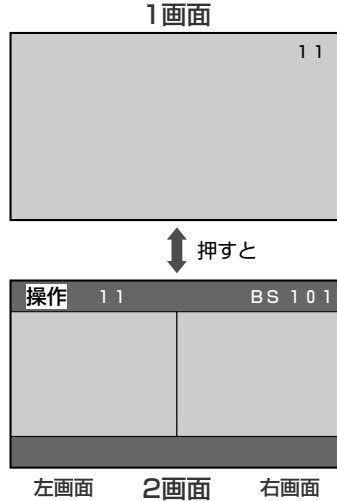
フル

ハイビジョン番組やDVDなどのスクイーズ16:9映像を見る

画面いっぱいに拡大して見ることができます。

- 地上アナログ放送など4:3の映像では、映像全体が横に広がります。

2画面で見る

テレビの番組を見ながらビデオなどの映像を同時に見ることができます。

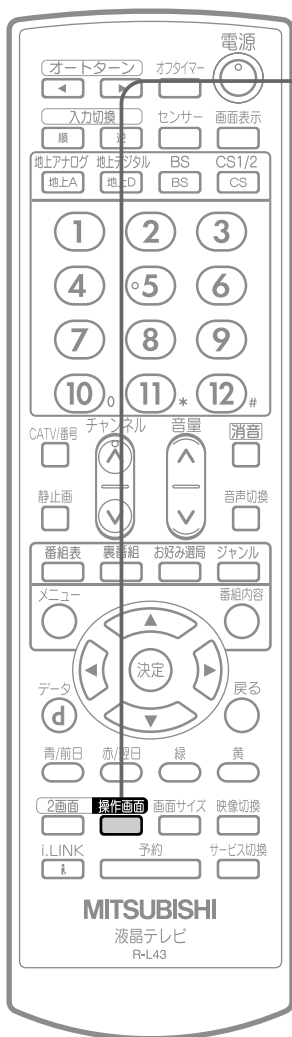
2画面にする

お知らせ

- 2画面にできない映像入力があります。くわしくは、下記の「画面の組合わせ」をご覧ください。
- 左右同じ画面を2画面表示できません。
- 2画面のまま電源を切ると、次に電源を入れたときは1画面になります。
- スピーカやヘッドホンから出る音声は、「操作」表示がある画面の音声です。
- 音声出力端子から出力される音声も、「操作」表示がある画面の音声です。
- D端子1/2入力の信号のない1画面(全面黒の画面)から2画面にすると、全面黒の画面になります。
- 映像モードと音声モードの設定は、左画面の入力で選んだモードになります。映像モードと音声モードについては、P.36 をご覧ください。
- 静止画やメニュー画面表示中は、2画面ボタンと操作画面ボタンははたらきません。
- 2画面表示中は、画面サイズ切換えや静止画にすることはできません。
- 2画面は左右別々の回路で処理を行うため、映像の鮮明さに若干の差があります。
- PC入力は2画面にできません。

画面の組合わせ

○:表示できる組合わせ　×:表示できない組合わせ

左画面＼右画面	地上アナログ放送	地上デジタル放送	BSデジタル放送	110度CSデジタル放送	ビデオ1入力	ビデオ2入力	前面入力	D端子1入力	D端子2入力	PC入力	i.LINK接続機器
地上アナログ放送	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
地上デジタル放送	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×
BSデジタル放送	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×
110度CSデジタル放送	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×
ビデオ1入力	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○
ビデオ2入力	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○
前面入力	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○
D端子1入力	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○
D端子2入力	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
PC入力	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
i.LINK接続機器	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×

2画面でチャンネルや入力などを切換える

1 操作画面 を押して、操作したい画面に「操作」を表示させる

押すごとに次のように切換わります。

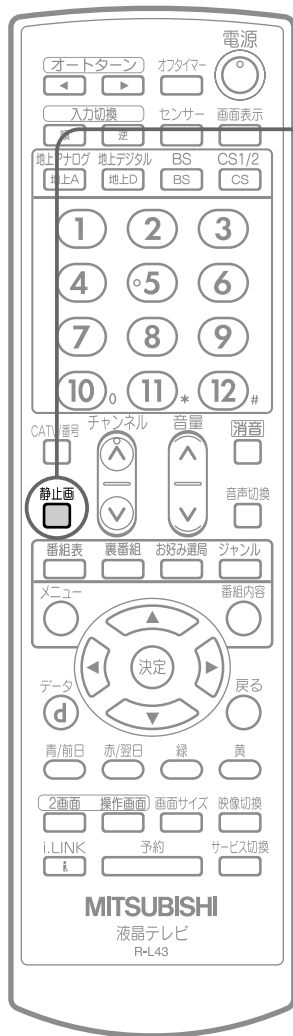
2 チャンネルや入力の切換えなど、リモコン操作をする

「操作」表示のある画面だけ切換わります。

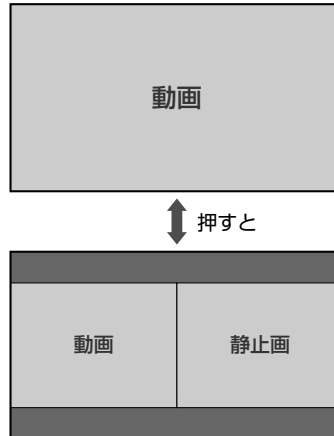
お知らせ

左画面を信号のないD端子1/2入力(黒画面)に切換えると、全面黒の画面になります。

静止画にする

テレビを見ていてメモをとりたい画面などが出てきたときは、静止画にすると便利です。

1画面で見ているときに

静止画 を押す

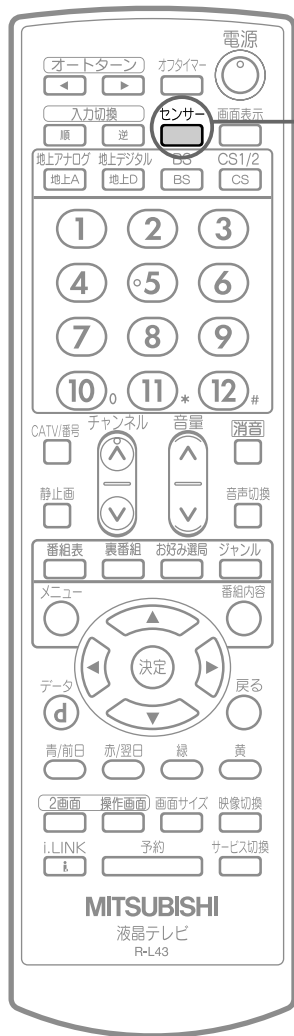
2画面になり、右画面に静止画を表示します。

■ 1画面に戻したいときは

もう一度 静止画 を押す

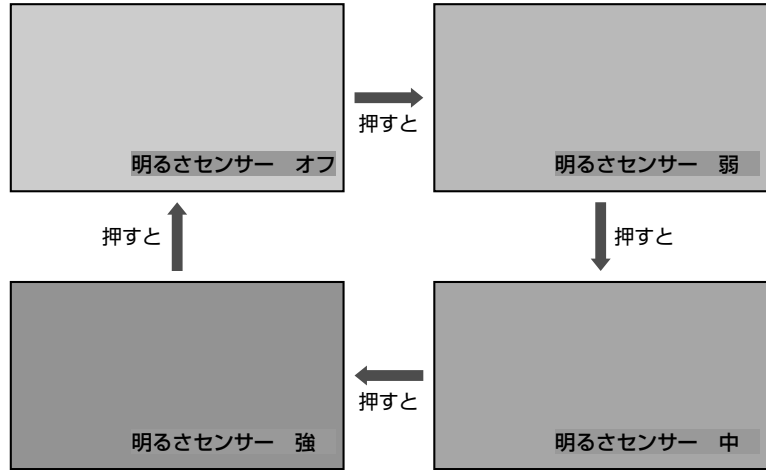
お知らせ

- 2画面やメニュー画面表示中、PC入力のときは、静止画にできません。
- 静止画を表示中は、チャンネルや入力の切換えなどの操作をすると、静止画は消え、1画面に戻ります。
- 静止画表示中に放送の内容が変わるなど信号が変わると左画面の映像が消えることがあります。1画面に戻すと正常に映像が表示されます。
- 静止画を表示中は、2画面ボタン、操作画面ボタン、メニューボタンははたらきません。

自動的にお部屋に合った画面の明るさにする（明るさセンサー）

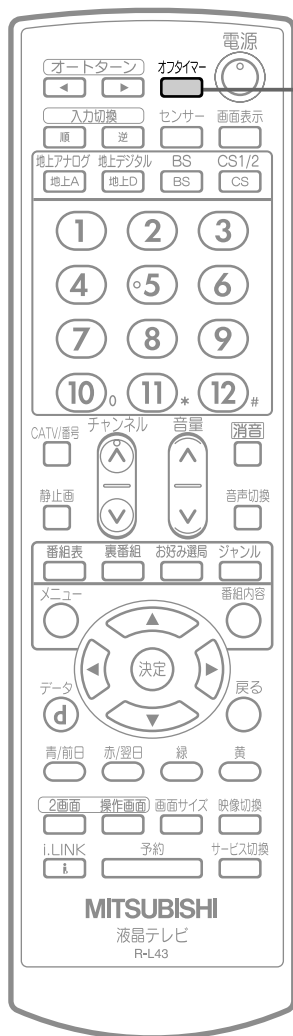
本体前面の明るさセンサーがお部屋の明るさを感知して、自動で画面の明るさをおさえます。

画面の明るさをおさえるには、

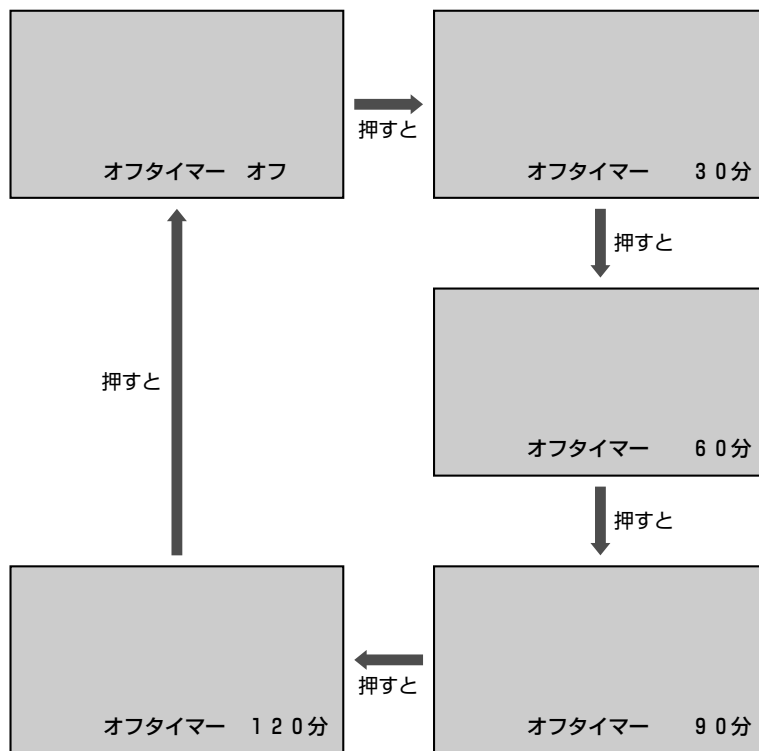
センサー を押して、お好みで「弱」「中」「強」のいずれかを選ぶ

押すごとに次のように切換わります。

オフ
明るさセンサーは、はたらきません。画面の明るさは通常のままです。

弱/中
お部屋の明るさに合わせて画面の明るさをおさえ、消費電力を節約します。

強
アニメ番組などの明るさの変化が激しい映像を見るときにおすすめします。
消費電力も節約します。

自動的に電源を切る（オフタイマー）

オフタイマー を押す

ボタンを離したところの時間が設定されます。
押すごとに次のように切換わります。

約5秒後に表示が消え、オフタイマーがスタートします。

■ オフタイマーを取消したいときは

「オフタイマー　オフ」の表示が出るまで オフタイマー を押す

■ 設定後に電源が切れるまでの時間を確認したいときは

オフタイマー を1回押す
2回以上押すとオフタイマーが設定し直されます。

■ 電源が切れる1分前になると

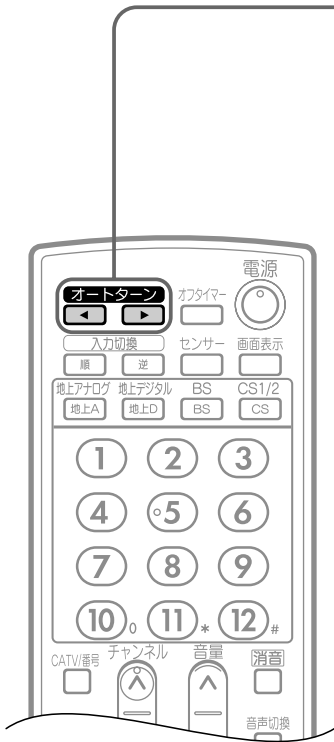
赤色で「オフタイマー　1分」の表示が出ます。

お知らせ

オフタイマーの時間は、最大で約1%ずれることがあります。

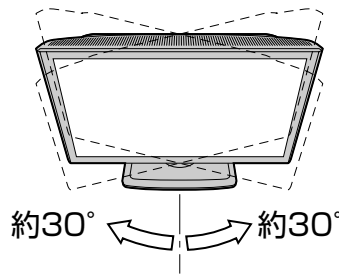
本体の向きを変える 左右(オートターン)/上下

テレビ画面を見やすい方向に調整できます。

リモコンで左右に回転させる(オートターン)

オートターン ◀ ▶ を押す

テレビが左右に約30°回転します。

画面に「左回転」と表示します。

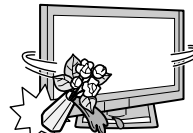
約30° 約30°

画面に「右回転」と表示します。

お知らせ

- お子様のいたずら防止などのため、オートターンを使えなくすることができます。くわしくは P.53 をご覧ください。
- メニュー画面を表示中にオートターンボタンを押しても、オートターンははたらきません。
- 左右で回転音に差が生じることがあります。

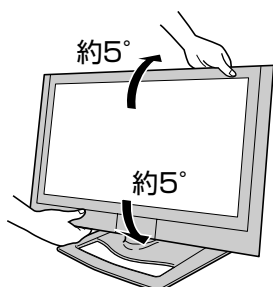
⚠注意 特にお子様にご注意ください。

回転中に、指や物をはさまない。
テレビが回転したときに、指をはさみ危険です。

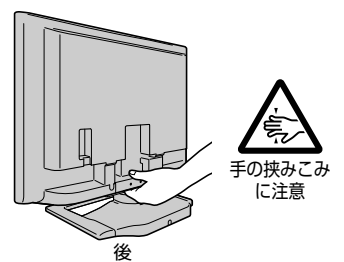
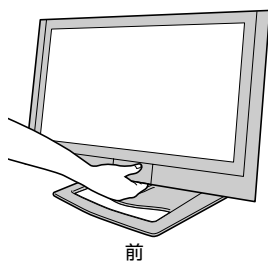
テレビにのったり、重い物をのせて回転させない。

回転範囲には、物を置かない。

お願い!
長時間、連続回転させない。

上下の角度を調節する(手動)

●**角度調節は…**
図のようにテレビ本体を持ち、上下の角度を調節します。

⚠注意 上下の角度を調節するときに、指をはさまないように気をつけてください。けがの原因になることがあります。

前

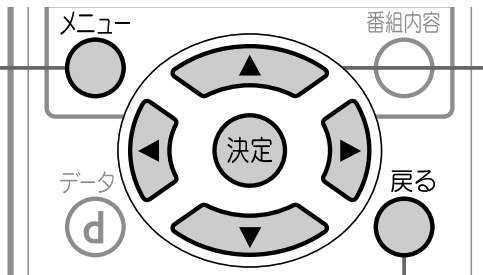
後

メニュー機能の使いかた

このテレビは画面を見ながら、画質や音質などいろいろな設定ができます。

基本的な設定のしかた

1

リモコンの メニュー を押すと、
メインメニュー画面を
表示します。

メニュー画面表示中は
メニューを終了します。

2

▲▼：項目を選びます。

決定：選んだ項目を決定して、
次の画面に進みます。
（▶ も同じはたらきをします。）

◀▶：設定を変えます。
（調整します。）

戻る：1つ前の画面に戻ります。

メニュー機能で設定できる項目

画質設定

画質の設定をお好みにしたいときに調整できます。 P.38~41

- 映像モード切換 P.36
- 画質調整 → 映像／画質／明るさ／黒レベル／色あい／色のこさ／色温度／ＤＮＲ P.38
- プロ調整 → ガンマ補正／色補正／ＤＬＥ／黒補正／ＤＩＰ／ＣＴＩ P.40
- 画質リセット P.39
- デジタルシネマ P.39
- ＦＦＤ P.39

● 「プロ調整」は、映像モード P.36 が
「マイベスト1」または「マイベスト2」
のときに選べます。

音質設定

音質の設定をお好みにしたいときに調整できます。 P.42~47

- 音声モード切換 P.36
- 音質調整 → 高音／低音／バランス／重低音 P.42
- 音質リセット P.43
- ヘッドホン調整 → ヘッドホン高音／ヘッドホン低音／ヘッドホンバランス P.44
- ソフトトーン P.47
- クリアトーン P.47
- クッキリボイス P.46
- サラウンド P.47
- レベルサウンド P.47

画面設定

画面の位置や幅と、画面サイズに関する設定ができます。 P.48~49

- 垂直位置調整 P.48
- 水平幅設定 P.49
- ＩＤ－１判定 P.49

メインメニュー画面

設定できる項目を表示します。選んだ項目は、青色で表示します。

画質設定 ▶	映像モード切換
音質設定	画質調整
画面設定	プロ調整
機能設定	画質リセット
初期設定	デジタルシネマ
ＰＣ設定	ＦＦＤ
デジタル設定	

▲▼で選択　戻るで戻る　▶決定で次へ　メニューで終了

選んだ項目の細かい設定項目や解説文を表示します。

この画面で使うリモコンのボタンをお知らせします。

機能設定

いろいろな機能を使うための設定をします。P.50～53

- 節約設定 → 電力量節約 P.50・無操作節電・無信号節電
- チャイルドロック P.52
- オートターン設定 P.53

初期設定

地上アナログ放送のチャンネル設定をします。P.144～148

- チャンネル自動設定 P.144
- チャンネル手動設定 P.146

ＰＣ設定

パソコンを接続したときに設定します。P.162

- 位相調整
- 周波数調整
- 水平位置調整
- 垂直位置調整
- 水平解像度調整
- 垂直解像度調整
- 水平幅調整
- ＰＣ設定リセット

デジタル設定

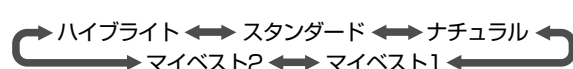
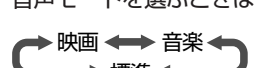
デジタル放送を見るための初期設定や、より楽しむための設定ができます。P.94～142

お知らせ/情報 P.94
■メール
■ボード（CS）
■番組購入金額
■B-CASカード情報
■地上チャンネル一覧 ※

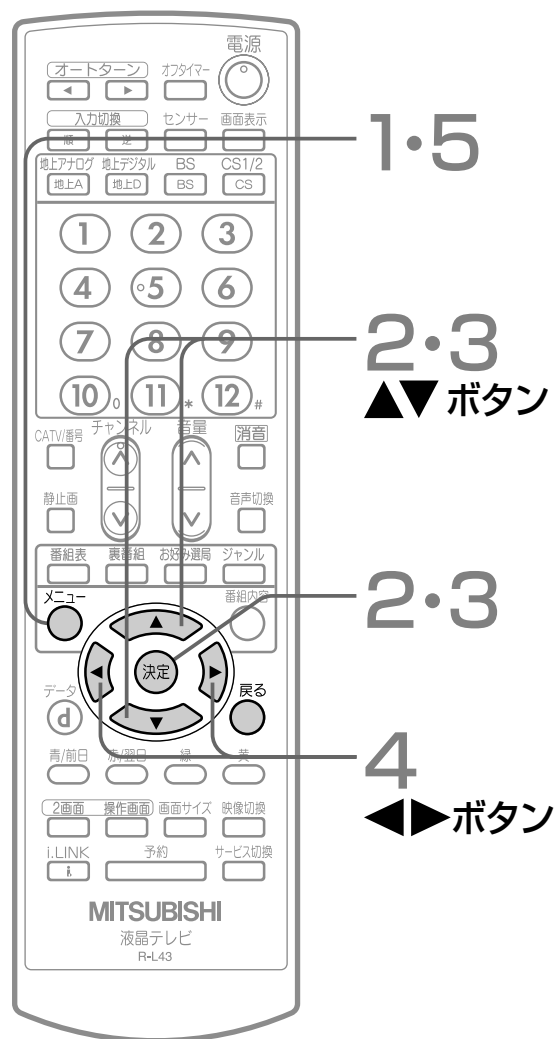
ユーザ設定 P.113
■字幕設定
■予約設定
■降雨対応放送設定
■視聴制限設定
■居住地域設定
■郵便番号設定
■番組情報取得
■ユーザ設定リセット

初期設定 P.101
■アンテナ設定
■チャンネル自動設定
■地上チャンネルボタン設定 ※
■地上チャンネルお好み設定 ※

機器設定 P.128
■i.LINK待機設定
■電話回線設定
■通信設定
■Irシステム設定
■光音声出力設定
■ダウンロード設定

※印の項目は、視聴中の放送の種類によって表示が変わります。

映像に合った画質や音質の設定を選ぶ（映像モード/音声モード）

5つの映像モード（ハイブライト、スタンダード、ナチュラル、マイベスト1、マイベスト2）と、3つの音声モード（映画、音楽、標準）から選ぶことができます。
それぞれの設定は、お好みに合わせて調整できます。P.38〜43

例：映像モードを「ナチュラル」に切換えた

1 （メニュー）を押す

2 ▲▼で「画質設定」を選び、（決定）を押す

音声モードを切換えたいときは、「音質設定」を選びます。

3 ▲▼で「映像モード切換」を選び、（決定）を押す

音声モードを切換えたいときは、「音声モード切換」を選びます。

4 ◀または▶を押して、▷ナチュラル◁を選ぶ

押すごとに次のように切換わります。

ハイブライト ⇔ スタンダード ⇔ ナチュラル ⇔ マイベスト1 ⇔ マイベスト2 ⇔ ハイブライト

音声モードを選ぶときは、次のように切換わります。

映画 ⇔ 音楽 ⇔ 標準 ⇔ 映画

5 （メニュー）を押す

お知らせ

- 映像モードと音声モードは、各入力（放送の種類やビデオ入力など）ごとに選ぶことができます。
- PC入力では、映像モードを切換えることはできません。「PC」に固定されます。

いとき

映像モード切換 ▶
画質調整
プロ調整
画質リセット
デジタルシネマ
ＦＦＤ

映像モードを
切り換えます

▲▼で選択 戻るで戻る ▶決定で次へ メニューで終了

映像モード ▷ナチュラル ◁

◀▶で設定 戻るで戻る メニューで終了

映像モードの種類

- **ハイブライト**
  色調、画質ともにあざやかで、メリハリの効いた画質です。
  お部屋が特に明るく、コントラスト感が要求されるときにおすすめします。
- **スタンダード**
  標準的な画面です。一般的な視聴におすすめします。
- **ナチュラル**
  より自然で、落ちついた色合い、画質に補正された画質です。
- **マイベスト1、2**
  お好みに合わせて細かい調整ができます。P.40~41
  お部屋の明るさ、視聴する番組やソフトに応じて最適になるよう、調整してお楽しみください。
  工場出荷状態およびメニューの画質リセットを選んだときは、比較的暗い部屋で映画ソフトを楽しむのに適した設定になります。
- **PC**
  PC入力専用の設定ができます。

音声モードの種類

- **映画**
  聞きとりやすい音質になっています。
  映画番組や映画ソフトを長時間見るときにおすすめします。
- **音楽**
  低音、高音を強調した設定になっています。
  音楽番組や音楽ソフトを聞くときにおすすめします。
- **標準**
  標準的な音質です。一般的な視聴におすすめします。

画面を自由に調整する

映像モード(ハイブライト、スタンダード、ナチュラル、マイベスト1、マイベスト2)は、映像・画質・明るさ・黒レベル・色あい・色のこさ・色温度・DNRを調整することによって、設定を変えることができます。映像モードについては、P.36～37

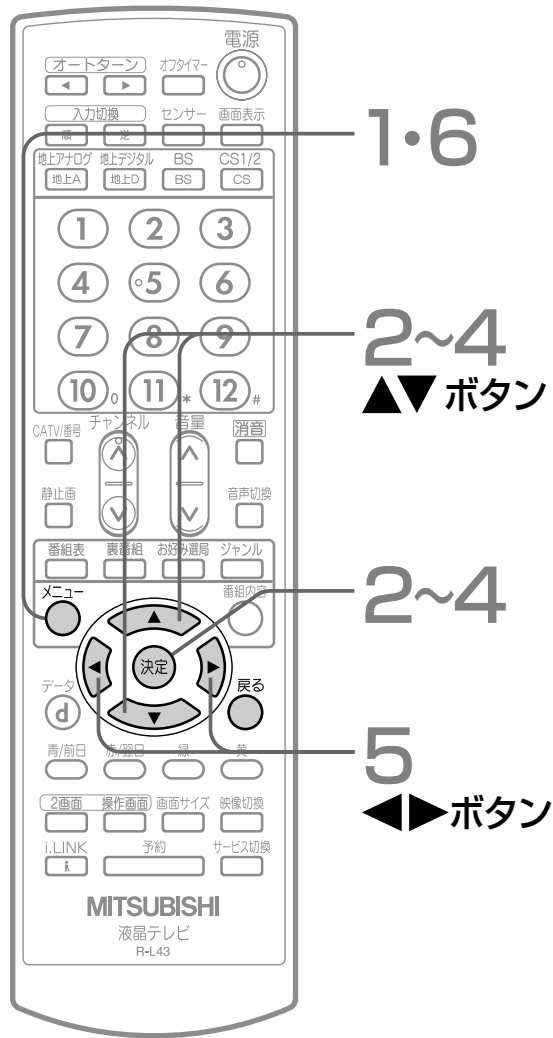
1・6

2～4
▲▼ ボタン

2～4

5
◀▶ボタン

例：「ナチュラル」の「色のこさ」を調整した

準備　映像モードを「ナチュラル」に切換える

1 メニュー を押す

2 ▲▼で「画質設定」を選び、決定 を押す

3 ▲▼で「画質調整」を選び、決定 を押す

4 ▲▼で「色のこさ」を選び、決定 を押す

5 ◀ ▶で設定を変える

◀を押すと色が淡くなり、
▶を押すと色が濃くなります。

■ **すべての画面の調整**(下欄の10項目)**は、**
手順3～5を変えるだけで同じようにできます。

6 メニュー を押す

画面の調整項目と調整のしかた

◀ を押すと
バーが左方向に動きます。

▶ を押すと
バーが右方向に動きます。

設定値は－30～＋30まで変化します。

いとき

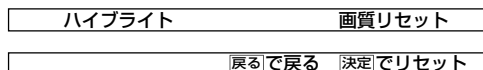
▲▼で項目選択◀▶で設定 戻るで戻る メニューで終了

ここで画面の調整項目を変更することができます。
▲▼を押すごとに次のように切換わります。

画質リセットのしかた

選んでいる映像モードの画質調整に関する内容を、工場出荷時の状態に戻します。映像モードごとにリセットできます。(「デジタルシネマ」と「FFD」はリセットされません。)

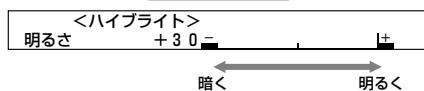
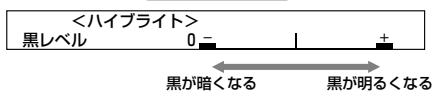
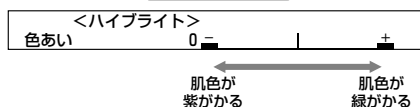
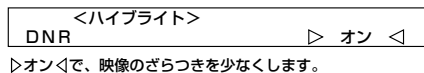
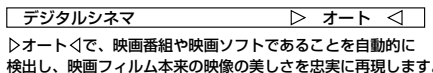
1. メニュー を押す
2. ▲▼で「画質設定」を選び、決定 を押す
3. ▲▼で「画質リセット」を選び、決定 を押す
4. 下の画面が出たら、決定 を押す(リセット完了)

ハイブライト	画質リセット
	戻るで戻る 決定でリセット

5. メニュー画面を終えるには、メニュー を押す

より美しい映像で見るために

- **お部屋の明るさに応じて**
  「明るさ」で画面の明るさを調節してください。
- **テレビに近づいて見るときは**
  「明るさ」で画面をやや暗めに、
  「画質」で少しやわらかめに調節してください。
- **暗い映画などで、黒がつぶれぎみのときは**
  「黒レベル」で黒つぶれが少なくなるように調節してください。
- **ノイズの多いビデオなどを再生するときは**
  「色のこさ」で色を淡く調節してください。

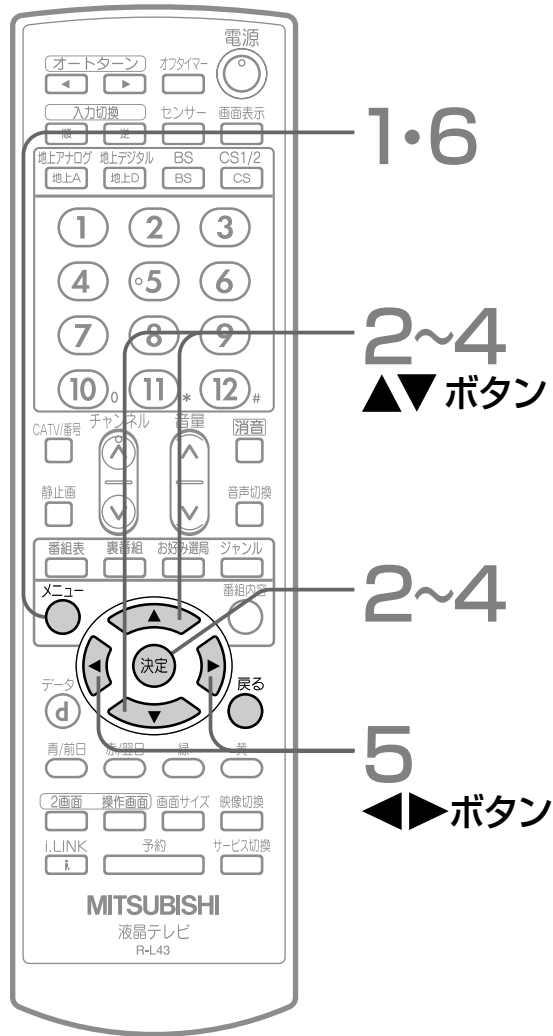
お知らせ

PC入力では、映像、画質、明るさ、黒レベルのみ調整できます。

画面をさらに細かく調整する（プロ調整）

映像モードの「マイベスト1」と「マイベスト2」は、ガンマ補正・色補正・DLE・黒補正・DIP・CTIの設定を変えることができます。

お知らせ　「プロ調整」は画質の変化が大きいため、一度に複数項目の変更をせず、1項目変更するごとに通常の「画質調整」を変更して確認しながら設定していくと、比較的早くお好みの最良画質にすることができます。
「プロ調整」項目を変更した場合は、通常の「画質調整」 P.38～39 の変更で、更に画質が向上する場合があります。

例：「マイベスト1」の「ガンマ補正」を調整

準備　映像モードを「マイベスト1」に切換える

1. メニュー を押す
2. ▲▼で「画質設定」を選び、決定 を押す
3. ▲▼で「プロ調整」を選び、決定 を押す
4. ▲▼で「ガンマ補正」を選び、決定 を押す
5. ◀ ▶で設定を変える
   押すごとに次のように切換わります。
   強 ⟷ 中 → 弱 → 強
6. メニュー を押す

プロ調整の調整項目と調整のしかた

◀または▶を押して設定を選びます。

ガンマ補正 P.179

<マイベスト1>
ガンマ補正　▷　オフ　◁

ガンマ特性を入力信号に合わせて調整し、コントラスト感のある画質に仕上げます。

- ▷ 強 ◁：暗部のコントラスト感が強調されます。
- ▷ 中 ◁：標準の設定状態です。
- ▷ 弱 ◁：明部のコントラスト感が強調されます。
- ▷ オフ ◁：ガンマ補正がオフになります。

色補正

<マイベスト1>
色補正　▷モード2◁

自然に見えるように色あいを補正します。

- ▷モード1◁：赤、青、緑などの原色を鮮やかに補正します。自然の風景などを見る場合におすすめします。
- ▷モード2◁：モード1よりも自然さと落ちつきを重視した設定です。
- ▷ オフ ◁：色補正がオフになります。

DLE P.180

<マイベスト1>
DLE　▷　弱　◁

コントラストを保ち黒つぶれをなくす画質補正処理を行います。

- ▷ 強 ◁ / ▷ 中 ◁ / ▷ 弱 ◁：暗部の階調をなめらかにします。
- ▷ オフ ◁：DLEがオフになります。

したいとき

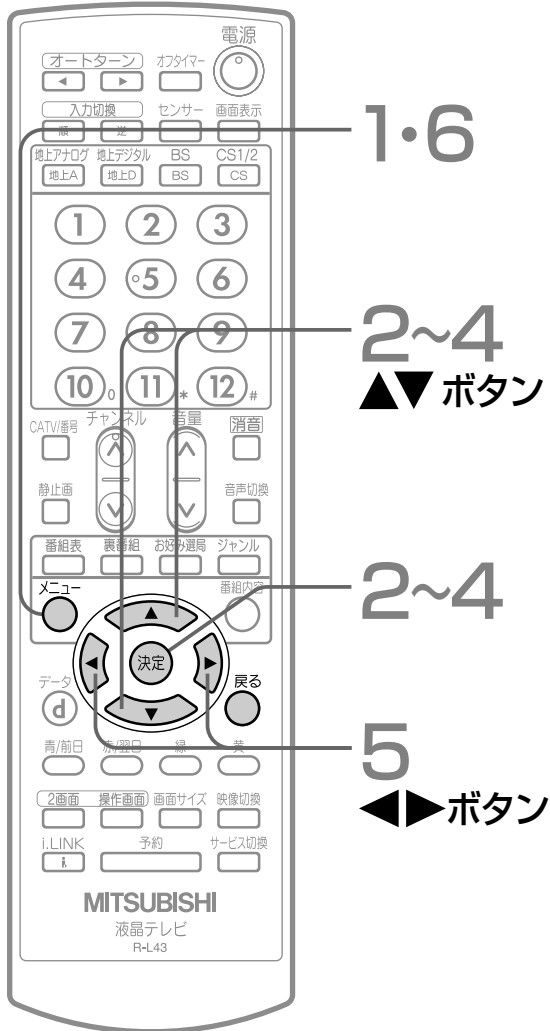
ここでプロ調整の調整項目を変更することができます。
▲▼を押すごとに次のように切換わります。

ガンマ補正 ⟷ 色補正 ⟷ DLE ⟷ 黒補正 ⟷ DIP ⟷ CTI ⟷ ガンマ補正

音を自由に調整する

音声モード(映画、音楽、標準)は、高音·低音·バランス·重低音の設定を調整することによって、設定を変えることができます。音声モードについては、P.36~37 をご覧ください。

例:「音楽」の「高音」を調整したいとき

準備 音声モードを「音楽」に切換える

1 メニュー を押す

2 ▲▼で「音質設定」を選び、決定 を押す

3 ▲▼で「音質調整」を選び、決定 を押す

4 ▲▼で「高音」を選び、決定 を押す

5 ◀ ▶で設定を変える

◀を押すとスピーカの高音が弱くなり、
▶を押すとスピーカの高音が強くなります。

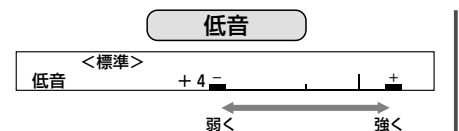
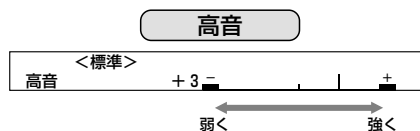
■ **すべての音の調整(下欄の4項目)は、**
手順4~5を変えるだけで同じようにできます。

6 メニュー を押す

音の調整項目と調整のしかた

◀ を押すと
バーが左方向に動きます。

▶ を押すと
バーが右方向に動きます。

設定値は－6~＋6まで変化します。

音質リセットのしかた

選んでいる音声モードの音質調整に関する内容を、工場出荷時の状態に戻します。音声モードごとにリセットできます。

1. メニュー を押す
2. ▲▼で「音質設定」を選び、決定を押す
3. ▲▼で「音質リセット」を選び、決定を押す
4. 下の画面が出たら、決定を押す（リセット完了）

標準	音質リセット

戻るで戻る　決定でリセット

5. メニュー画面を終えるには、 を押す

バランス

重低音

▷ 強 ◁ ▷ 弱 ◁ ：スピーカの低音が大きくなり、迫力のある音になります。

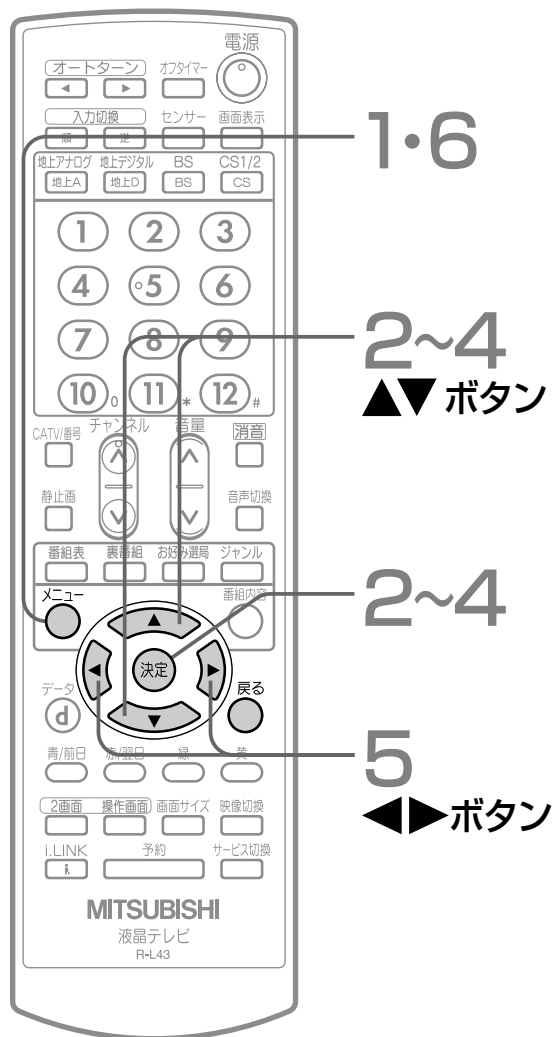
▷ オフ ◁：重低音がオフになります。

ヘッドホンの調整をする

ヘッドホンも高音・低音・バランスの設定を調整することができます。

例：ヘッドホンの「低音」を調整したいとき

1 メニュー を押す

2 ▲▼で「音質設定」を選び、決定を押す

3 ▲▼で「ヘッドホン調整」を選び、決定を押す

4 ▲▼で「ヘッドホン低音」を選び、決定を押す

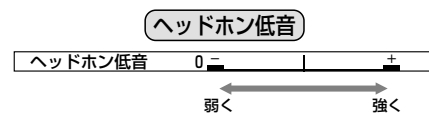
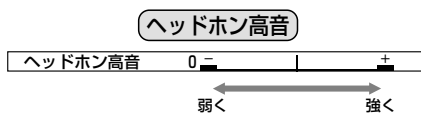
5 ◀ ▶で設定を変える

◀を押すとヘッドホンの低音が弱くなり、
▶を押すとヘッドホンの低音が強くなります。

■ **すべてのヘッドホンの調整**(下欄の3項目)**は、**
手順4～5を変えるだけで同じようにできます。

6 メニュー を押す

ヘッドホンの調整項目と調整のしかた

◀を押すと
バーが左方向に動きます。

▶を押すと
バーが右方向に動きます。

設定値は－6～＋6まで変化します。

ヘッドホンバランス

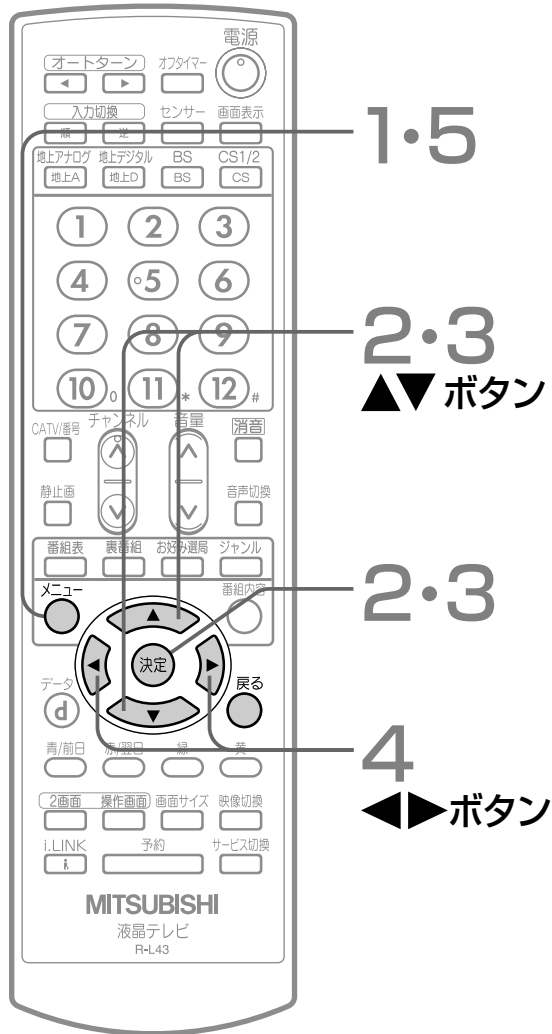
ヘッドホンバランス 0 − ＋

左の音が大きく

右の音が大きく

聞きやすい音声にする（ソフトトーン/クリアトーン/クッキリボイス/サラウンド/レベルサウンド）

CM（ステレオ）時の音量を自動的に下げる「ソフトトーン」や、高音を強調してニュース番組などを聞こえやすくする「クリアトーン」など、お好みに合わせて音声を設定できます。

例：「クッキリボイス」を設定したいとき

1 メニュー を押す

2 ▲▼で「音質設定」を選び、決定を押す

3 ▲▼で「クッキリボイス」を選び、決定を押す

4 ◀または▶を押して、▷オン◁を選ぶ

押すごとに　オン ⟷ オフ　と切換わります。

5 メニュー を押す

音声モード切換
音質調整
音質リセット
ヘッドホン調整
ソフトトーン
クリアトーン
クッキリボイス ▶
サラウンド
レベルサウンド

小さな声が
聞き取りやすくなり
大きな音をおさえます

▲▼で選択 戻るで戻る ▶決定で次へ メニューで終了

クッキリボイス ▷ オン ◁

◀▶で設定 戻るで戻る メニューで終了

CMの音をおさえる(ソフトトーン)

地上アナログ放送で番組本編がモノラル放送や二重音声(二ヵ国語)放送のときにステレオ放送のCMが始まると、CMの音が大きく聞こえることがあります。「ソフトトーン ▷オン◁」にすると、ステレオ放送の音量が約3dB小さくなります。深夜に二重音声(二ヵ国語)放送を見るときなど、便利に使えます。

「ソフトトーン ▷オン◁」にすると

CM(ステレオ放送)が始まったとき、
→自動的に音が小さくなります。

CMが終ると、
→もとの音量に戻ります。

- 番組本編がステレオ放送やデジタル放送のときは、CMが始まってもソフトトーンの効果は得られません。

通常の音で聞きにくいとき(クリアトーン)

「クリアトーン ▷オン◁」にすると、高音が強く設定されます。
アナウンサーや人の会話がより聞きやすくなります。

- 雑音が気になるときは、「クリアトーン ▷オフ◁」に設定してください。

声を聞こえやすくする(クッキリボイス)

「クッキリボイス ▷オン◁」にすると、大きな効果音をおさえ、聞きとりにくい小さな声を強調します。

- じっくり映画を見たいときなどに最適です。

音声の臨場感を再現する(サラウンド)

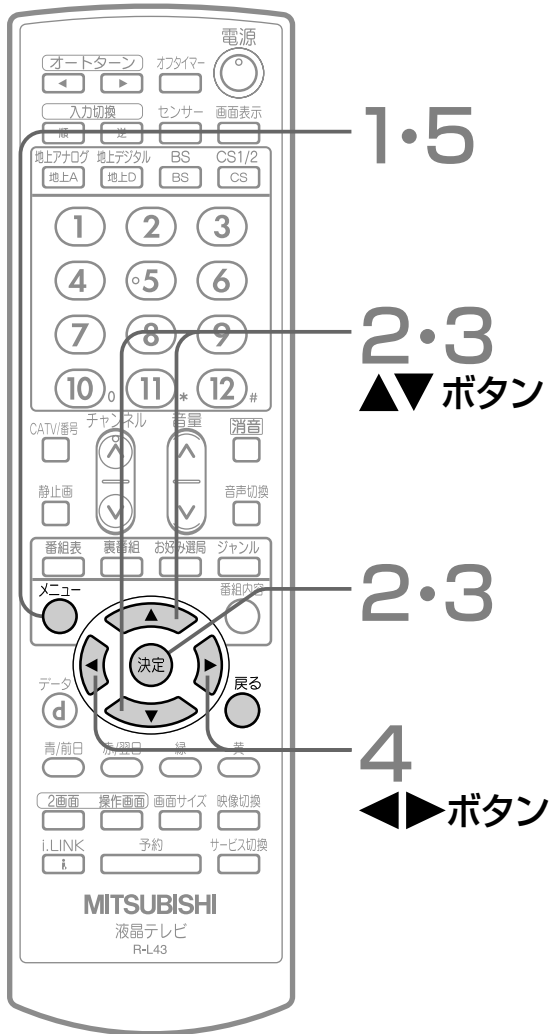
「サラウンド ▷オン◁」にすると、音声の奥行き感や拡がり感が強調されます。
音楽番組などに適しています。

- 番組(モノラル放送など)によっては、サラウンド効果があまり効かない場合があります。

音量レベルをそろえる(レベルサウンド)

「レベルサウンド ▷オン◁」にすると、チャンネルや入力を切換えたときに音が大きくなりすぎないように音量をおさえます。

画面設定をする

映像が画面の中央からずれているときは、「垂直位置調整」で映像をお好みの位置にして見ることができます。
画面の左右が切れたり黒い帯が出たりするときは、「水平幅設定」を切換えてください。
「ID-1判定」では、画面サイズ情報(ID-1)があるビデオなどの画面サイズを自動で切換えられるようにできます。

お知らせ

- 「垂直位置調整」は、画面サイズごとに調整することができます。
- 画面サイズについては P.26~27 をご覧ください。

垂直位置を調整する

1 メニュー を押す

2 ▲▼で「画面設定」を選び、決定 を押す

画質設定 音質設定 画面設定 ▶ 機能設定 初期設定 ＰＣ設定 デジタル設定	垂直位置調整 水平幅設定 ＩＤ－１判定

▲▼で選択　戻るで戻る　▶決定で次へ　メニューで終了

3 ▲▼で「垂直位置調整」を選び、決定 を押す

垂直位置調整 ▶ 水平幅設定 ＩＤ－１判定	画面の垂直位置を 調整します

▲▼で選択　戻るで戻る　▶決定で次へ　メニューで終了

4 ◀ ▶で設定を変える

設定値は－5～+5まで変化します。

<シネマ>
垂直位置調整　－5　－　＋
◀▶で設定　戻るで戻る　メニューで終了

◀ を押すと、映像が下に移動します

<シネマ>
垂直位置調整　＋5　－　＋
◀▶で設定　戻るで戻る　メニューで終了

▶ を押すと、映像が上に移動します

5 メニュー を押す

水平幅の設定を切換える

1 メニュー を押す

2 ▲▼で「画面設定」を選び、決定を押す

画質設定 音質設定 画面設定 ▶ 機能設定 初期設定 ＰＣ設定 デジタル設定	垂直位置調整 水平幅設定 ＩＤ－１判定

▲▼で選択　戻るで戻る　▶決定で次へ　メニューで終了

3 ▲▼で「水平幅設定」を選び、決定を押す

垂直位置調整 水平幅設定 ▶ ＩＤ－１判定	ノーマル、 ダイナミックの 水平幅を切り換えます

▲▼で選択　戻るで戻る　▶決定で次へ　メニューで終了

4 ◀ ▶で設定を変える

押すごとに次のように切換わります。

画面左右の幅が少し広くなります。

5 メニュー を押す

お知らせ　ハイビジョン(1125i、750p)の映像では、はたらきません。

ビデオ入力の画面サイズを自動で切換える

1 メニュー を押す

2 ▲▼で「画面設定」を選び、決定を押す

3 ▲▼で「ID-1判定」を選び、決定を押す

4 ◀または▶を押して、▷オン◁を選ぶ

押すごとに　オン ⟷ オフ　と切換わります。

ＩＤ－１判定　▷　オン　◁

◀▶で設定　戻るで戻る　メニューで終了

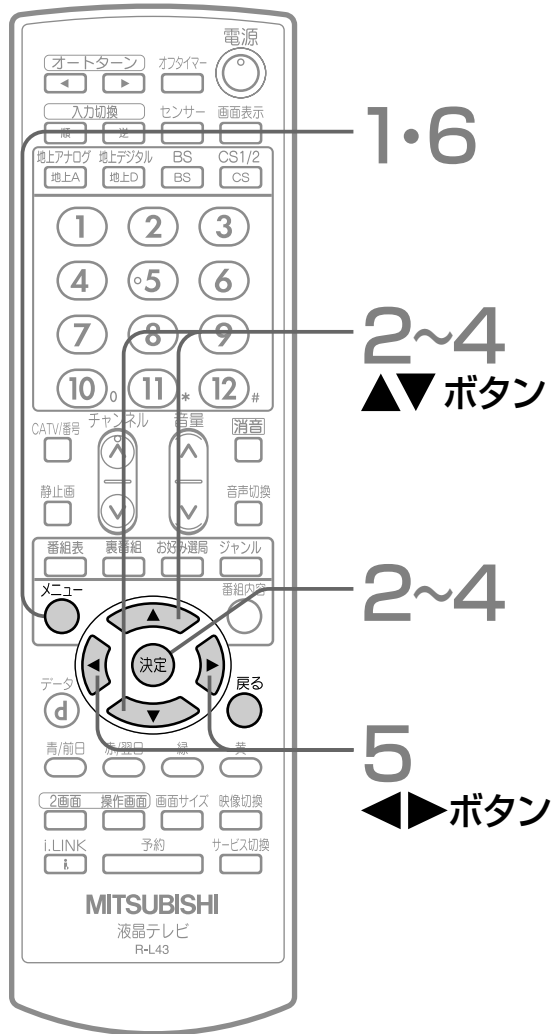
ID-1信号があるDVDなどをビデオ1、ビデオ2、前面入力の映像で接続したときに、画面サイズが自動で切換わります。

5 メニュー を押す

お知らせ

- D端子接続の映像では、はたらきません。
- 次のようなときは、▷オフ◁に設定してください。
  - ・DVDやデジタル放送を録画したビデオテープで正常に動作しないとき
  - ・ビデオのスチルや早送り、巻戻しをするときに、画面サイズが変化するのが気になるとき

節電する

いろいろな節約の設定ができます。

節電機能について

● **電力量節約**
画面の明るさをおさえ、消費電力を節約します。

● **無操作節電**
テレビの消し忘れを防ぎます。約3時間テレビを操作しなかった場合、自動的に電源が切れます。

● **無信号節電**
テレビの消し忘れを防ぎます。地上アナログの放送終了後など、映像信号がなくなった状態で約10分経つと、自動的に電源が切れます。デジタル放送のときは、はたらきません。

電力量を節約するとき

無操作節電するとき

1 メニュー ◯ を押す

2 ▲▼で「機能設定」を選び、決定 を押す

3 ▲▼で「節約設定」を選び、決定 を押す

節約設定
チャイルドロック
オートターン設定
電力量節約
無操作節電
無信号節電
▲▼で選択 戻るで戻る ▶決定で次へ メニューで終了

4 ▲▼で「無操作節電」を選び、決定 を押す

5 ◀または▶を押して、▷オン◁を選ぶ

押すごとに　オン ⟷ オフ　と切換わります。

無操作節電　▷ オン ◁

◀▶で設定 戻るで戻る メニューで終了

6 メニュー ◯ を押す

■ 電源が切れる1分前から

「無操作節電　1分」と白色で表示されます。引き続き見るときは、音量を変えるなどリモコン操作をしてください。

無信号節電するとき

1 メニュー ◯ を押す

2 ▲▼で「機能設定」を選び、決定 を押す

3 ▲▼で「節約設定」を選び、決定 を押す

4 ▲▼で「無信号節電」を選び、決定 を押す

5 ◀または▶を押して、▷オン◁を選ぶ

押すごとに　オン ⟷ オフ　と切換わります。

無信号節電　▷ オン ◁

◀▶で設定 戻るで戻る メニューで終了

6 メニュー ◯ を押す

■ 電源が切れる1分前から

「無信号節電　1分」と赤色で表示されます。

お知らせ

2画面の組合わせによっては、電源が切れない場合があります。
ビデオがブルーバックのときやデジタル放送時は、はたらきません。

いたずら防止のための設定をする（チャイルドロック/オートターン設定）

本体前面のボタン操作を無効にしたり（チャイルドロック）、リモコンでテレビの向きを変える機能（オートターン）を無効にするための設定ができます。小さなお子様のいたずらを防げます。
本体前面ボタンについては P.19 、オートターンについては P.33 をご覧ください。

本体前面ボタンを無効にする

1 メニュー を押す

2 ▲▼で「機能設定」を選び、決定 を押す

3 ▲▼で「チャイルドロック」を選び、決定 を押す

4 ◀または▶を押して、▷オン◁を選ぶ

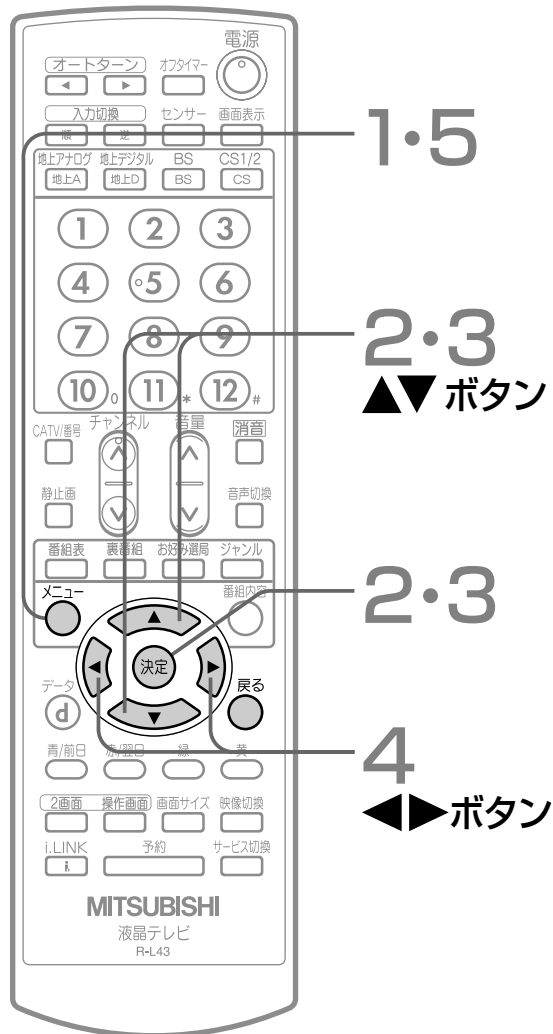
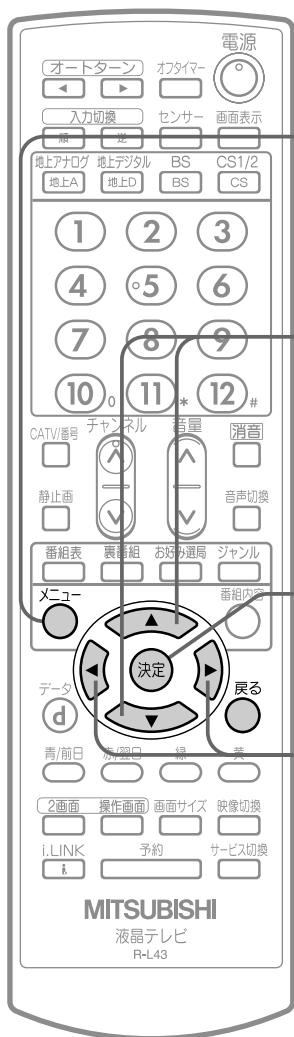
押すごとに　オン ⟷ オフ　と切換わります。

5 メニュー を押す

■ 設定を解除したいときは

次のどちらかの操作を行なってください。

- 手順1～3を行ない、手順4で▷オフ◁を選ぶ。
- 本体前面の入力切換ボタンを「チャイルドロック　オフ」と表示されるまで（約7秒間）押しつづける。

オートターンを無効にする

1 メニュー を押す

2 ▲▼ で「機能設定」を選び、決定 を押す

画質設定	節約設定
音質設定	チャイルドロック
画面設定	オートターン設定
機能設定 ▶	
初期設定	
ＰＣ設定	
デジタル設定	

▲▼で選択 戻るで戻る ▶決定で次へ メニューで終了

3 ▲▼ で「オートターン設定」を選び、決定 を押す

節約設定	
チャイルドロック	リモコンでテレビが
オートターン設定 ▶	回るようにします

▲▼で選択 戻るで戻る ▶決定で次へ メニューで終了

4 ◀ または ▶ を押して、▷オフ◁を選ぶ

押すごとに　オン ⟷ オフ　と切換わります。

オートターン　▷ オン ◁

◀▶で設定 戻るで戻る メニューで終了

5 メニュー を押す

B-CASカードを入れる

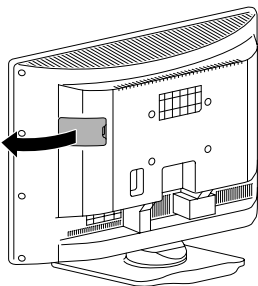
本機には、B-CASカードを付属しています。B-CASカードはデジタル放送を見るために必要です。
2004年4月より、番組の著作権保護のため、B-CASカードを本機に挿入しないとデジタル放送を見ることができません。

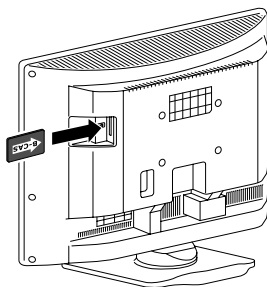
B-CASカードの入れかた

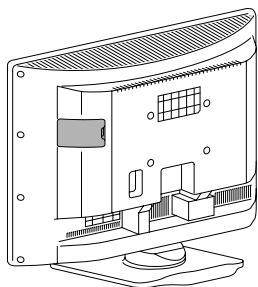
1 本体の主電源を「切」にする

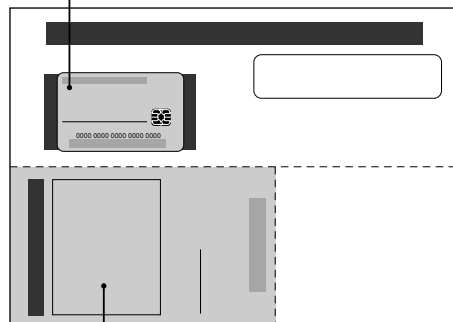
B-CASカードの抜き差しは、必ず電源を切った状態で行ってください。

2 カバーを開ける

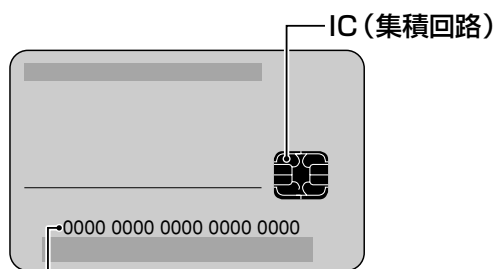
B-CASカード挿入口は、本体後面のカバーの中にあります。

3 B-CASカードを入れる

B-CASカードの絵柄表示面を確認して挿入口方向に合わせ、ゆっくりと押し込んでください。

挿入方向は、挿入口横の表示を参考にしてください。本体後面から見てB-CASカードの矢印の絵柄が見えるようにして、カード絵柄の矢印の方向です。

4 カバーを閉じる

5 B-CASカード用ユーザー登録はがきに必要事項を記入し、投函する

インターネットでも登録できます。

お願い！

- 本機専用のB-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因になります。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。
  挿入方向を間違うとB-CASカードは機能しません。
- 異物が入らないように、また、ご使用中にB-CASカードが抜けないように、B-CASカード挿入後は、必ずカバーを閉じてください。

B-CASカードについて

B-CASカード取扱い上の留意点

- 折り曲げたり、変形させたりしないでください。
- 重いものをのせたり、踏みつけたりしないでください。
- IC（集積回路）部には、手を触れないでください。
- 分解・加工をしないでください。
- 使用中はB-CASカードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

B-CASカードを抜くとき

- 万一B-CASカードを抜く必要があるときは、本機の主電源を「切」にしたあと、ゆっくりと抜いてください。
- B-CASカードにはIC（集積回路）が組込まれているため、画面にB-CASカードに関するメッセージが表示されたとき以外は、抜き差しをしないでください。

地上デジタル放送を見る

初めて見るための接続と設定について

地上デジタル放送を見るためには、次の条件が必要です。

- お住まいの地域で地上デジタル放送が開始されている
- アンテナが正しく接続されている
- 正しくチャンネル自動設定されている

以下の手順に従って、接続と設定を行ってください。

1 地上波アンテナをつなぐ くわしくは、P.56 をご覧ください。

2 電源コードをつなぐ

3 電源を入れる

4 リモコンの地上デジタルボタンを押す

お買上げ後、初めて地上デジタル放送を選ぶと、右のメッセージが表示されます。

メニューボタンを押して「デジタル設定」を選ぶと「チャンネル自動設定」にカーソルがある状態で表示されます。

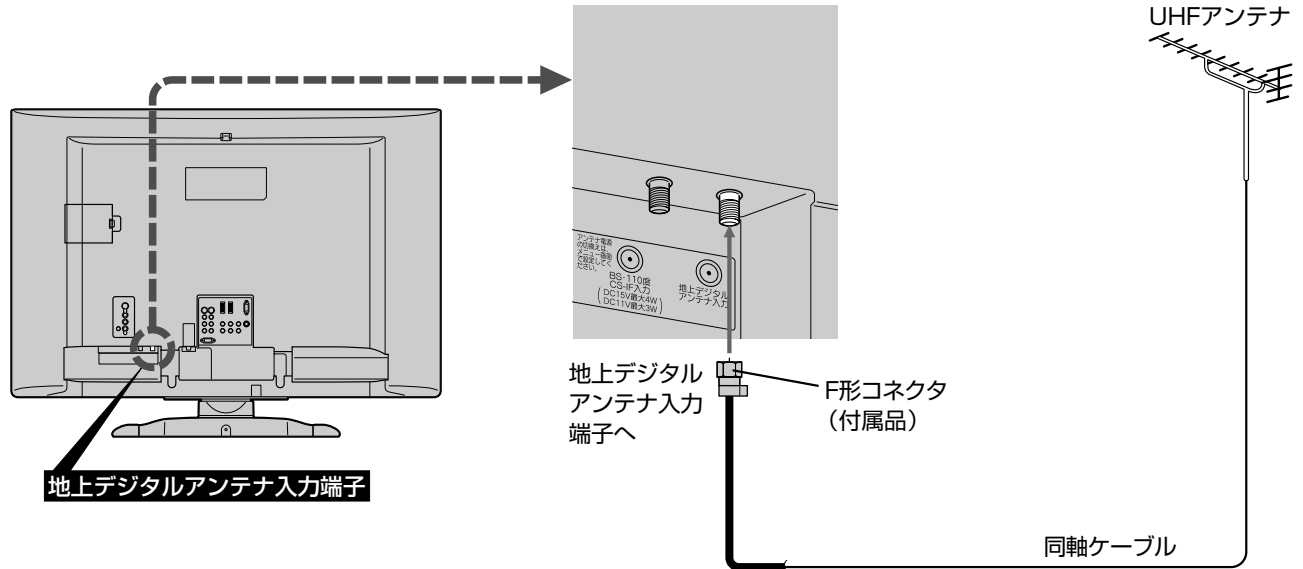
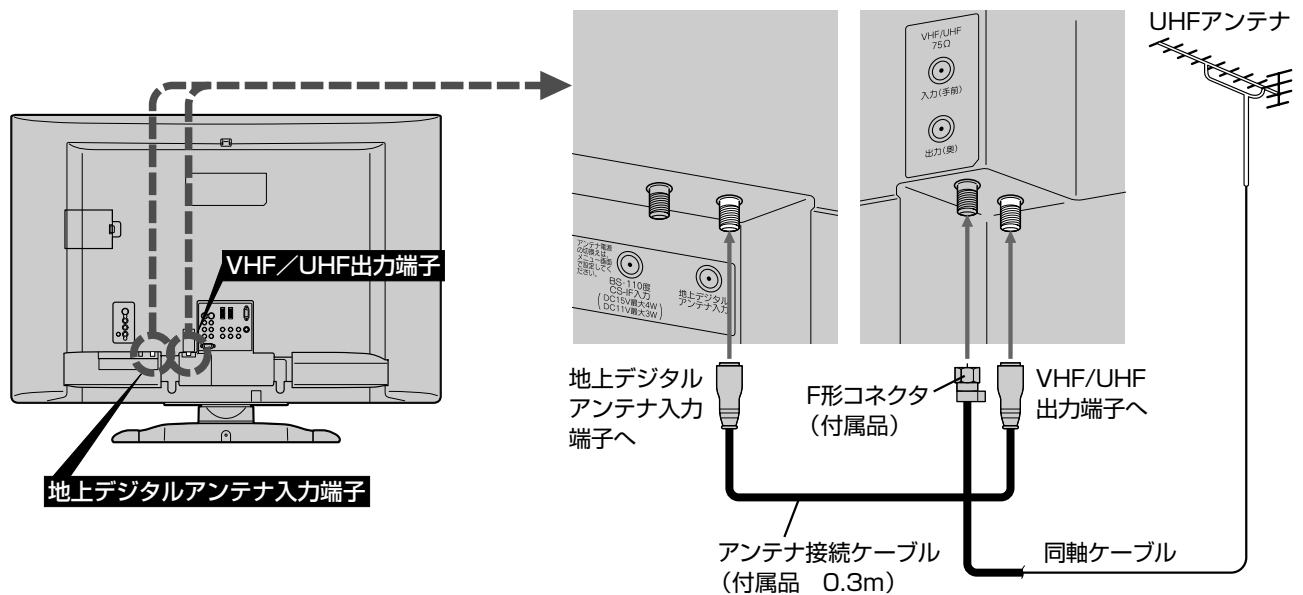
> 地上デジタル放送を受信するためにはチャンネルスキャンを行う必要があります
> メニューよりチャンネル自動設定を行なってください

5 チャンネル自動設定を行う くわしくは、P.58 をご覧ください。

6 受信できるチャンネルが一つもなかった場合は、
アンテナの受信レベルを確認する くわしくは、P.62 をご覧ください。

7 地上波アンテナのつなぎかた

CATVで地上デジタル放送をご覧になる場合にも、CATVアンテナ線を下図と同じようにつないでください。

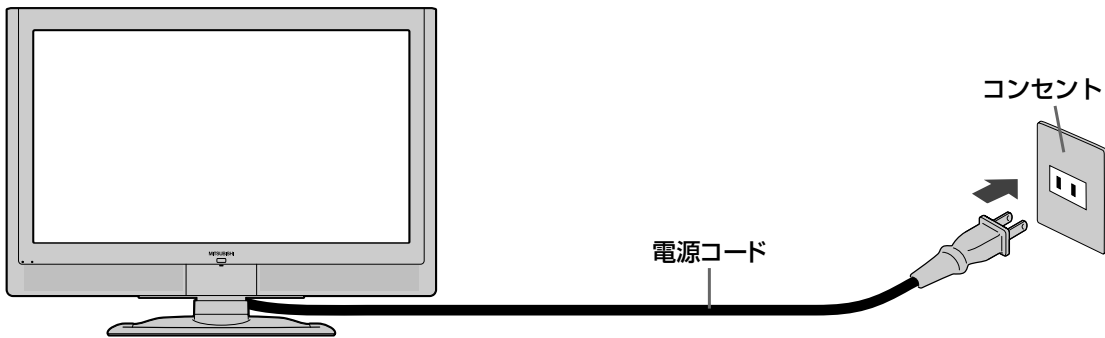
デジタル放送だけを視聴する場合

地上アナログ放送も視聴する場合

地上デジタル放送と地上アナログ放送のアンテナが別の場合は、それぞれのアンテナ入力端子に接続してください。

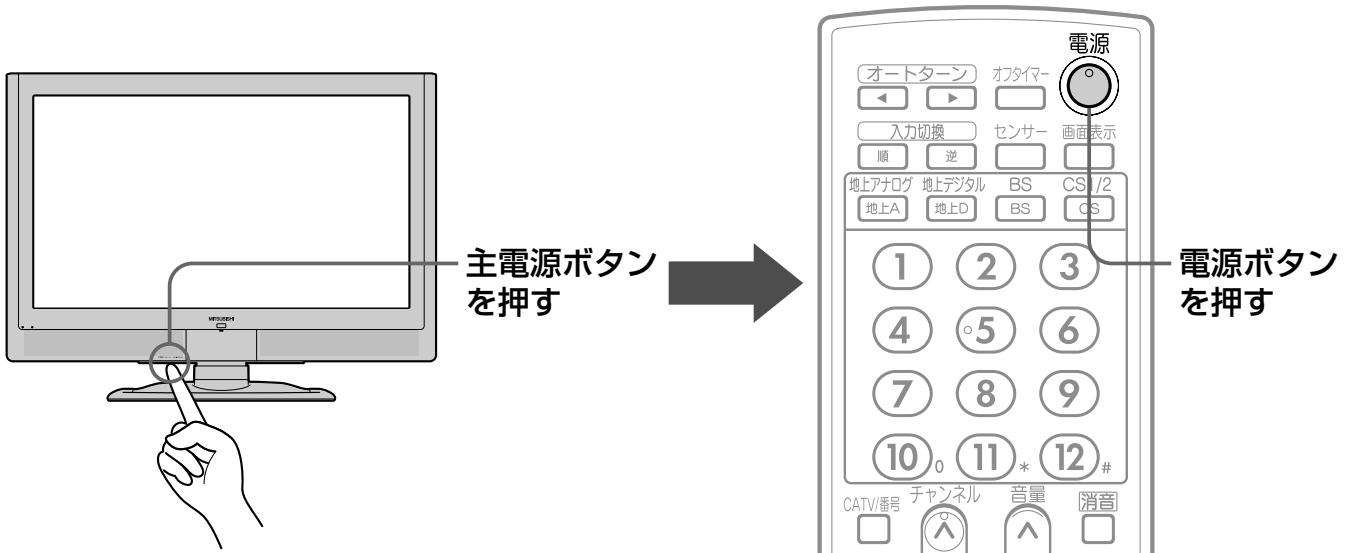
映像にしまが出たり、縦線状の妨害が出るとき

本機のようなプログレッシブ表示に対応したテレビ受像機は、デジタル回路を多く内蔵しています。このためアンテナ接続部のシールドをより強化して、デジタル処理回路からアンテナ線に飛び込むノイズを抑え込むことが、よりきれいな映像でご覧いただくためのコツです。

お願い

- アンテナ線の接続には、付属のアンテナ接続ケーブルか、同軸ケーブルにF形コネクタを取付けたものを使用してください。
- 平行フィーダ線やF形以外の同軸ケーブル用コネクタは、内部のデジタル回路やパソコン、他のAV機器などからの妨害を受けやすくなりますので使用しないでください。

2 電源コードをつなぐ

電源プラグは容易に手が届く場所のコンセントに差し込んでください。

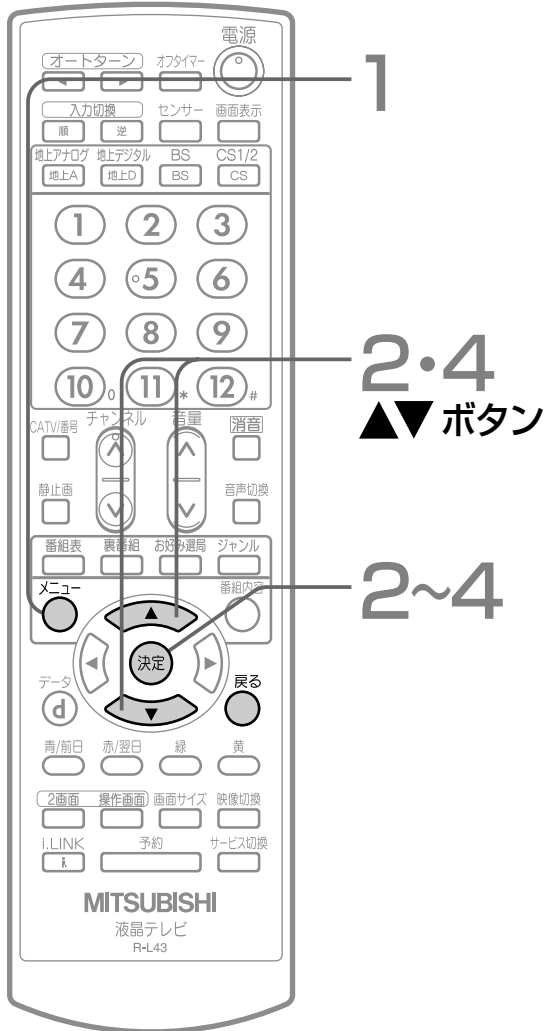
3 電源を入れる

4 リモコンの「地上デジタル」ボタンを押す

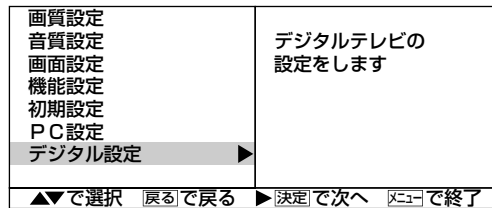
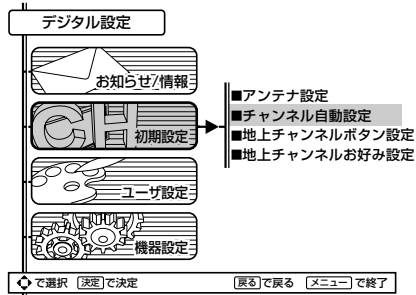
お買い上げ後、初めて地上デジタル放送を選ぶと、以下のメッセージが表示されます。

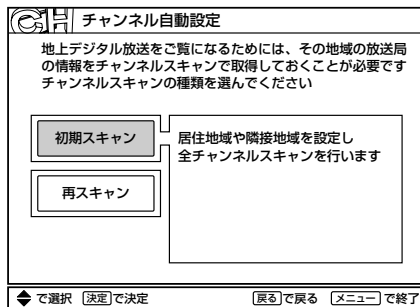
⚠	地上デジタル放送を受信するためにはチャンネルスキャンを行う必要があります メニューよりチャンネル自動設定を行なってください

次ページ以降の手順に従って、「チャンネル自動設定」を行なってください。

5 地上デジタル放送のチャンネル自動設定のしかた

地上デジタル放送を見るためには、チャンネル自動設定が必要です。
B-CASカードを入れて、お買上げ後初めて地上デジタル放送を選択すると、前ページのメッセージが表示されます。
デジタル設定メニュー画面を選択すると、「チャンネル自動設定」にカーソルがある状態で表示されます。
以下の手順に従って、チャンネル自動設定を行ってください。

1 メニュー を押す

2 ▲▼で「デジタル設定」を選び、決定を押す

3 カーソルが「チャンネル自動設定」にある状態で、決定を押す

まだ一度もチャンネル設定をしていない場合は、自動的に「チャンネル自動設定」が選ばれています。

4 ▲▼で「初期スキャン」を選び、決定を押す

再度、初期スキャンを行うと、「居住地域や隣接地域を変更し、再度全チャンネルスキャンを行います　現在のチャンネル設定情報がすべて失われますので、購入時や居住地域変更の場合にのみご使用ください」と表示します。

次ページへつづく

5 ▲▼で「居住地域設定」を選び、(決定)を押す

チャンネル自動設定　設定手順 1▸2▸3▸4

居住地域設定でお住まいの地域を設定してください
隣接地域が自動的に設定されますが、追加、削除を
行うこともできます　現在の設定のままでよければ
「確定」で決定ボタンを押して次に進んでください

居住地域設定
隣接地域設定
確定

◆で選択　決定で決定　戻るで戻る　メニューで終了

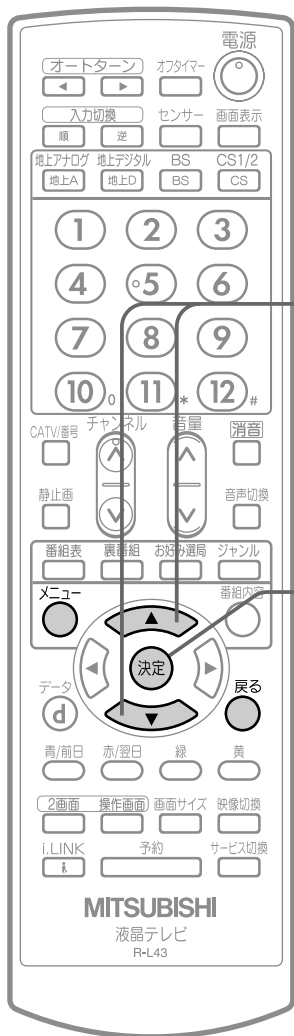
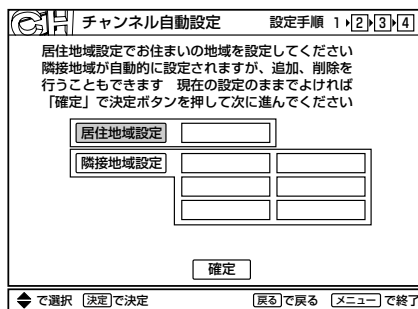
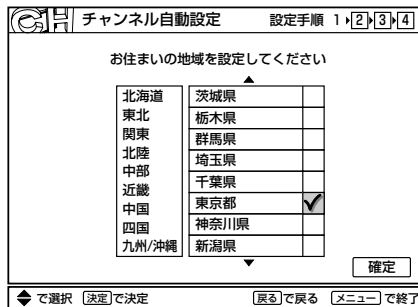
6 ▲▼でお住まいの地域を選び、(決定)を押す

チャンネル自動設定　設定手順 1▸2▸3▸4

お住まいの地域を設定してください

北海道	茨城県
東北	栃木県
関東	群馬県
北陸	埼玉県
中部	千葉県
近畿	東京都 ✓
中国	神奈川県
四国	新潟県
九州/沖縄	

確定

◆で選択　決定で決定　戻るで戻る　メニューで終了

「居住地域」を設定すると、自動的に「隣接地域」が選ばれます。

7 「確定」が選ばれていることを確認し、(決定)を押す

隣接地域を変更する場合

変更しない場合は、手順8～10は必要ありません。手順11に進んでください。

8 ▲▼で「隣接地域設定」を選び、(決定)を押す

次ページへつづく

9 ▲▼で隣接地域を選び、決定を押す

設定できる地域は、最大6地域までです。

■ 設定されている地域を削除したいときは

▲▼で削除したい地域を選び、決定を押す

10 ▶で「確定」を選び、決定を押す

11 ▲▼で「確定」を選び、決定を押す

12 「手順2へ」が選ばれていることを確認し、決定を押す

チャンネル自動設定 設定手順 1 2 3 4

受信可能なチャンネルをスキャンしています

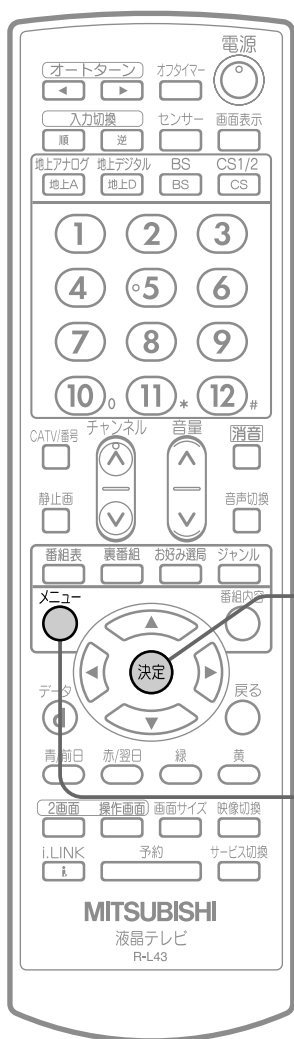
22%

周波数帯	UHF 14
受信レベル	29
放送局名	○○○テレビ

中止

決定で決定

- 設定中に決定を押すと、設定を中断できます。
- 設定が終わったら画面の「中止」が「手順3へ」に変わります。

次ページへつづく

13 「チャンネルスキャンが完了しました」と表示されたら、(決定)を押す

チャンネル自動設定　設定手順 1 ▸ 2 ▸ 3 ▸ 4

チャンネルスキャンが完了しました

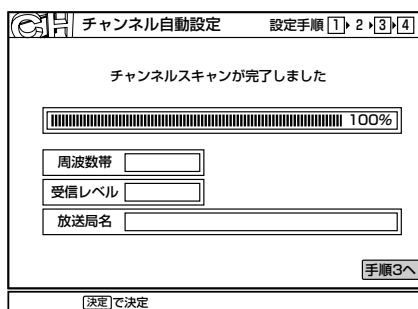
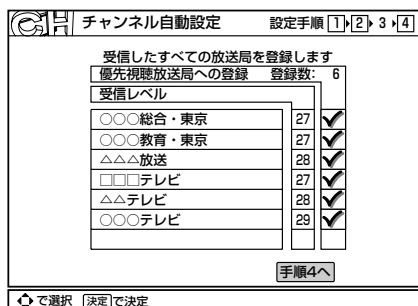
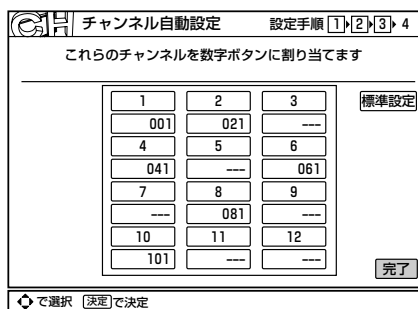
100%

周波数帯

受信レベル

放送局名

手順3へ

決定で決定

14 表示内容でよければ、(決定)を押す

15 「完了」が選ばれていることを確認し、(決定)を押す

16 (メニュー)を押す

お知らせ

受信できる地上デジタル放送のチャンネルがひとつもない場合は、

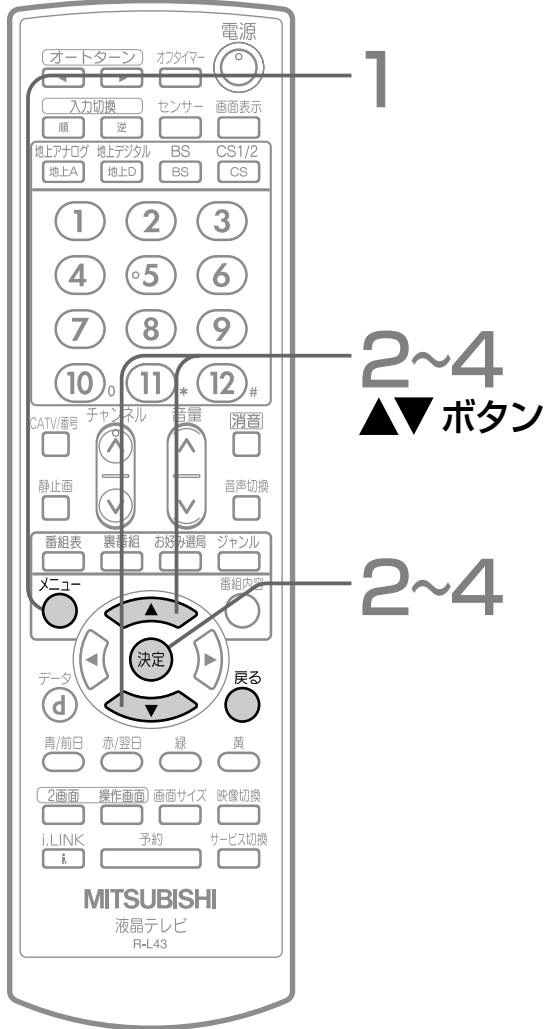
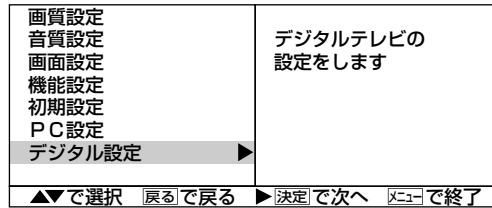
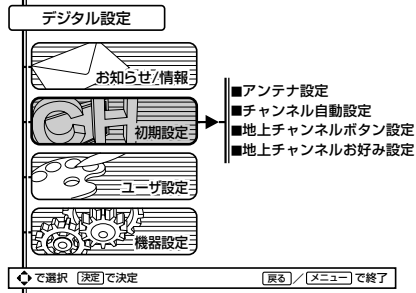
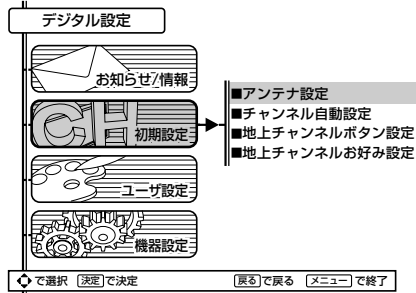
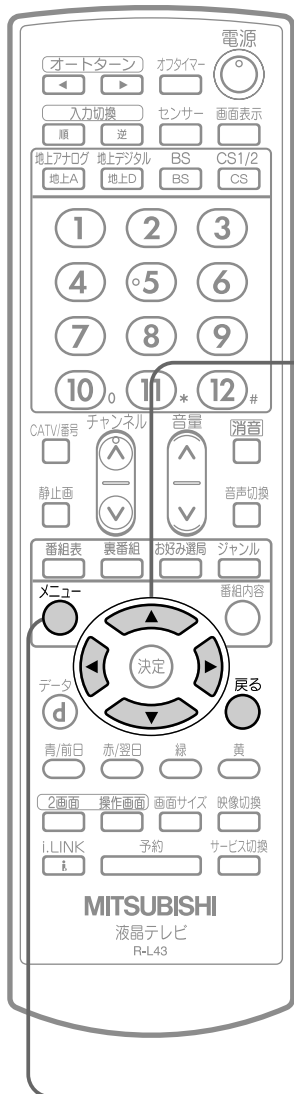
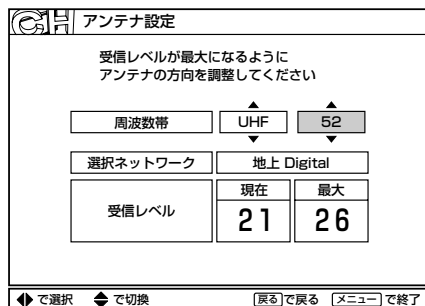
- アンテナが正しく接続されていない
- お住まいの地域で地上デジタル放送が開始されていない
- 受信レベルが小さい

の可能性があります。

アンテナの接続またはお住まいの地域の地上デジタル放送の開始時期をご確認ください。

6 アンテナレベルの確認のしかた

アンテナ設定の画面で、▲▼ボタンでチャンネルを変えながらチャンネルごとの受信レベルを見ることができます。

準備 地上デジタル(地上D)を押して、地上デジタル放送を選ぶ

次ページへつづく

5 受信レベルを確認する

周波数帯

◀または▶を押すごとに選択エリアが
周波数帯（左） ⟷ 物理チャンネル（右）
と切換わります。

- 周波数帯選択エリア（左）
  ▲または▼を押すごとに
  UHF ⟷ CATV ⟷ VHF
  と切換わります。
- 物理チャンネル選択エリア（右）
  ▲または▼を押すごとに選局するチャンネルが切換わります。

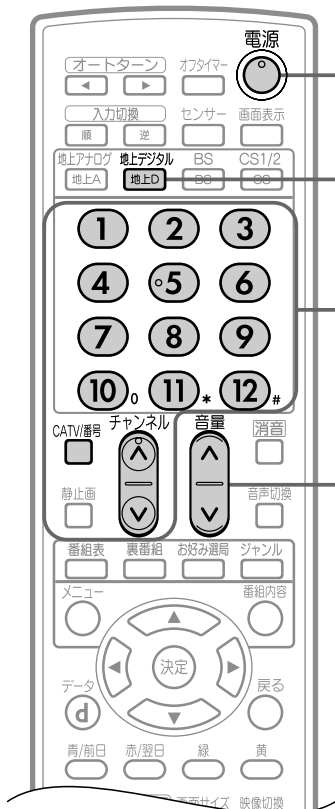
受信レベル

- 現在（左）
  この値が「最大」の値に近づくように、アンテナを動かします。
- 最大（右）
  受信レベルモードにしてから入ってきた電波の中で最大の入力レベル。
  最大値が入力されるよう、アンテナを動かしてください。

6 メニュー を押す

お知らせ

受信レベルの数値は、アンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。
表示される数値は、受信C/N（受信信号電力対雑音電力比）の換算値を表します。

ふだんの見かた

準備　本体の主電源を入れる

電源インジケーター	赤または橙に点灯➡1へ
	緑に点灯➡2へ

1 電源を入れる

- 電源インジケーターが赤または橙から緑に変わります。（主電源が入っているときに使えます。）

2 地上デジタル放送を選ぶ

地上デジタル 地上D

3 チャンネルを選ぶ

- あらかじめチャンネル自動設定が必要です。 P.58～61
- チャンネルボタンに設定する放送チャンネルは、チャンネルボタン設定により変えることができます。 P.110

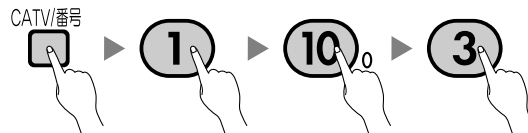
リモコンのボタンに設定されているチャンネルを選ぶ場合

チャンネルボタンを押す

3桁のチャンネル番号を入力して選ぶ場合

CATV/番号ボタンを押したあと、
チャンネルボタンを押す

5秒以内に次の番号を押して、3桁入力してください。

例：103チャンネルを選ぶとき

チャンネルを順送り/逆送りで選ぶ場合

チャンネル∧∨ボタンを押す

- 視聴しないチャンネルや同内容のチャンネルを飛び越し（スキップ）できます。 P.112

4 音量を調節する

- 音量は0から最大60まで変化します。
- 待機状態のときでも、音量を小さくすることができます。

お知らせ

視聴年齢制限の対象番組を選んだときは、暗証番号入力画面が表示されます。 P.119

お願い！

携帯電話や無線機などをご使用になるときはテレビや接続機器に近づけないでください。
音声に異音が入ったり、テレビにノイズが出たりする場合があります。
異音が出たり、テレビにノイズが出たりした場合には、携帯電話などを離してご使用ください。

BS・110度CSデジタル放送を見る

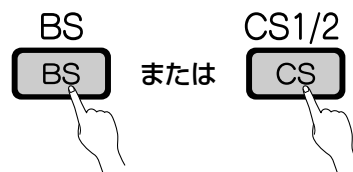
初めて見るための接続と設定について

BS・110度CSデジタル放送を見るために、以下の手順に従って、接続と設定を行ってください。

1 BS・110度CSアンテナをつなぐ くわしくは、P.66 をご覧ください。

2 電源コードをつなぐ

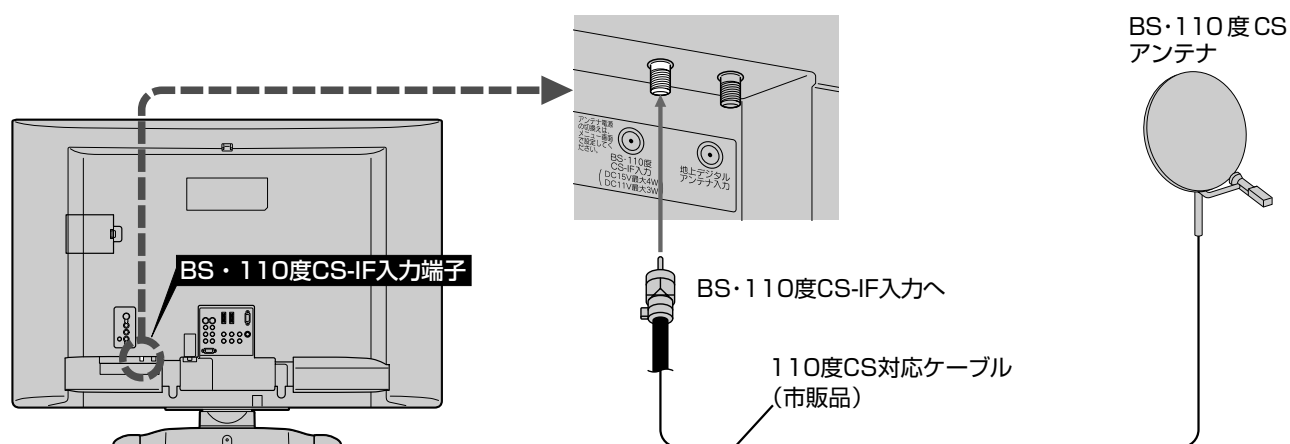
3 電源を入れる

4 リモコンのBSボタンまたはCS1/2ボタンを押す

5 アンテナ設定で、必要に応じて、
アンテナ電源を「供給する」に設定し、
アンテナの受信レベルを確認する くわしくは、P.68 をご覧ください。

7 BS・110度CSアンテナのつなぎかた

- **BS・110度CSアンテナの設置には、技術と経験が必要です。**
  BS・110度CSアンテナをお買上げの販売店にご相談ください。
  設置のしかたについては、BS・110度CSアンテナの取扱説明書をご覧ください。
- **BS・110度CSアンテナが正しい方向や角度でないと、衛星放送は見られません。**
  BS・110度CSアンテナの取扱説明書をよく読んで、方向・角度を調整してください。
- **BS・110度CSアンテナをつなぐときは、テレビの主電源を切ってください。**

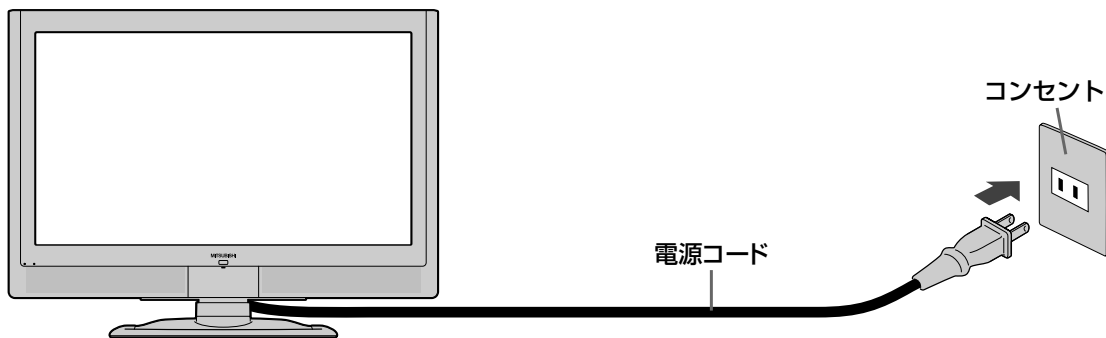
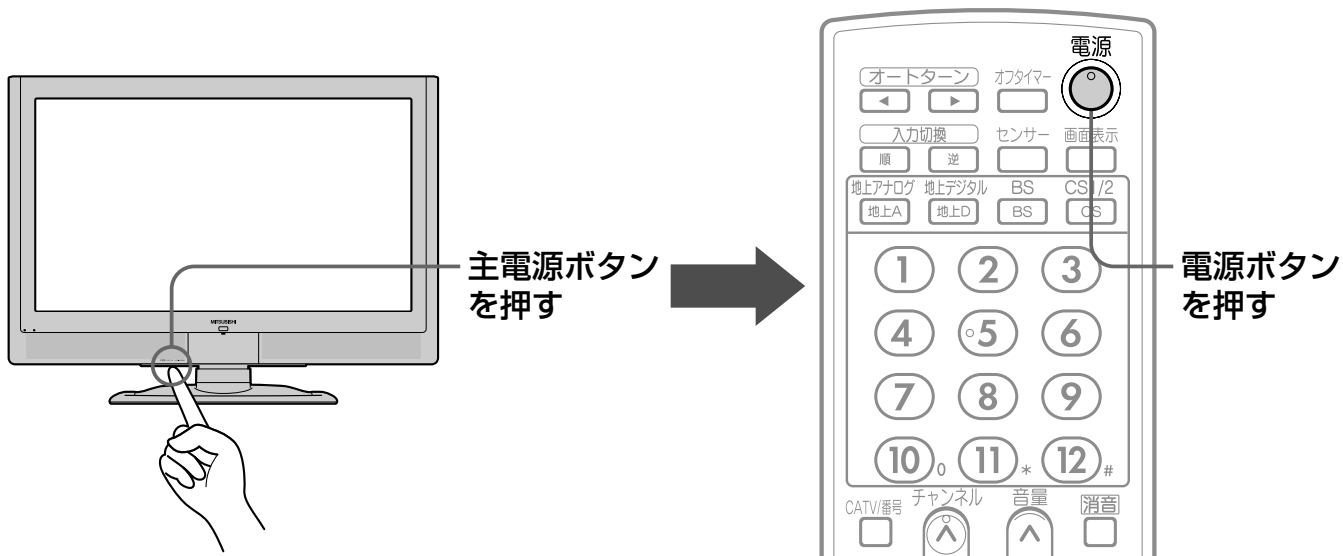
お知らせ

アンテナ線がショートしている状態でアンテナ電源を「供給する」に設定すると、保護回路がはたらき、自動的に「供給しない」に切換わります。アンテナ線の買換え、修理については、販売店にご相談ください。

■BS・110度CSアンテナにこのテレビを直接つなぐ場合

接続後は、アンテナ電源の供給方法を「供給する」に設定してください。 P.68

■マンションなどで共同受信する場合

アンテナ電源の供給方法は「供給しない」のままご使用ください。 P.68

2 電源コードをつなぐ

電源プラグは容易に手が届く場所のコンセントに差し込んでください。

3 電源を入れる

4 リモコンの「BS」または「CS1/2」ボタンを押す

CS1とCS2は、CS1/2ボタンを押すごとに切換わります。

5 アンテナ電源の設定とアンテナレベルの確認のしかた

準備 BS（CS1/2 CS）を押して、BS（110度CS）デジタル放送を選ぶ

次ページへつづく

5 ▲ または ▼ で設定を選ぶ

「供給しない」…… 他の機器からBS・110度CSアンテナへの電源供給をしている場合や、マンションなどで共同受信している場合に選びます。BS・110度CSアンテナへの電源は、本機から供給しません。

「供給する」……… BS・110度CSアンテナにこのテレビを直接つないでいる場合に選びます。BS・110度CSアンテナへの電源は、本機から供給します。

6 受信レベルを確認する

最大

受信レベルモードにしてから入ってきた電波の中で最大の入力レベル。受信レベルが26以上になると、表示が緑色に変わります。これを目安にしてアンテナの方向を決めます。
最大値が入力されるよう、アンテナを動かしてください。

現在

この値が「最大」の値に近づくように、アンテナを動かします。

7 メニュー を押す

お知らせ

- アンテナ電源の設定を「供給する」にした場合にも、電源スタンバイ中（電源インジケーターが赤色に点灯中）には、本機からアンテナ電源を供給しません。
- 受信レベルは、天候などの影響を受け、数値は上下することがあります。
- 受信レベルの数値は、アンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は、受信C/N（受信信号電力対雑音電力比）の換算値を表します。
- アンテナ線がショートすると、アンテナ電源を「供給する」に設定しても自動的に「供給しない」に切換わり、アンテナ電源を「供給する」に設定できなくなります。
  主電源を切って、アンテナ線を確認してください。
  一旦主電源を切ると、アンテナ電源の設定を行うことができます。

ふだんの見かた

準備　本体の主電源を入れる

電源インジケーター	赤または橙に点灯➡1へ
	緑に点灯➡2へ

1 電源を入れる

●電源インジケーターが赤または橙から緑に変わります。
（主電源が入っているときに使えます。）

2 BSまたは110度CSデジタル放送を選ぶ

3 チャンネルを選ぶ

リモコンのボタンに設定されているチャンネルを

チャンネルボタンを押す

●工場出荷時に設定されているチャンネルについては、P.71 をご覧ください。

3桁のチャンネル番号を入力して選ぶ場合

CATV/番号ボタンを押したあと、
チャンネルボタンを押す

5秒以内に次の番号を押して、3桁入力してください。

チャンネルを順送り/逆送りで選ぶ場合

チャンネル∧∨ボタンを押す

●視聴しないチャンネルや同内容のチャンネルを飛び越し（スキップ）できます。P.112

4 音量を調節する

●音量は0から最大60まで変化します。
●待機状態のときでも、音量を小さくすることができます。

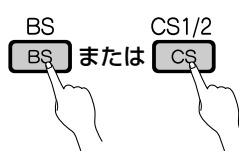
お知らせ

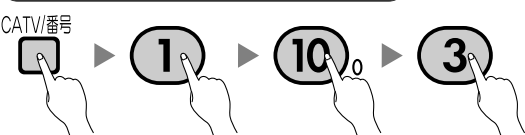
●ペイ・パー・ビューなどの有料番組や追加料金が必要な番組を選んだときは、番組購入画面が表示されます。P.74
●視聴年齢制限の対象番組を選んだときは、暗証番号入力画面が表示されます。P.119

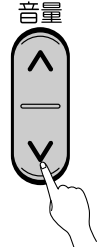
お願い！

携帯電話や無線機などをご使用になるときはテレビや接続機器に近づけないでください。
音声に異音が入ったり、テレビにノイズが出たりする場合があります。
異音が出たり、テレビにノイズが出たりした場合には、携帯電話などを離してご使用ください。

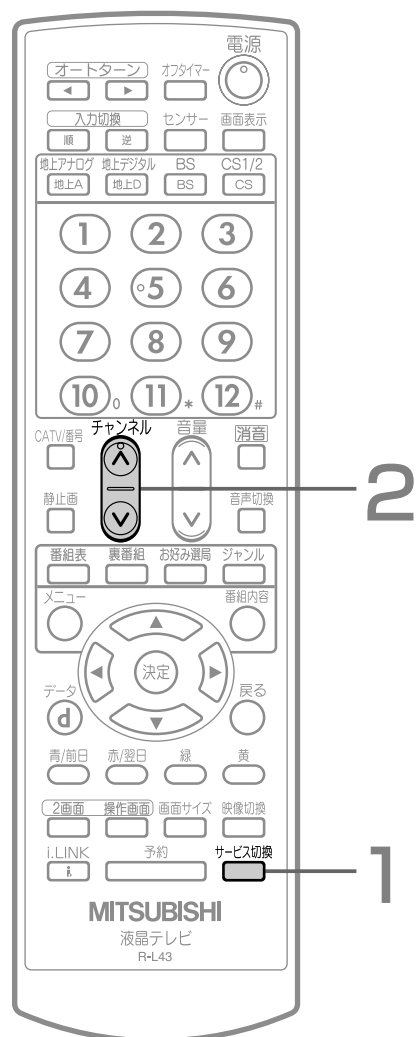
工場出荷時に設定されているチャンネル
(2005年5月現在)

BSデジタル放送　標準設定		
①	101	NHK BS1
②	102	NHK BS2
③	103	NHK h
④	141	BS日テレ
⑤	151	BS朝日 1
⑥	161	BS-i テレビ⑥
⑦	171	BSジャパン
⑧	181	BSフジ・181
⑨	191	WOWOW
⑩0	200	スター・チャンネル
⑪*	–––	
⑫#	–––	

CS1(110度デジタル放送)　標準設定		
①	001	スカパー110メイト
②	990	生活スタイルTV
③	025	BBC JAPAN
④	–––	
⑤	055	ep055チャンネル
⑥	–––	
⑦	–––	
⑧	080	シネマ080
⑨	091	Act On TV
⑩0	–––	
⑪*	–––	
⑫#	–––	

CS2(110度デジタル放送)　標準設定		
①	100	スカパー110プロモ
②	110	ワンテンポータル
③	123	CS映画
④	–––	
⑤	250	アクティブ！スポーツ
⑥	160	C-TBSウェルカム
⑦	–––	
⑧	182	フジテレビ739
⑨	194	AQステーション
⑩0	190	宝塚プロモチャンネル
⑪*	235	グルメ旅★Foodi
⑫#	–––	

選ぶ場合

例：103チャンネルを選ぶとき

「0」を入力するときは、⑩0を押します。

ラジオ放送を聞く

デジタル放送には、テレビ放送、ラジオ放送、データ放送の分類があります。
ラジオ放送には、番組によってはCD並みの高音質を楽しむことができます。

1 デジタル放送を見ているときに サービス切換 を押して、「ラジオ」を選ぶ

押すごとに、サービスの種類が テレビ → ラジオ → 独立データ → の順に切換わります。

地上デジタル放送には、ラジオ放送はありません。

2 チャンネル ∧∨ を押して、チャンネルを選ぶ

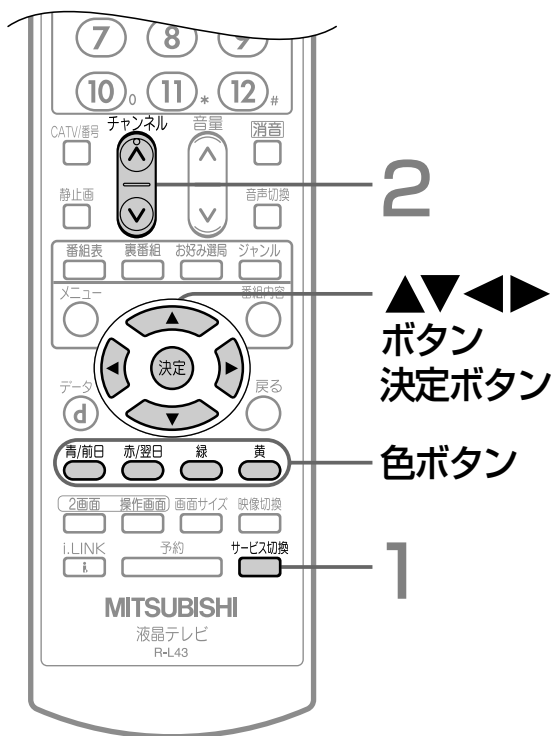
番組表から選局したり、3桁のチャンネル番号を入力して選局することもできます。

お知らせ

ラジオ放送に切換えたあと番組表を表示すると、ラジオ放送チャンネルのみの番組表が表示されます。

データ放送を見る

デジタル放送には、テレビ放送、ラジオ放送、データ放送の分類があります。
データ放送では、画面を見ながらボタンで操作して、お好みの情報を見ることができます。
データ放送には、独立データ放送と連動データ放送があります。

独立データ放送を見る

1 デジタル放送を見ているときに サービス切換 を押して、「データ」を選ぶ

押すごとに、サービスの種類が テレビ → ラジオ → 独立データ の順に切換わります。

地上デジタル放送には、ラジオ放送はありません。

2 チャンネル∧∨を押して、チャンネルを選ぶ

番組表から選局したり、3桁のチャンネル番号を入力して選局することもできます。

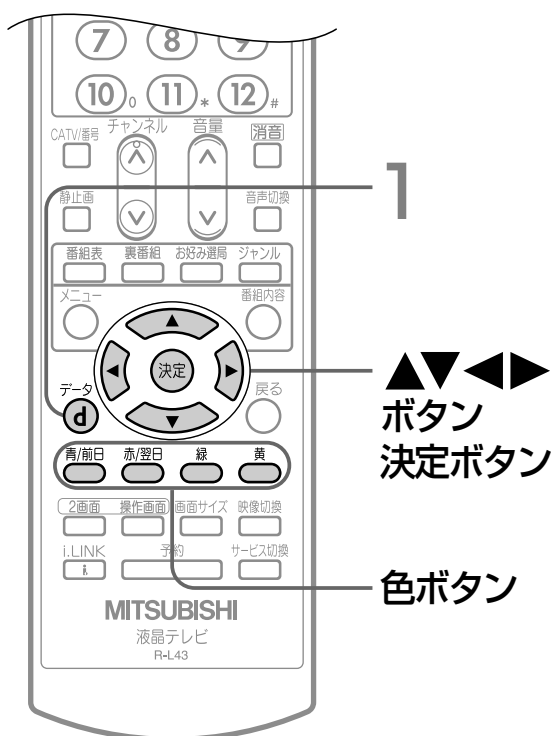
3 画面の指示に従って、リモコンを操作する

4種類の色ボタン(「青」「赤」「緑」「黄」ボタン)や▲▼◀▶ボタン、決定ボタンを使って、操作してください。それ以外のボタン操作が必要な場合もあります。

お知らせ

独立データ放送に切換えたあと番組表を表示すると、独立データ放送チャンネルのみの番組表が表示されます。

テレビ放送に連動したデータ放送を見る

番組によっては、テレビ放送やラジオ放送の内容に合わせた情報をデータ放送で提供されることがあります。
(2005年5月現在、連動データ放送は、テレビ放送のみで実施されています。)
またデータ放送を利用して、視聴者がリモコンを操作して番組に参加できるテレビ放送などもあります。P.130・152

1 デジタル放送を見ているときに データ ⓓ を押す

番組に連動しているデータ放送が表示されます。

2 画面の指示に従って、リモコンを操作する

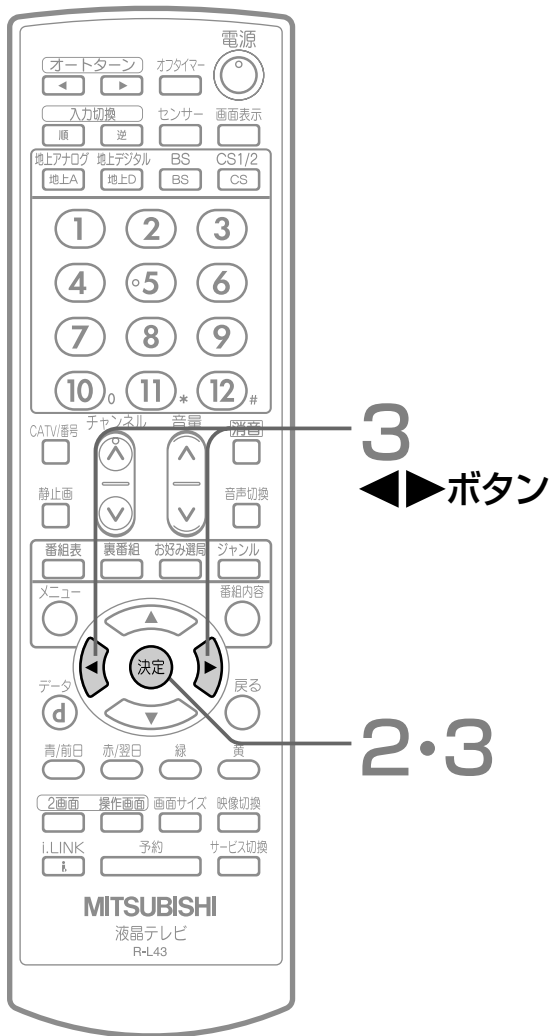
4種類の色ボタン(「青」「赤」「緑」「黄」ボタン)や▲▼◀▶ボタン、決定ボタンを使って、操作してください。それ以外のボタン操作が必要な場合もあります。

連動データ放送を見ているときに「d」ボタンをもう一度押すと、テレビ放送またはラジオ放送に戻ります。

お知らせ

- 番組によってはテレビ放送やラジオ放送に連動した情報が、自動的にデータ放送に切換わって表示されることがあります。
- 番組に連動したデータ放送があるかどうかは、番組内容ボタンを押して「番組内容」画面を表示し、アイコンなどで確認できます。
- データ放送には、インターネット経由で通信する双方向サービスもあります。くわしくは放送事業者へお問い合わせください。P.133

有料番組(ペイ・パー・ビュー)を購入する

デジタル放送には、番組単位で課金される有料の番組(ペイ・パー・ビュー)があります。
また、番組によっては、視聴購入と録画購入があります。

1 チャンネルを切換えて、有料番組を選ぶ

「番組購入」画面が表示されます。

番組購入	CS1 151ch
スーパー○○○ 12/20(金) PM10:00-PM12:30 ■コピー制限あり 10才～ ¥5000円	
この番組は有料です 購入するには決定ボタンを押してください 購入しない場合は信号を切り換えてください 購入手続	

このとき、「番組購入」画面の背景にプレビュー(選局した有料番組を購入前にわずかな時間視聴できるサービス)を表示する番組もあります。

2 決定を押す

3 ◀ ▶ で「購入する」などを選び、決定を押す

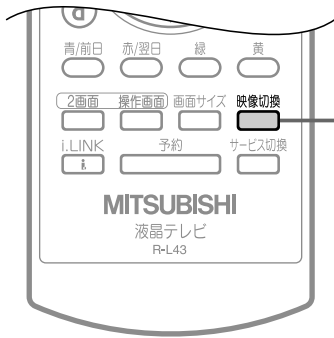
番組購入	CS1 151ch
スーパー○○○ 12/20(金) PM10:00-PM12:30 ■コピー制限あり 10才～ ¥5000円	
この番組を購入しますか？ 購入する　取消	

「購入する」…… 番組を視聴･録画できます。
「視聴購入」…… 視聴購入のみできます。録画はできません。
「録画購入」…… 番組を視聴･録画できます。
「取消」………… 有料番組を購入しません。

お知らせ

- 有料放送を見るためには、以下の準備が必要です。
  - ・電話回線の接続／設定 P.152・130
  - ・B-CASカードの登録 P.54
  - ・放送局との受信契約
- コピープロテクションについて
  - ・i.LINKでデジタル録画するとき
    放送局が番組によって、録画制限をして放送します。
    くわしくは、番組内容 P.76 の番組情報欄をご覧ください。
  - ・ビデオデッキなどにアナログ録画するとき
    デジタル放送では、番組をビデオデッキなどで録画できないようにしている番組があります。それらの番組は正常に録画･再生できません。
- 画面に表示される購入項目は番組によって異なります。たとえば、「購入する」が表示されているときは、「視聴購入」「録画購入」は表示されません。
- 購入した番組の放送時間内でも、他のチャンネルに切換えることができます。ただし、購入操作が終了している場合は、実際にその番組を見ていなくても料金を請求されます。
- 番組によっては、同じ番組内で有料の映像信号や音声信号が複数ある場合があります。この場合は、それぞれの映像信号について追加購入することで、番組内の映像や音声を切換えて楽しむことができます。P.75
- 番組によっては購入時間が決められていて、購入時間を過ぎると購入できない場合があります。

チャンネル内の映像や音声を切換える

ひとつの番組で複数の映像を放送している番組（マルチビュー放送）を楽しんだり、同じチャンネルで放送している別の番組に切換えたりできます。

お知らせ

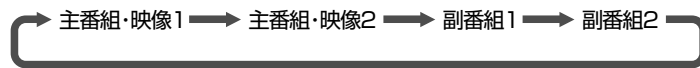
- マルチビュー放送とは
  ひとつの番組で別の映像や違う角度からなど、最大3つの映像を同時に楽しめる放送です。
- マルチビュー放送や、他の映像信号がない場合は、映像は切換わりません。

デジタル放送を見ているときに

映像切換 を押す

映像が 映像切換 を押すごとに切換わります。

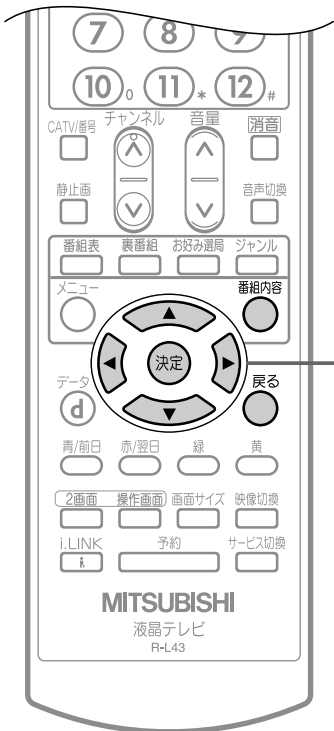
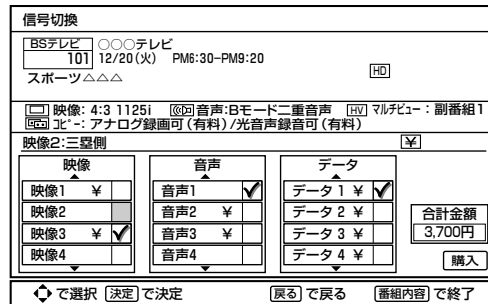
切換わる映像の種類は、番組によって異なります。
たとえば、映像信号が2つある主番組と副番組1、副番組2が放送されているマルチビュー放送の場合では、次のように切換わります。

主番組・映像1 → 主番組・映像2 → 副番組1 → 副番組2 →（主番組・映像1に戻る）

有料の信号を選んだときは

「番組購入」画面が表示されます。 P.74

番組内の信号を切換える（信号切換）

準備 通常画面で「番組内容」画面を表示する P.76

1 ◀▶で「信号切換」を選び、決定を押す

2 ▲▼◀▶で信号を選び、決定を押す

映像信号は最大4種類、音声信号は最大8種類、データ信号は最大16種類まであります。

有料の信号を選んだときは

「番組購入」画面が表示されます。 P.74

3 ▲▼◀▶で「確定」を選び、決定を押す

「番組内容」画面に戻ります。

通常画面に戻るときは

を押す

お知らせ

- 信号切換画面では、マルチビュー放送の切換えはできません。
- 録画予約の実行中は、切換わりません。
- 信号を切換えた番組の放送が終了した場合、次の番組に同じ信号があれば、引き続き切換えた信号で受信します。次の番組に切換えた信号がないときや、その信号が有料のときは、第1信号に切換わります。

番組の詳しい情報（番組内容）を見る

デジタル放送視聴中、番組表を表示中 P.77、ジャンル別番組検索結果一覧を表示中 P.80 に、選んでいる番組の詳しい情報を確認することができます。

例：デジタル放送を見ているとき

1 番組内容 を押す

番組内容画面が表示されます。

2 番組内容を確認する

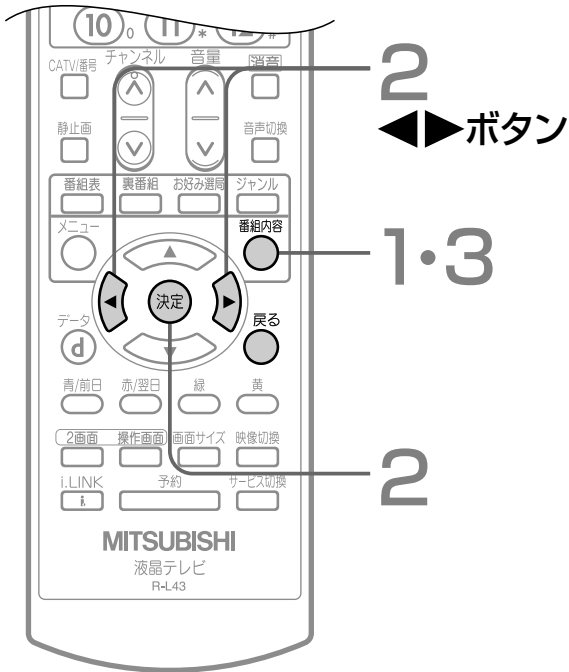
■ 番組内容画面が複数ページあるときは

◀▶で「次へ」または「前へ」を選び、決定を押す

3 番組内容 を押す

「番組内容」画面が消え、通常画面が表示されます。

■ 番組表などから番組内容を表示したときには

戻る を押すと元の画面（番組表など）に戻ります。

お知らせ

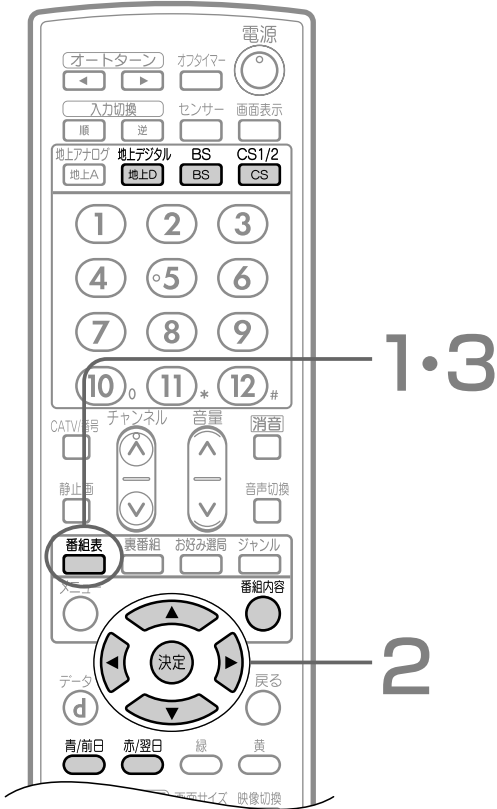
- 初めて使用したときや、約1週間以上、本体の主電源を切っていた場合は、番組表の内容が表示されなかったり、表示されるまでに時間がかかったりします。最新の番組表を利用するために、ふだんは主電源を切らずにお使いください。
- 放送局の都合により、番組が変更になることがあります。この場合、実際の放送と番組表の内容が異なることがあります。
- 番組内容画面の「信号切換」は、番組表から番組内容を表示したときには、表示されません。

番組内容画面の見かた

番組表で探す

デジタル放送の番組表を、新聞などのテレビ欄のように表示します。見ていたデジタル放送の番組表のみ表示します。
放送切換、サービス切換ボタンで放送の種類を変えて、ご利用ください。
番組表は最大8日分まで表示できます。地上アナログ放送の番組表は表示できません。

お知らせ

- 本機は、スタンバイ状態（電源インジケーターが「赤」）で、定期的に放送局からの番組情報などを更新しています。電源を切るときは、電源コンセントを抜かないで、本体またはリモコンの電源ボタンでお切りください。
- **地上デジタル放送の番組表について**
  地上デジタル放送では、放送局ごとにその放送局の番組情報のみを送信します。受信可能な放送局の番組表が表示されない場合は、その局を選んでしばらくお待ちください。
  BS・110度CSデジタル放送では、どの放送局を選局しても全ての放送局の番組情報を受信することができます。

1 デジタル放送を見ているときに 番組表 を押す

見ていた放送（BSデジタルのテレビ放送を受信中ならBSデジタルのテレビ放送）の番組表が表示されます。

2 ▲▼◀▶で番組表を確認する

青く囲われた番組欄（カーソル）を移動し、時間やチャンネルの表示を切換えます。

▲▼◀▶ボタンを押し続けると、番組表を高速でスクロールすることができます。番組欄の表示が一旦消えますが、▲▼◀▶ボタンを離すと、番組欄内が再び表示されます。

■ 他の日の番組表を見るには

青/前日 または 赤/翌日 を押す

■ 番組の詳しい情報を知りたいときは

番組内容 を押す

■ 番組表から見たい番組を選ぶには

決定 を押す

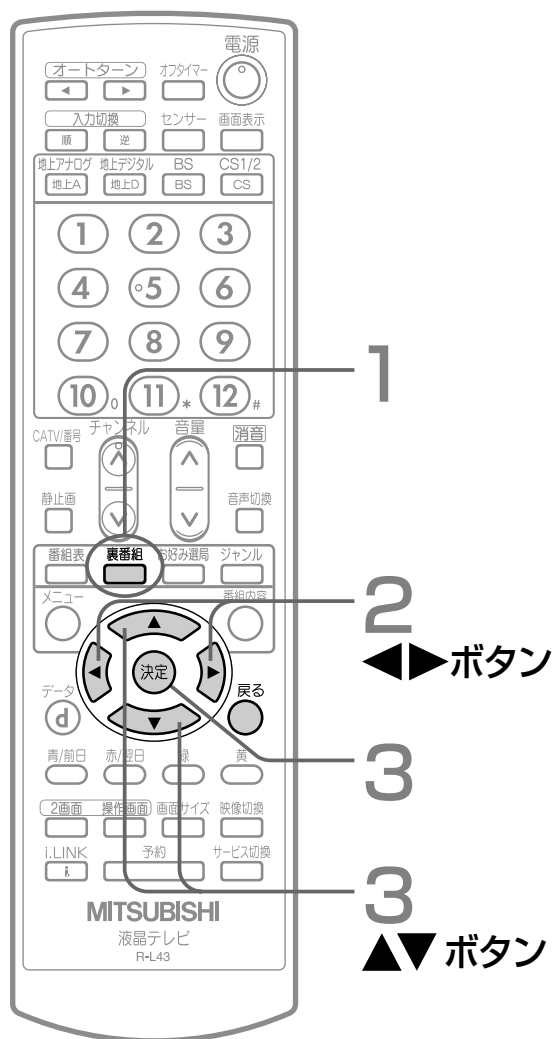
放送中ではない番組を選んだ場合は、「番組内容」が表示されます。 P.76

3 番組表 を押す 番組表が消えます。

- チャンネルを切換えても番組表が消えます。

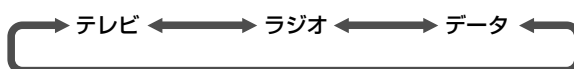
番組表の見かた

裏番組から探す

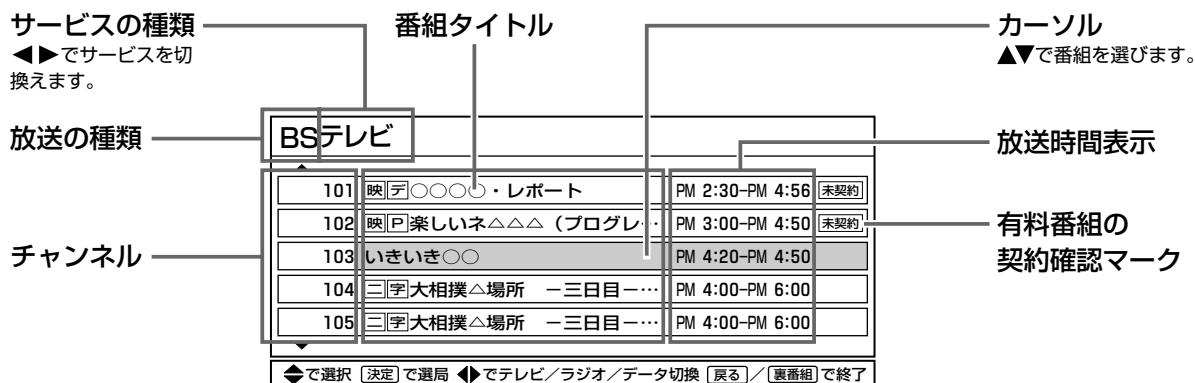
デジタル放送で現在放送中の裏番組を確認し、見たい番組を探すことができます。

1 デジタル放送を見ているときに 裏番組 を押す

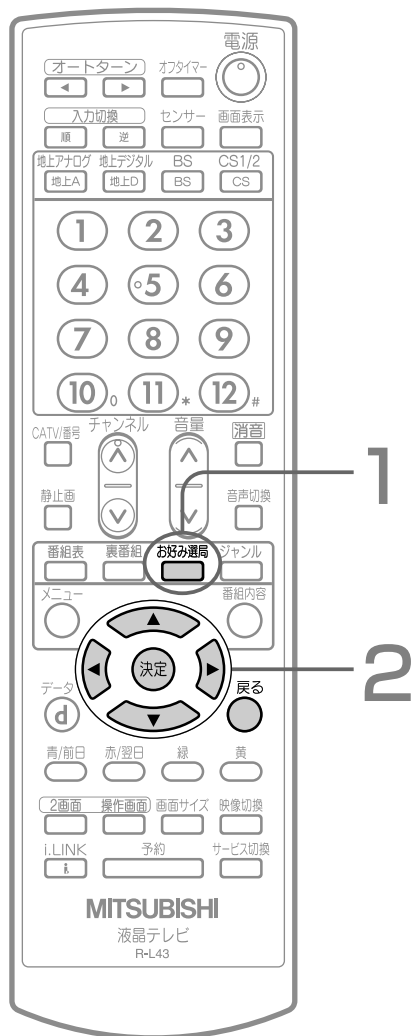
見ていた放送(BSデジタルのテレビ放送を受信中ならBSデジタルのテレビ放送)の裏番組一覧表が表示されます。

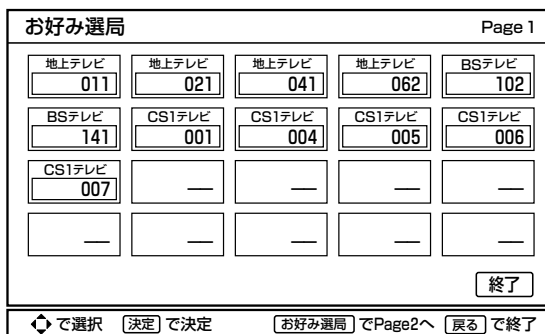
2 ◀ ▶ でサービスを切換える

押すごとにサービスが切換わります。

提供されていないサービスについては表示されません。
サービスについては P.72

3 ▲▼ で番組を選び、決定 を押す

選んだ番組に切換わります。

お好みのチャンネルに切換える（お好み選局）

あらかじめ、お好みのデジタル放送のチャンネルを登録しておけば、簡単にチャンネルを切換えることができます。
お好みのチャンネルを登録する方法は、P.111 をご覧ください。

1 を押す

お好み選局画面が表示されます。

■ 次のページを表示するときは

もう一度 お好み選局 を押す
全部で3ページあります。

2 ▲▼ ◀▶ でカーソルを移動してチャンネルを選び、決定を押す

選択したチャンネルに切換わり、放送中の番組が映ります。

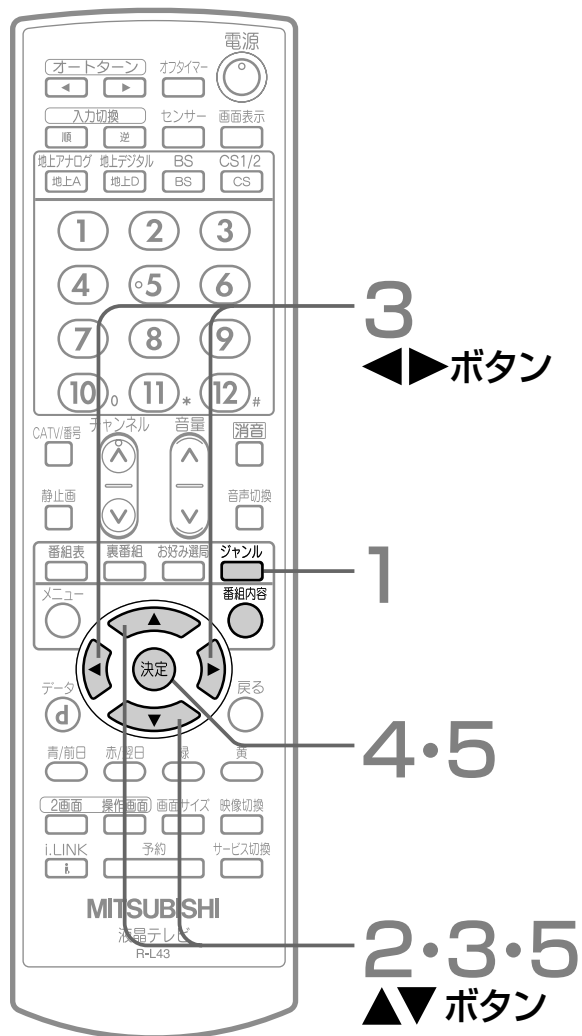
■ 通常画面に戻るときは

- Page 1またはPage 2のときは
  ▲▼ ◀▶ で「終了」を選び、決定 を押す
  または 戻る を押す
- Page 3のときは
  お好み選局 または 戻る を押す

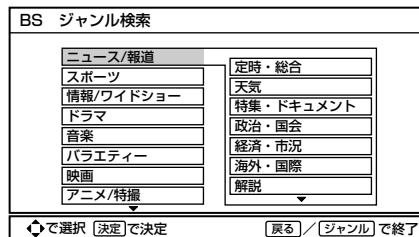
お知らせ

- 「お好み選局」には、地上デジタル放送やBSデジタル放送など、放送の種類に関係なく登録できます。また、ラジオ放送やデータ放送など、サービスの種類にも関係なく登録できます。
- 「お好み選局」は、1ページに20チャンネル、3ページで60チャンネルを登録できます。

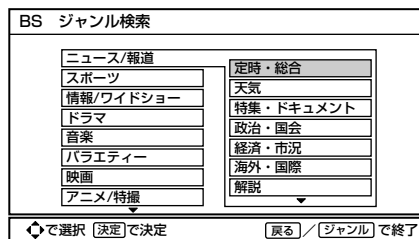
番組をジャンル別に検索する

EPG(電子番組表)のデータをジャンル別に検索して、番組を探すことができます。
ジャンル別に検索する範囲は、テレビ放送の番組のみです。

1 デジタル放送を見ているときに ジャンル を押す

見ていた放送(BSデジタル放送を受信中ならBSデジタル放送)のジャンル検索画面が表示されます。

2 ▲▼で画面左の大ジャンルを選ぶ

さらに絞り込む場合

ジャンルを絞り込む必要がない場合は、手順4に進んでください。

3 ◀▶でカーソルを画面右に移動し、▲▼で小ジャンルを選ぶ

4 決定 を押す

検索結果が表示されます。

BS　ジャンル検索　ニュース／報道▸定時・総合　1/319件

101	ニュース	5/19(水) AM 0:00-AM 0:00
102	メニュー/証券総合情報	AM 5:00-AM 3:00
103	○○○ニュース	PM 0:00-PM 6:00
104	正午のニュース	PM 1:00-PM 1:55
105	○○○アフタヌーン	PM 1:30-PM 4:30
106	△△ニュース	PM 2:50-PM 3:00
107	ニュース△△△	PM 3:00-PM 4:30
108	BSニュース○○○	PM 3:50-PM 4:00

◀／戻るで再検索　決定で選局/説明　番組内容で説明　ジャンルで終了

■ 番組の詳しい情報を知りたいときは

番組内容 を押す

5 ▲▼で番組を選び、決定 を押す

- 現在放送中の番組を選んだときは、チャンネルが、選んだ番組に切換わります。
- まだ放送が始まっていない番組を選んだときは、その番組の「番組内容」が表示されます。 P.76

■ 条件を変えて、もう一度検索するときは

◀または 戻る を押す

ジャンル一覧表

「ジャンル検索」では下記のようにジャンル分けされています。

地上／BS／110度CS共用ジャンル

大ジャンル	ニュース/報道	スポーツ	情報/ワイドショー	ドラマ	音楽	バラエティ	映画
小ジャンル	定時・総合	スポーツニュース	芸能・ワイドショー	国内ドラマ	国内ロック・ポップス	クイズ	洋画
	天気	野球	ファッション	海外ドラマ	海外ロック・ポップス	ゲーム	邦画
	特集・ドキュメント	サッカー	暮らし・住まい	時代劇	クラシック・オペラ	トークバラエティ	アニメ
	政治・国会	ゴルフ	健康・医療	その他	ジャズ・フュージョン	お笑い・コメディ	その他
	経済・市況	その他の球技	ショッピング・通販		歌謡曲・演歌	音楽バラエティ	
	海外・国際	相撲・格闘技	グルメ・料理		ライブ・コンサート	旅バラエティ	
	解説	オリンピック・国際大会	イベント		ランキング・リクエスト	料理バラエティ	
	討論・会談	マラソン・陸上・水泳	番組紹介・お知らせ		カラオケ・のど自慢	その他	
	報道特番	モータースポーツ	その他		民謡・邦楽		
	ローカル・地域	マリン・ウィンタースポーツ			童謡・キッズ		
	交通	競馬・公営競技			民族音楽・ワールドミュージック		
	その他	その他			その他		

大ジャンル	アニメ/特撮	ドキュメンタリー/教養	劇場/公演	趣味/教育	福祉	その他
小ジャンル	国内アニメ	社会・時事	現代劇・新劇	旅・釣り・アウトドア	高齢者	
	海外アニメ	歴史・紀行	ミュージカル	園芸・ペット・手芸	障害者	
	特撮	自然・動物・環境	ダンス・バレエ	音楽・美術・工芸	社会福祉	
	その他	宇宙・科学・医学	落語・演芸	囲碁・将棋	ボランティア	
		カルチャー・伝統文化	歌舞伎・古典	麻雀・パチンコ	手話	
		文学・文芸	その他	車・オートバイ	文字(字幕)	
		スポーツ		コンピュータ・TVゲーム	音声解説	
		ドキュメンタリー全般		会話・語学	その他	
		インタビュー・討論		幼児・小学生		
		その他		中学生・高校生		
				大学生・受験		
				生涯教育・資格		
				教育問題		
				その他		

110度CS専用ジャンル

大ジャンル	スポーツ	洋画	邦画
小ジャンル	テニス	アクション	アクション
	バスケットボール	SF/ファンタジー	SF/ファンタジー
	ラグビー	コメディー	お笑い/コメディー
	アメリカンフットボール	サスペンス/ミステリー	サスペンス/ミステリー
	ボクシング	恋愛/ロマンス	恋愛/ロマンス
	プロレス	ホラー/スリラー	ホラー/スリラー
	その他	ウエスタン	青春/学園/アイドル
		ドラマ/社会派ドラマ	任侠/時代劇
		アニメーション	アニメーション
		ドキュメンタリー	ドキュメンタリー
		アドベンチャー/冒険	アドベンチャー/冒険
		ミュージカル/音楽映画	ミュージカル/音楽映画
		ホームドラマ	ホームドラマ
		その他	その他

検索結果画面の見かた

視聴予約と録画予約

本機では、デジタル放送の視聴予約と録画予約ができます。

視聴予約

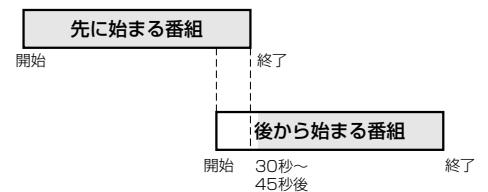
番組開始時刻の数十秒前になると、自動で予約したチャンネルに切換えます。
見逃したくない番組があるときに設定しておくと便利です。
予約設定後、リモコンで電源を「切」にしたり、本機の主電源を「切」にしていると、視聴予約は実行されません。

録画予約

番組開始時刻の数十秒前から、予約したチャンネルの映像と音声をデジタル放送出力端子およびi.LINK端子から出力します。
画面も予約したチャンネルの映像に切換わります。予約開始後に、デジタル放送以外に切換えても、録画予約は継続します。
Irシステムやi.LINKを使って本機で録画予約する場合は、録画機器（ビデオやDVDレコーダー）側の予約設定は不要です。
Irシステムやi.LINKを使わずに録画予約する場合は、録画機器側でも予約設定をしてください。
予約設定後、本機の主電源を「切」にしていると、録画予約は実行されません。

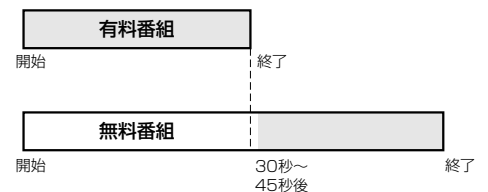
重複した予約の優先順位について

■ 放送時間が重なったり連続しているときは

先に始まる番組が優先されます。
後から始まる番組は、先に始まった番組が終了した30秒～45秒後から録画されます。
ただし、後から始まる番組有料番組（ペイ・パー・ビュー）のときは、予約が自動的に取消されます。
また、予約は重複していなくても、前の番組が延長され、それに対応する設定 P.115 の場合で、結果的に予約が重なってしまった場合も同じです。

■ 開始時刻が同じときは

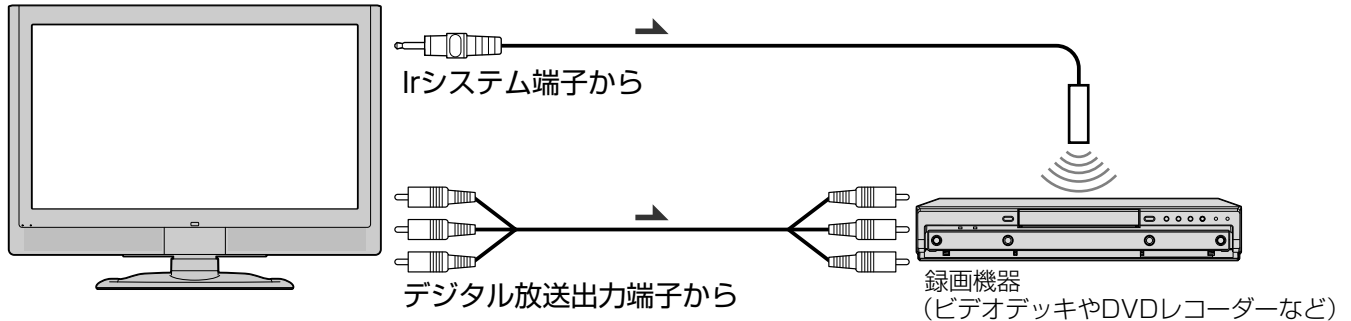
有料番組（ペイ・パー・ビュー）の予約が優先されます。
どちらも有料番組（ペイ・パー・ビュー）の場合や、どちらも無料番組の場合は、次の優先順位で予約されます。

- ・番組指定予約が時刻指定予約より優先されます。
- ・指定日予約、毎週予約、毎日予約の順で優先されます。
- ・CS1、CS2、BS、地上デジタルの順で優先されます。
- ・CS1、CS2、BSデジタル放送の場合は、3桁番号の小さい方が優先されます。
- ・地上デジタル放送の場合は、「デジタル設定」メニューから選択できる「地上チャンネル一覧」において上に表示されるチャンネルが優先されます。

優先された予約が終了したときに、まだ他方の予約が放送時間内であった場合は、先に予約されていた番組が終了した30秒～45秒後から録画されます。

録画予約の前に

この液晶テレビに接続したビデオやDVDレコーダーなどを使って、デジタル放送を録画予約できます。
予約の手順は、録画機器との接続方法によって異なります。

Irシステムで録画予約するとき

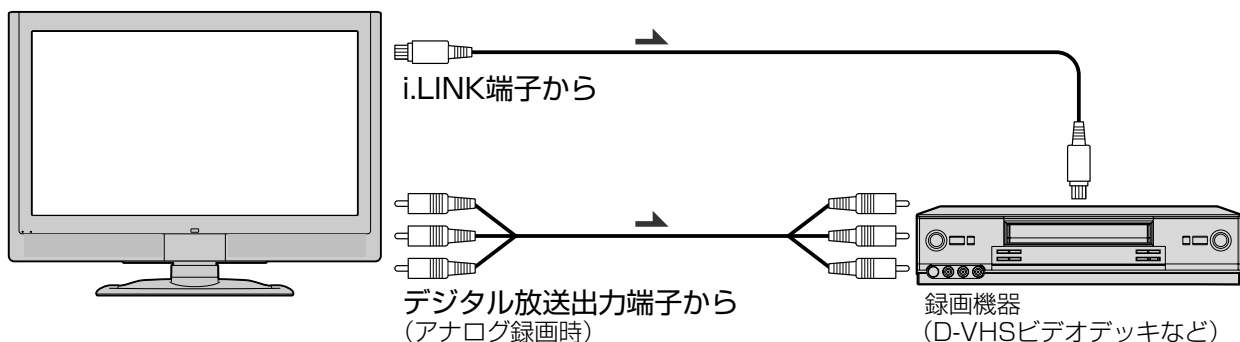
予約した時刻になると、Irシステムからの信号で録画機器の電源が入り、録画が開始されます。

お願い!

- **予約したときは、本機の主電源を「切」にしないでください。**
- 録画機器は、録画可能な状態(テープやディスクを入れ、入力や録画モードなどを確認する)にして、リモコンを使って電源を切ってください。
- 録画する録画機器に合わせて、Irシステム設定をしてください。 P.139
(一部の機種では使用できないものがあります。)
- Irシステムでの予約とi.LINKでの予約は、録画予約する番組を5分以上開けてください。Irシステムでの予約とi.LINKでの予約を連続する時間で設定すると、正しく録画されない場合があります。

お知らせ

- ハイビジョン放送の録画は、地上アナログ放送と同等の画質になります。
- データ放送は録画できません。
- 2004年以降発売の三菱製DVDレコーダーは、Irシステムでの予約録画に対応しています。
- 二ヵ国語のデジタル放送を録画予約した場合に、主音声／副音声とも録音されます。録画中は本体スピーカから主音声／副音声が合わせて出力され、「主」「副」「主／副」に切換えることができません。

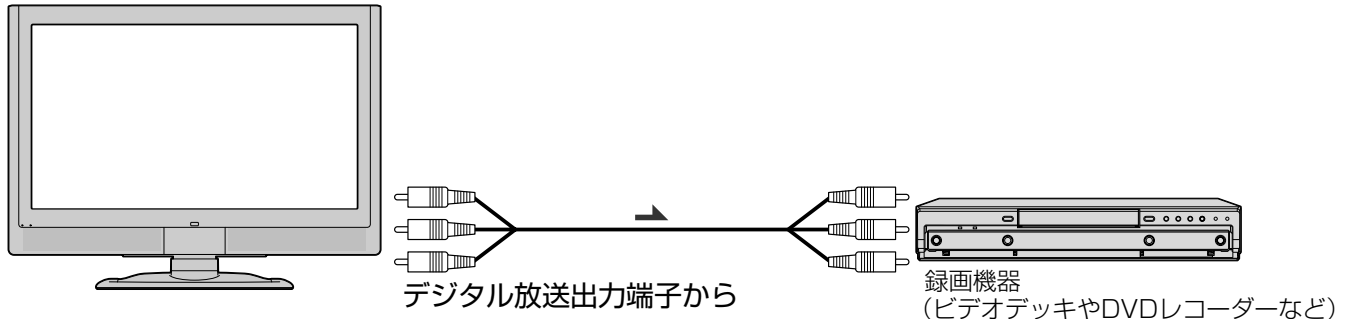
i.LINKで録画予約するとき

予約すると、i.LINKからの信号で録画機器が録画予約設定され、予約時刻になると録画が開始されます。

お願い!

- **予約したときは、本機の主電源を「切」にしないでください。**
- 録画機器は、録画可能な状態(テープやディスクを入れ、入力や録画モードなどを確認する)にして、リモコンを使って電源を切ってください。
- i.LINKでの予約とIrシステムでの予約は、録画予約する番組を5分以上開けてください。また、1台の録画機器を使用して、i.LINKでの予約とIrシステムでの予約を連続する時間で設定すると、録画を失敗することがあります。i.LINKでの予約とIrシステムでの予約は、別々の機器に対して行うことをおすすめします。

次ページへつづく

Irシステムやi.LINKを使わずに録画予約するとき

予約した時刻に合わせて、録画機器側でも録画予約します。

お願い！

- **予約したときは、本機の主電源を「切」にしないでください。**
- 録画機器は、録画可能な状態（テープやディスクを入れ、入力や録画モードなどを確認する）にして、リモコンを使って電源を切ってください。

お知らせ

- ハイビジョン放送の録画は、地上アナログ放送と同等の画質になります。
- データ放送は録画できません。
- 二ヵ国語のデジタル放送を録画予約した場合に、主音声／副音声とも録音されます。録画中は本体スピーカから主音声／副音声が合わせて出力され、「主」「副」「主／副」に切換えることができません。

録画予約に関するご注意

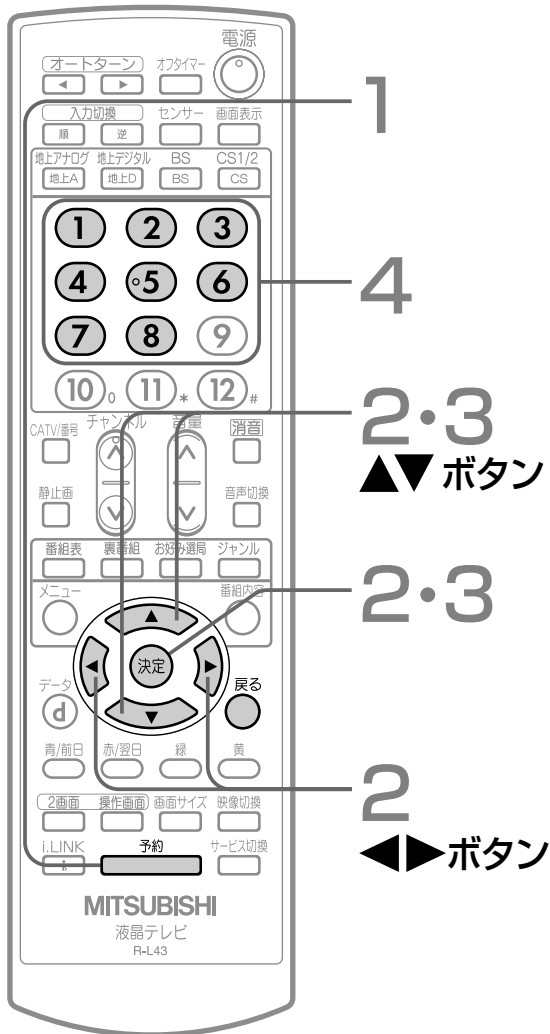
録画予約するときは、以下の点にご注意ください。

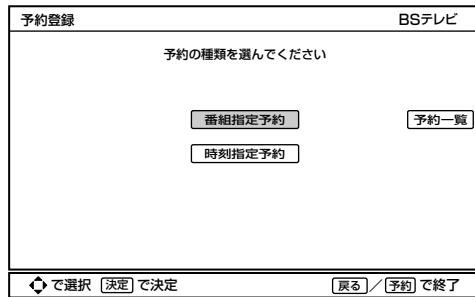
- 番組指定予約は1週間先まで予約できます。 P.85
- 時刻指定予約は31日先まで予約できます。 P.88
- 番組指定予約と時刻指定予約を合わせて15件まで予約できます。
- 予約した時刻が重なっていると正しく録画／視聴できません。 P.82
- 予約内容を確認できます。 P.91
- B-CASカードを正しく挿入し、事前に登録しておいてください。 P.54
- 未契約のチャンネルは、録画できません。
- コピープロテクションにより、番組によっては録画ができない場合があります。
- すでに始まっている有料番組（ペイ・パー・ビュー）は、録画予約できないことがあります。
- 有料番組（ペイ・パー・ビュー）を録画予約して実行された場合は、視聴や録画に関わらず料金が請求されます。
- 字幕放送を録画するときは、あらかじめ字幕の設定を行ってください。 P.114
- 前の番組が延長される可能性がある場合は、「予約設定」で放送時間の変更に対応するかどうか設定してください。 P.115
- DVDレコーダーに録画する場合は、ディスクの状態、種類により正しく録画できないことがあります。くわしくはDVDレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- ビデオデッキやDVDレコーダーの機種によっては、Irシステムでの録画予約に対応していないものがあります。
- 当社製のDVDレコーダーとビデオデッキの複合機の場合、どちらかのリモコンコードが設定できます。たとえば、「DVDレコーダー　1」に設定すると、ビデオ機能に対してはIrシステムを使っての予約はできません。

番組を指定して予約する（番組指定予約）

デジタル放送の番組を選んで、録画／視聴予約できます。
1週間先までの番組を選んで、最大15件（時刻指定予約 P.88 を含む）まで予約できます。

例：録画予約する

準備 予約するデジタル放送の種類を選ぶ P.64・70

1 を押す

2 ▲▼◀▶で「番組指定予約」を選び、決定を押す

3 ▲▼でチャンネルを選び、決定を押す

■ **ラジオ放送やデータ放送の番組を選ぶときは**

▲▼◀▶で「ラジオへ」または「データへ」を選び、決定を押す

4 ①〜⑧で番組を選ぶ

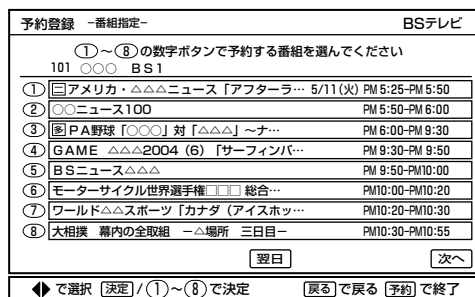
予約登録 −番組指定− BSテレビ

①〜⑧の数字ボタンで予約する番組を選んでください

101 ○○○ BS1

	番組	時刻
①	字アメリカ・△△△ニュース「アフターラ… 5/11(火)	PM 5:25-PM 5:50
②	○○ニュース100	PM 5:50-PM 6:00
③	多PA野球「○○○」対「△△△」〜ナ…	PM 6:00-PM 9:30
④	GAME △△△2004 (6)「サーフィンバ…	PM 9:30-PM 9:50
⑤	BSニュース△△△	PM 9:50-PM10:00
⑥	モーターサイクル世界選手権□□□ 総合…	PM10:00-PM10:20
⑦	ワールド△△スポーツ「カナダ（アイスホッ…	PM10:20-PM10:30
⑧	大相撲 幕内の全取組 −△場所 三日目−	PM10:30-PM10:55

翌日 次へ

◀▶ で選択 決定／①〜⑧で決定 戻る で戻る 予約 で終了

■ **前後の番組を表示するときは**

◀▶で「前へ」または「次へ」を選び、決定を押す

■ **前日または翌日の番組を表示するときは**

◀▶で「前日」または「翌日」を選び、決定を押す

次ページへつづく

5 ◀▶で「予約」を選び、決定を押す

■ 視聴年齢制限のある番組を選んだときは

①〜⑩。で暗証番号の入力が必要です。 P.119

■ 予約が時間的に重なったり連続しているときは

「予約が重複または連続しています」と表示されます。
◀▶で「予約する」を選び、決定を押して予約したあとで、「予約一覧」画面を見て確認してください。 P.91

6 ◀▶で「録画する」を選び、決定を押す

■ 視聴予約するときは

◀▶で「視聴のみ」を選び、決定を押す
すでに始まっている番組を視聴予約した場合は、その番組に切換わります。
まだ始まっていない番組を視聴予約した場合は、手順9へ進みます。

i.LINK機器(D-VHS)を接続している場合

i.LINK機器を接続していない場合は、手順9に進んでください。

7 ▲▼◀▶で録画するi.LINK機器を選ぶ

次ページへつづく

8 ▲▼◀▶で「確定」を選び、決定を押す

「取消」を選ぶと、予約設定されずに、手順2の画面に戻ります。

9 下の画面が表示されたら、決定を押す

予約登録を完了し、手順3の画面に戻ります。

■ 有料番組(ペイ・パー・ビュー)を予約したときは

「番組購入」画面が表示されます。 P.74

■ 映像や音声が複数ある番組を予約したときは

「信号切換」画面が表示されます。 P.75

10 予約を押す

お願い

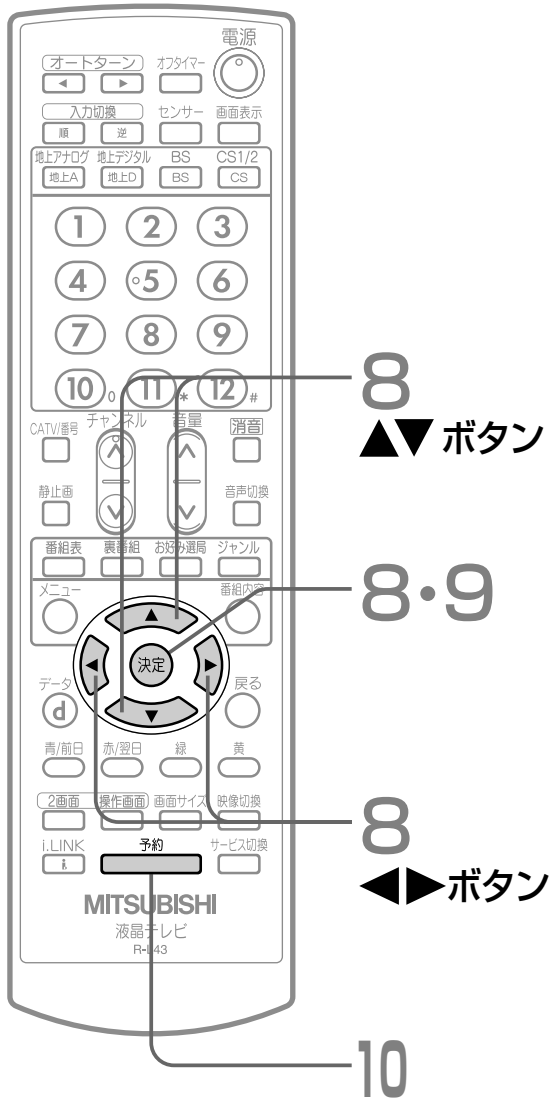
- 予約したときは、本機の主電源を「切」にしないでください。
- 予約が時間的に重なったり連続していると、正しく番組を録画／視聴できません。 P.82
「予約が重複または連続しています」と表示された場合は、予約したあとで、「予約一覧」画面を見て確認してください。 P.91

予約した時刻になると

■ 録画予約の場合

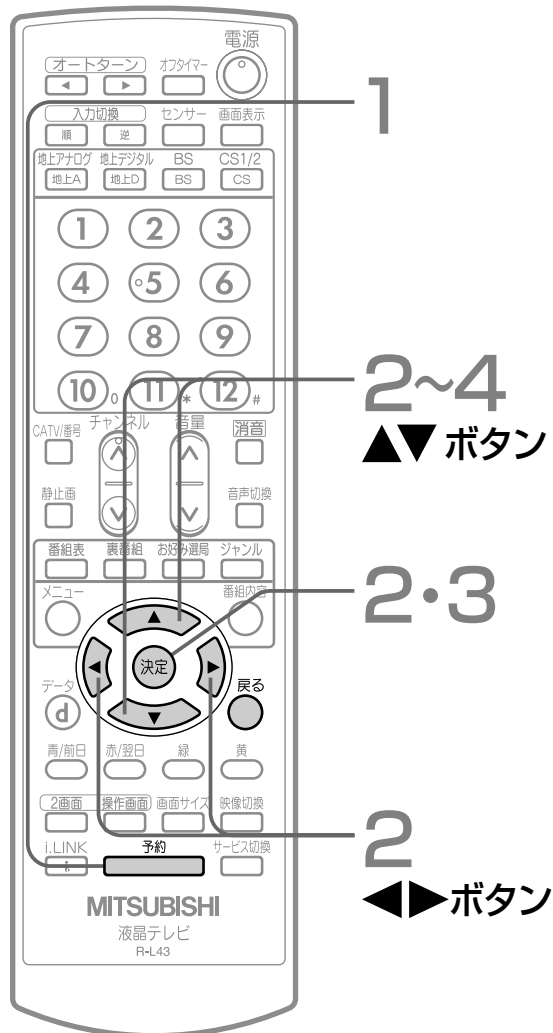
予約内容と連動して録画機器の電源が入り(Irシステムやi.LINKを使わずに録画予約するときは、録画機器側でも予約設定が必要です)、録画が終了すると自動的に録画機器の電源を切ります。本機の電源は録画開始前の状態に戻ります。
デジタル放送を視聴中は、開始時刻の約45秒前になると予約したチャンネルに切換わり、約10秒前から録画が開始されます。
予約録画中は、予約した番組が終了するまでは、デジタル放送のチャンネルを切換えられなくなります。 P.93

■ 視聴予約の場合

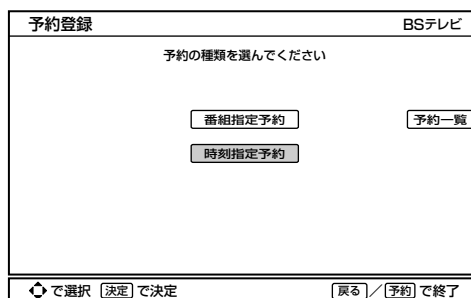
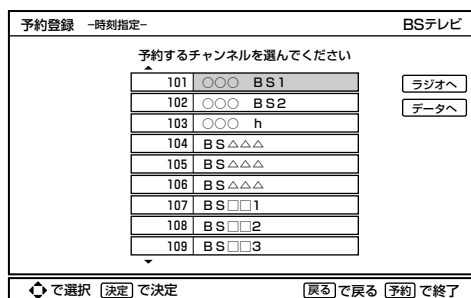
開始時刻の約45秒前に、予約したチャンネルに切換わります。
リモコンで電源を「切」(待機状態)にしていると、自動的に電源は入りません。

時刻を指定して予約する（時刻指定予約）

時刻とチャンネルを指定して、デジタル放送の番組を録画／視聴予約できます。
31日先までの日時を選んで、最大15件（番組指定予約 P.85を含む）まで予約できます。
毎週同じ時間・同じチャンネルの番組を定期的に録画するような予約もできます。

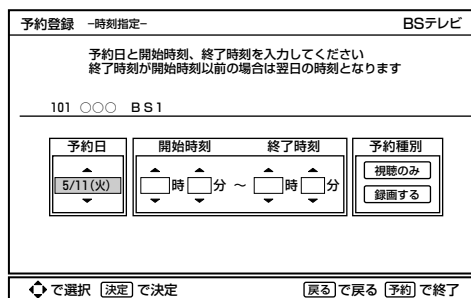
例：録画予約する

準備　予約するデジタル放送の種類を選ぶ P.64・70

1 予約 を押す

2 ▲▼◀▶で「時刻指定予約」を選び、決定を押す

予約登録　BSテレビ
予約の種類を選んでください
番組指定予約
時刻指定予約
予約一覧
で選択 決定 で決定　戻る／予約 で終了

3 ▲▼でチャンネルを選び、決定を押す

■ **ラジオ放送やデータ放送の番組を選ぶときは**

▲▼◀▶で「ラジオへ」または「データへ」を選び、決定を押す

4 ▲▼で予約日を選ぶ

■ **定期的に録画／視聴予約したいときは**

▲▼で「毎日」または「毎週（曜日）」を選ぶ

次ページへつづく

5 ▶ でカーソルを動かし、▲▼ で「開始時刻」と「終了時刻」を選ぶ

6 ▶ でカーソルを「予約種別」へ動かし、▲▼ で「録画する」を選び、決定 を押す

■ 視聴予約するときは

▲▼ で「視聴のみ」を選び、決定 を押す

i.LINK機器（D-VHS）を接続している場合

i.LINK機器を接続していない場合は、手順9に進んでください。

7 ▲▼◀▶ で録画するi.LINK機器を選ぶ

次ページへつづく

8 ▲▼◀▶で「確定」を選び、決定を押す

「取消」を選ぶと、予約設定されずに、手順6の画面に戻ります。

9 下の画面が表示されたら、決定を押す

10 予約を押す

お願い！

- 予約したときは、本機の主電源を「切」にしないでください。
- 予約が時間的に重なったり連続していると、正しく番組を録画／視聴できません。P.82
「予約が重複または連続しています」と表示された場合は、予約したあとで、「予約一覧」画面を見て確認してください。P.91

お知らせ

時刻指定予約では、視聴年齢制限のある番組や有料番組（ペイ・パー・ビュー）などが正しく予約できないことがあります。

予約した時刻になると

■ 録画予約の場合

予約内容と連動して録画機器の電源が入り（Irシステムやi.LINKを使わずに録画予約するときは、録画機器側でも予約設定が必要です）、録画が終了すると自動的に録画機器の電源を切ります。本機の電源は録画開始前の状態に戻ります。
デジタル放送を視聴中は、開始時刻の約45秒前になると予約したチャンネルに切換わり、約10秒前から録画が開始されます。
予約録画中は、予約した番組が終了するまでは、デジタル放送のチャンネルを切換えられなくなります。P.93

■ 視聴予約の場合

開始時刻の約45秒前に、予約したチャンネルに切換わります。
リモコンで電源を「切」（待機状態）にしていると、自動的に電源は入りません。

予約を確認する/取消しする

録画／視聴予約した内容は、予約一覧画面で確認できます。
予約が重複したり連続しているときや、件数がいっぱいになってしまったときに、確認したり削除したりできます。

1 予約 を押す

2 ▲▼◀▶ で「予約一覧」を選び、決定 を押す

3 ▲▼ で予約状況を確認する

予約が時間的に重なっていると、重複！が表示されます。

■ 予約登録が6番組以上の場合には、次のページに表示されます。

▲▼◀▶ で「前へ」または「次へ」を選び、決定 を押す

重複している予約を取消す場合

確認だけして、通常画面に戻る場合は、手順4～5は必要ありません。
手順6に進んでください。

4 ▲▼ で取消す番組を選び、決定 を押す

次ページへつづく

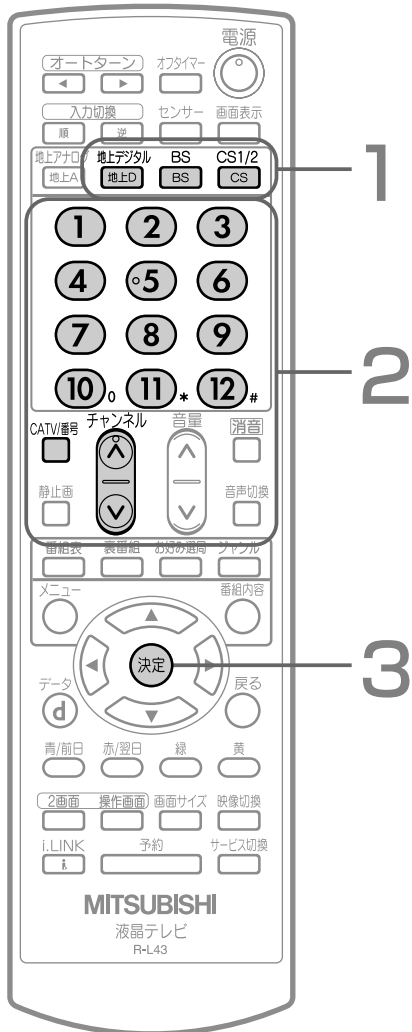
5 ◀▶で「はい」を選び、決定を押す

6 予約 を押す

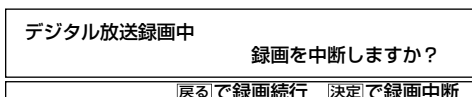
お知らせ

- 番組指定予約している番組が、放送局の都合で放送時間が変更されたり、放送が中止されたりした場合は、自動的に予約内容がキャンセルされます。
- 予約が重複していると、正しく録画／視聴できません。
- 開始時刻が前の予約の終了時刻と連続しているときは、先に始まる番組の予約が少し早く（約1分）終了し、正しく録画されません。この場合は「予約一覧」画面に 重複！ と表示されませんので、ご注意ください。

予約を解除して別の番組を見る

予約録画中は、デジタル放送のチャンネルを切換えることができません。
地上アナログ放送およびビデオ入力には、切換えることができます。
デジタル放送の別の番組を見たり、デジタル設定を変更したい場合は、以下の手順で録画予約を解除してください。

1 地上デジタル（地上D）、BS（BS）、CS1/2（CS）のいずれかを押して、デジタル放送を選ぶ

2 ①～⑫、CATV/番号、チャンネル∧∨ボタンのいずれかを押して、チャンネルを選ぶ

3 下の画面が表示されたら、（決定）を押す

録画が中断されます。

■ 録画を続けたいときは

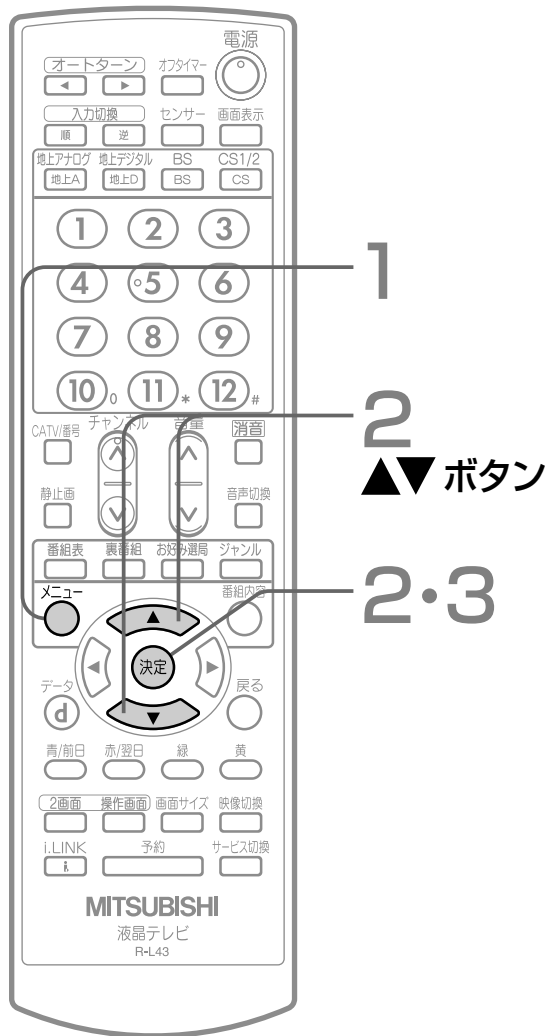
（戻る）を押す

お知らせ

- 録画予約を解除すると、デジタル放送のチャンネルを切換えたり、デジタル設定を変更したりできます。ただし、実行中の予約は録画されません。
- デジタル放送を録画中に、地上アナログ放送およびビデオ入力に切換えても録画は継続します。上の録画中断メッセージは表示されません。
- i.LINKボタンを押した場合、「デジタル設定」メニューに入る場合にも、上の録画中断メッセージを表示します。

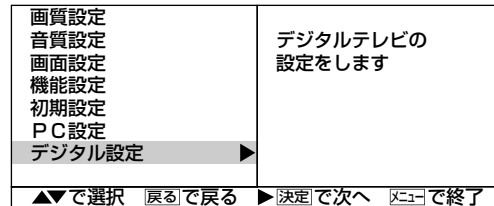
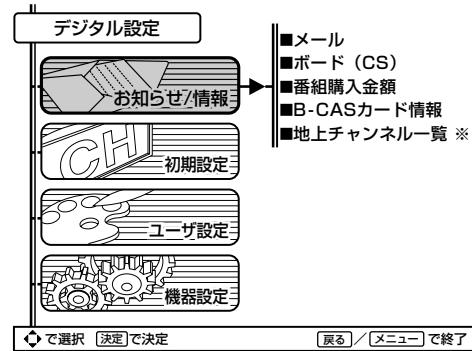
「お知らせ/情報」画面を表示する

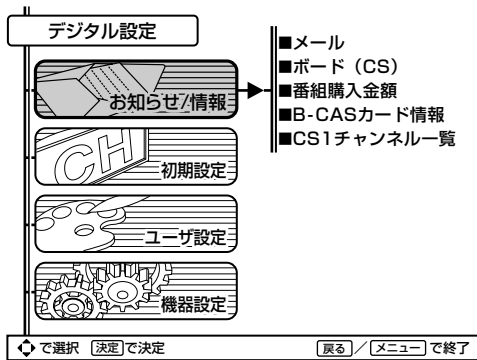
「お知らせ／情報」画面からは、放送局からのお知らせやB-CASカード情報、デジタル放送のチャンネル一覧などを見ることができます。

お知らせ

予約実行中は設定できません。

例：地上デジタル放送を見ているとき

1 メニュー を押す

2 ▲▼で「デジタル設定」を選び、決定を押す

3 「お知らせ／情報」が選ばれていることを確認し、決定を押す

※表示する前に見ていたデジタル放送の種類によって
　地上チャンネル一覧
　BSチャンネル一覧
　CS1チャンネル一覧
　CS2チャンネル一覧
と表示が変わります。

「お知らせ／情報」画面について

メール…………………放送局からのメールやこの液晶テレビからのメール（内部メール）を表示します。
P.95

ボード…………………110度CSデジタル放送の放送局からのお知らせを表示します。
P.97

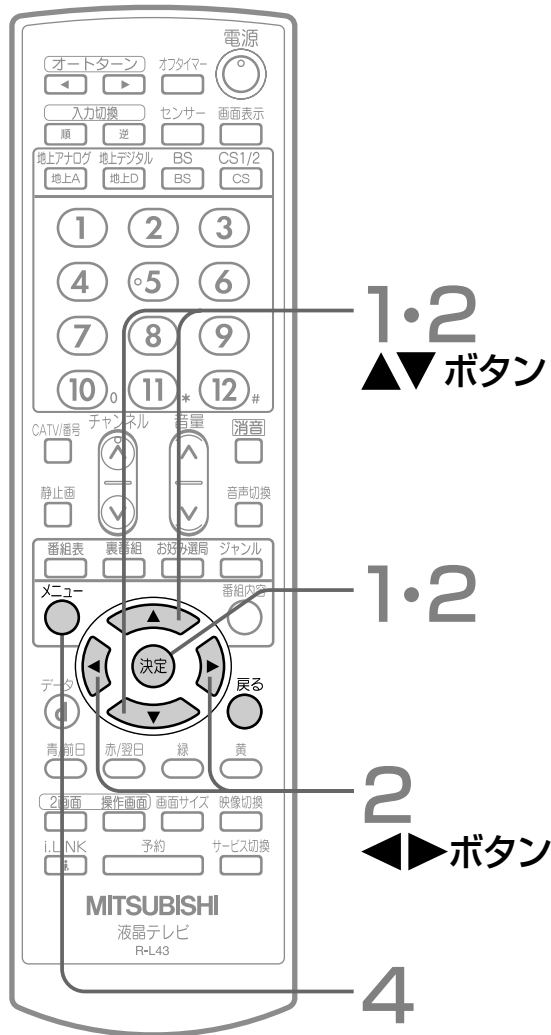
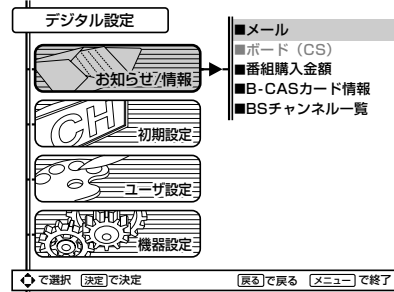
番組購入金額………前月分と今月分の有料番組購入額を概算表示します。
P.98

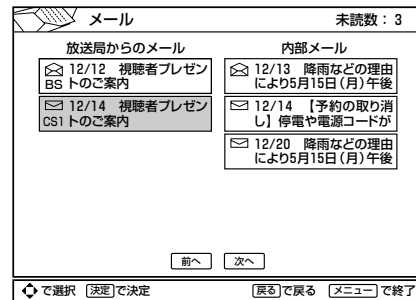
B-CASカード情報…B-CASカードのカードIDなどを表示します。
P.99

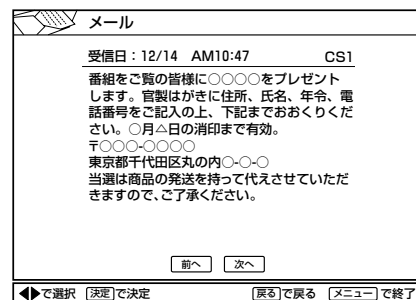
チャンネル一覧……受信できる全チャンネルの一覧を表示します。「お知らせ／情報」画面を表示する前に見ていたデジタル放送の種類のチャンネル一覧が表示されます。
P.100

放送局からのメールを読む

放送局からのメールとは、デジタル放送の放送局から送られてくる、番組などの情報です。
本体前面のメール受信インジケーターが橙に光っているときは、まだ読んでいない(未読)メールがありますので、以下の手順でメールの内容を確認してください。

準備 「お知らせ／情報」画面を表示する P.94

1 ▲▼で「メール」を選び、決定を押す

2 ▲▼で読みたいメールを選び、決定を押す

■ メール画面が複数ページあるときは
▲▼◀▶で「次へ」または「前へ」を選び、決定を押す

3 内容を確認する

■ メール本文が複数ページあるときは
◀▶で「次へ」または「前へ」を選び、決定を押す

■ 他のメールを読みたいときは
戻るを押す

4 メールを読み終わったら、メニューを押す

お知らせ

- **既読メールと未読メール**
  既読メールか未読メールかは、メール画面のアイコンで確認できます。

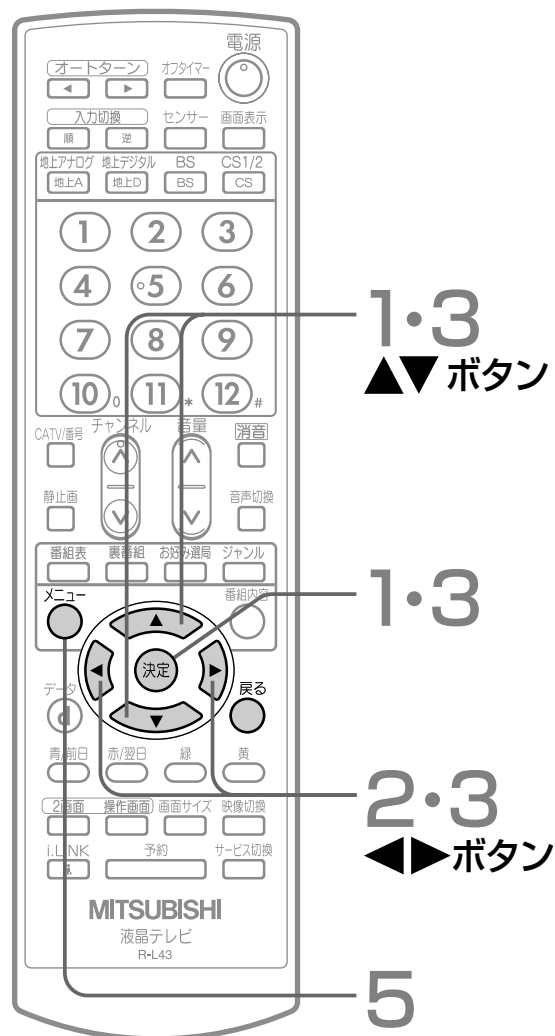
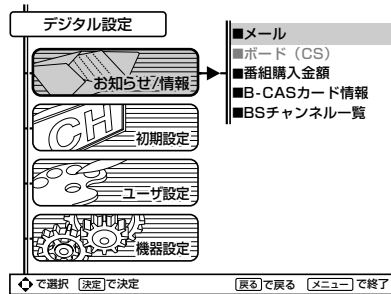
未読メール

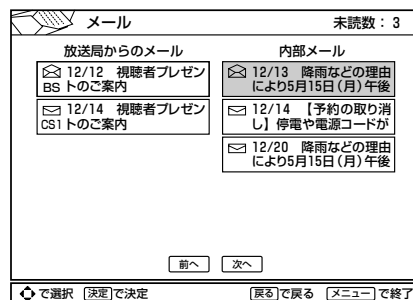
既読メール

- 放送局からのメールは31通まで表示できます。
- 31通以上のメールが蓄積すると、まず古い既読メールが削除されます。既読メールがないときは、古い未読メールから削除されます。

受信機からのメール（内部メール）を読む

内部メールとは、予約に失敗したり通信に異常が発生したりした場合に、この液晶テレビから送られるメッセージです。本体前面のメール受信インジケーターが橙に光っているときは、まだ読んでいない(未読)メールがありますので、以下の手順でメールの内容を確認してください。

準備 「お知らせ／情報」画面を表示する P.94

1 ▲▼で「メール」を選び、決定を押す

2 ▶を押して、右側の内部メール欄を選ぶ

3 ▲▼で読みたいメールを選び、決定を押す

■ **メール画面が複数ページあるときは**

▲▼◀▶で「次へ」または「前へ」を選び、決定を押す

4 内容を確認する

■ **メール本文が複数ページあるときは**

◀▶で「次へ」または「前へ」を選び、決定を押す

■ **他のメールを読みたいときは**

を押す

5 メールを読み終わったら、 を押す

お知らせ

- **既読メールと未読メール**
  既読メールか未読メールかは、メール画面のアイコンで確認できます。

   未読メール

   既読メール

- 内部メールは10通まで表示できます。
- 10通以上のメールが蓄積すると、まず古い既読メールが削除されます。既読メールがないときは、古い未読メールから削除されます。
- 内部メールは、電話回線を使用して異常があったときや、予約が失敗したときなどに送られてくる重要な情報です。内部メールの内容は、必ずご確認ください。

放送局からのお知らせ（ボード）を読む

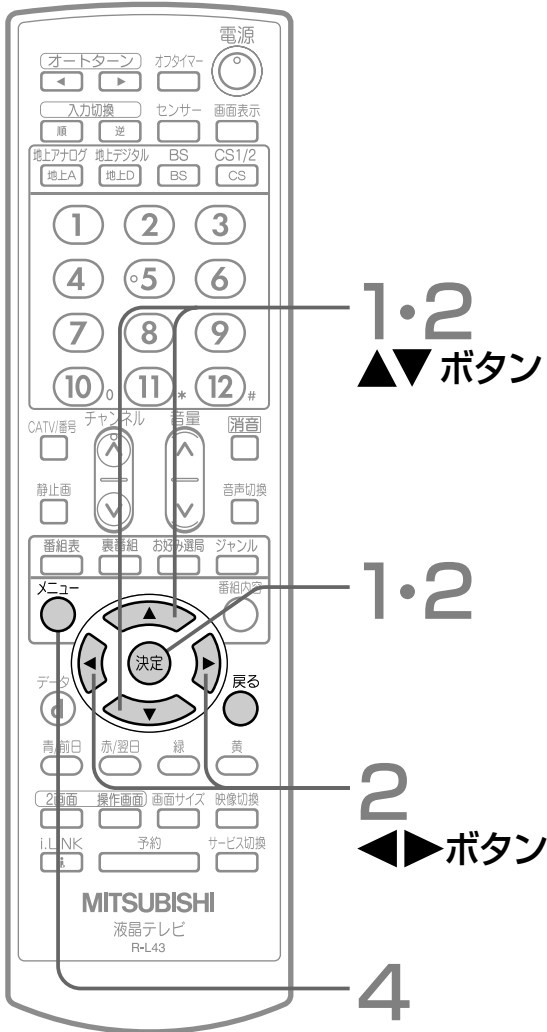
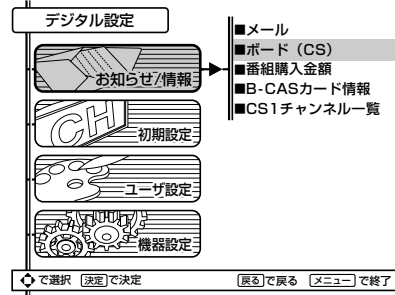
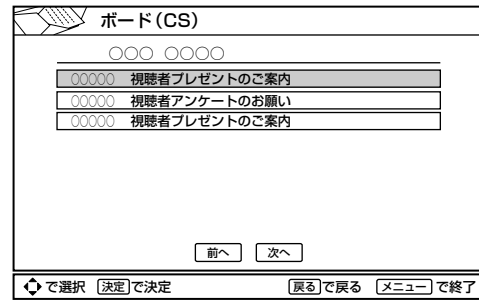
ボードとは、110度CSデジタル放送を受信している場合のみ送られてくるメッセージです。
以下の手順でボードの内容を確認してください。

準備 「お知らせ／情報」画面を表示する P.94

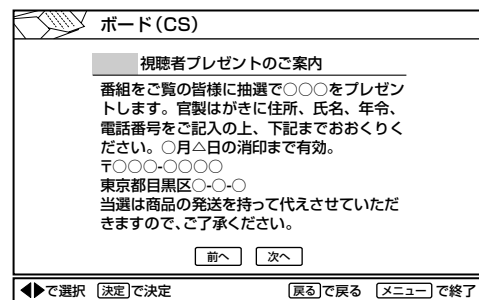
1 ▲▼で「ボード」を選び、決定を押す

デジタル設定
お知らせ/情報
初期設定
ユーザ設定
機器設定
■メール
■ボード（CS）
■番組購入金額
■B-CASカード情報
■CS1チャンネル一覧
で選択 決定で決定 戻るで戻る メニューで終了

2 ▲▼で読みたいボードを選び、決定を押す

ボード（CS）
○○○ ○○○○
○○○○○ 視聴者プレゼントのご案内
○○○○○ 視聴者アンケートのお願い
○○○○○ 視聴者プレゼントのご案内
前へ 次へ
で選択 決定で決定 戻るで戻る メニューで終了

■ ボード画面が複数ページあるときは
▲▼◀▶で「次へ」または「前へ」を選び、決定を押す

3 内容を確認する

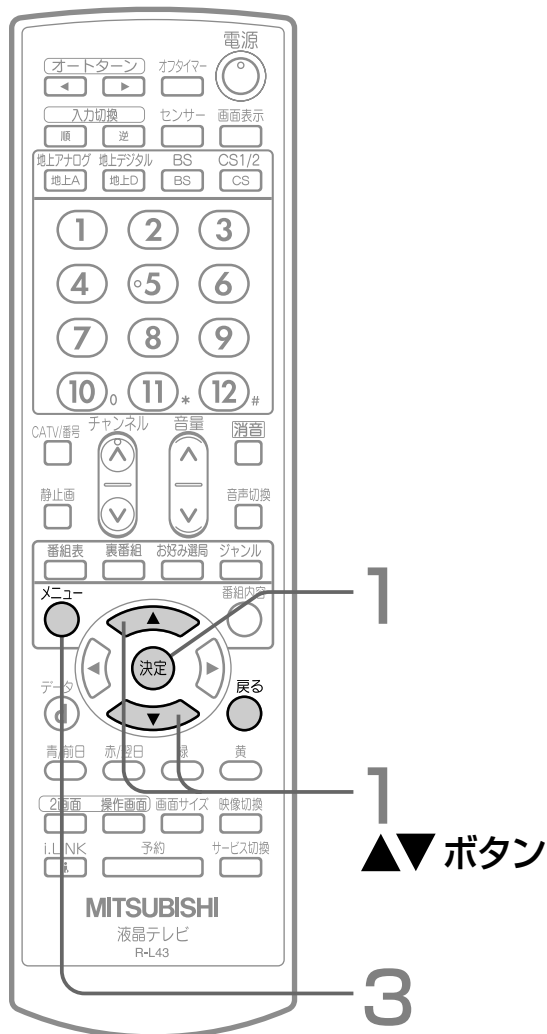
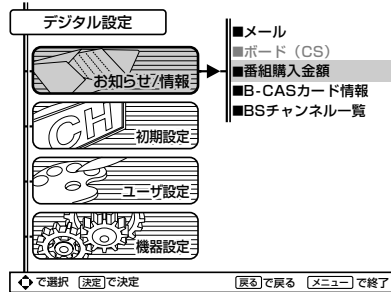
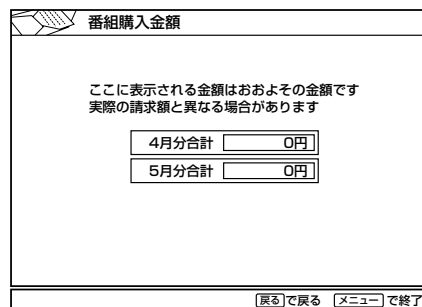
ボード（CS）
視聴者プレゼントのご案内
番組をご覧の皆様に抽選で○○○をプレゼントします。官製はがきに住所、氏名、年令、電話番号をご記入の上、下記までおおくりください。○月△日の消印まで有効。
〒○○○-○○○○
東京都目黒区○-○-○
当選は商品の発送を持って代えさせていただきますので、ご了承ください。
前へ 次へ
◀▶で選択 決定で決定 戻るで戻る メニューで終了

■ ボード本文が複数ページあるときは
◀▶で「次へ」または「前へ」を選び、決定を押す

■ 他のボードを読みたいときは
戻るを押す

4 ボードを読み終わったら、メニューを押す

お知らせ
ボードは最大50個まで表示できます。

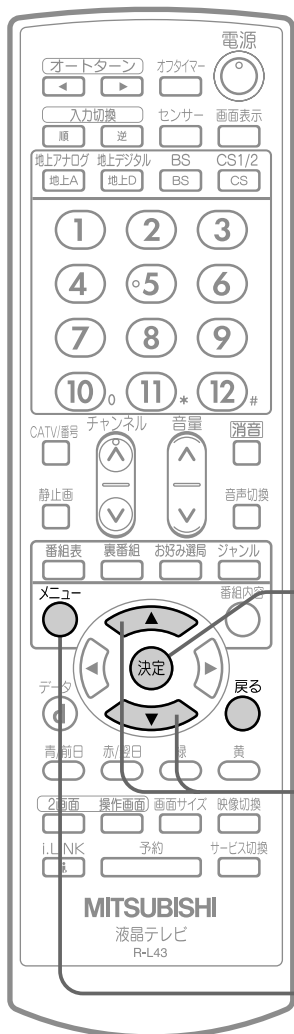
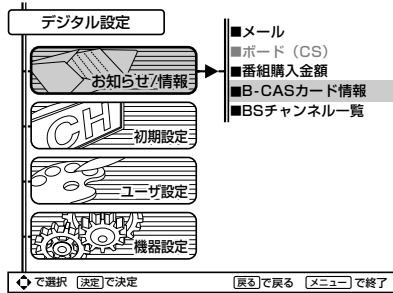
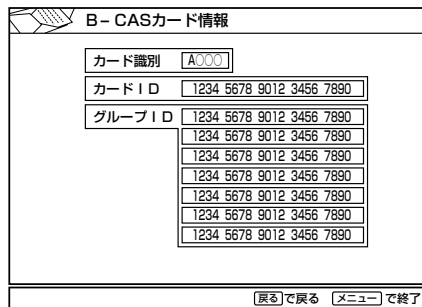
番組購入金額を確認する

有料番組(ペイ・パー・ビュー)を購入した概算を表示します。前月と今月の2ヵ月分が、それぞれ合計されて表示されます。

お知らせ

表示される購入金額の合計額は概算です。実際に請求される金額と異なる場合がありますので、ご了承ください。

B-CASカードの情報を見る

B-CASカードのカード種別、カードID、グループIDを確認できます。

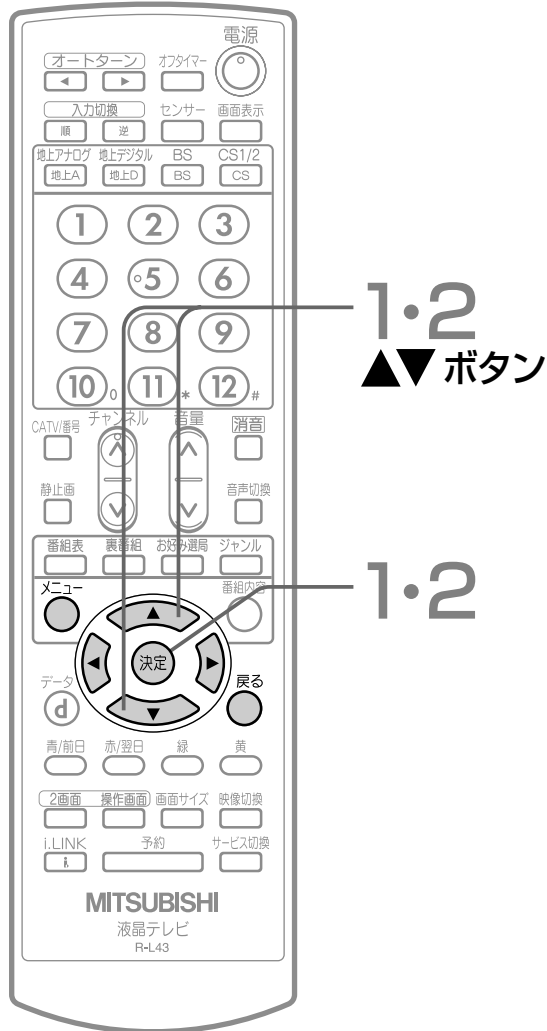
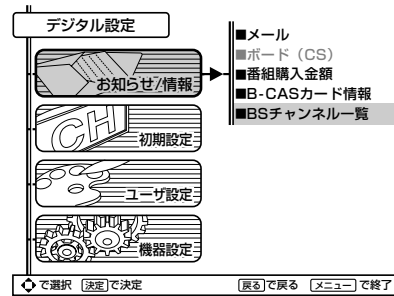
準備 「お知らせ／情報」画面を表示する P.94

お知らせ

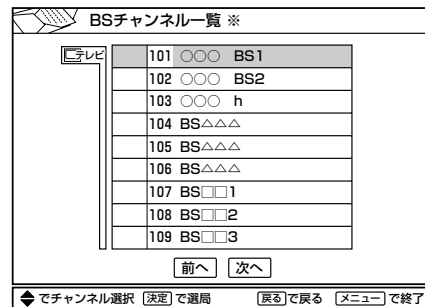
2005年5月現在、グループIDは運用されていないため、「設定されていません」と表示します。

チャンネル一覧を見る

見ているデジタル放送のチャンネル一覧を表示して、そこからチャンネルを選ぶことができます。

例：チャンネルを選ぶとき

準備 「お知らせ／情報」画面を表示する P.94

1 ▲▼で「チャンネル一覧」を選び、決定を押す

見ていたデジタル放送の種類のチャンネル一覧が表示されます。

2 ▲▼で見たいチャンネルを選び、決定を押す

※見ているデジタル放送によって表示が変わります。

チャンネル一覧の表示が消え、選んだチャンネルに切換わります。

■ **チャンネル一覧が複数ページあるときは**

▲▼◀▶で「次へ」または「前へ」を選び、決定を押す

■ **異なる放送のチャンネル一覧を表示するときは**

メニューを押して通常画面に戻り、見たいデジタル放送の種類に切換えてから、「お知らせ／情報」画面を表示する